

# 令和5年度 病院構造改革推進方策実施状況の自己点検・評価

令和6年9月  
病院局

令和5年度 病院構造改革推進方策実施計画の自己点検・評価(案) 目次

★新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応	1
<b>I より良質な医療の提供</b>	
項目1 診療機能の高度化	
(1) がん医療	2
(2) 循環器疾患医療	7
(3) 糖尿病医療	10
(4) 精神医療	11
(5) 救急・災害医療	14
(6) 小児・周産期医療	17
(7) リハビリテーション医療	19
(8) その他の政策医療	21
項目2 統合再編・建替整備	24
項目3 診療機能の効率化	25
項目4 研究機能の充実	26
<b>II 安心できる県立病院の実現</b>	
項目1 地域医療連携の推進	28
項目2 医療安全対策等の推進	33
項目3 患者サービスの向上	35
項目4 医療の信頼性の向上	38
項目5 県民等への情報発信の推進	39
<b>III 持続可能な経営の確保</b>	
項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組	41
項目2 収益の確保	
(1) 患者の受入れ促進等	45
(2) 診療機能に見合う収益の確保等	49
(3) その他の収益の確保	51
項目3 費用の抑制	53
<b>IV 安定した医療提供体制の確立</b>	
項目1 効果的・効率的な組織・人員体制の整備	56
項目2 医師確保対策の推進	57

項目3 看護師確保対策の推進	59
項目4 専門人材の充実・確保と人材育成の取組	61
項目5 働きやすい職場づくり	63
項目6 経営形態の検討	64
項目7 安定的な地域医療の提供	65
<b>各県立病院の目標・計画</b>	
経営計画	66

(評価の考え方)

【目標】

評価	考え方
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上)
△ 計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

【取組項目】

評価	考え方
◎ 計画を上回る	・ 計画以上の取組みを実施 (目標を2割以上上回る達成)
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上)
△ 計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲ 計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

※取組項目の評価理由について、新型コロナウイルスの影響によるものには【コ】と記載

★新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応  
実施計画の自己点検・評価

実施計画	評価	説明																																																									
<p>〔目標〕 県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、フェーズに応じた新型コロナウイルス感染症患者対応に全力で取り組む。感染症法上の5類移行後も、求められる役割を適切に果たす。 その他、コロナウイルス感染症対策の課題等については十分に検証し、それらを基に病院運営における必要な見直しを行っていく。</p>	○	<p>一般病棟の転用により病床を確保し、積極的に患者を受け入れるとともに、地域の医療機関と密に情報共有を行い、地域全体で患者受入れに努める等、新型コロナウイルス対応と通常診療の両立に全力で取り組んだ。感染症法上の5類移行後も引き続き病床を確保し、積極的に患者受入を実施した。 また、全庁一体となって実施したコロナウイルス感染症対策の検証において、県立病院における課題を検証し、新興・再興感染症の再流行に備えた対策の検討に取り組んだ。</p>																																																									
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病床確保・受入体制の維持 感染症法上の5類移行までの間は、フェーズに応じた病床規模・受入れ体制を確保する。5類移行後については、県の方針を踏まえ適切に対応する。</p> <p>2 院内感染防止対策の推進 国・県の対応方針や学会指針等を踏まえ、個人防護具の着用や手指衛生の徹底などの標準予防策、病棟や外来における適切なゾーニングの実施のほか、発熱外来の設置や一般患者と区別した待合室の整備など、患者や職員の動線を分離して対応する。 また、Wi-Fi環境の整備により、WEB面談やWEB面会の促進を図る。</p> <p>3 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策 (1) 西宮総合医療センター（仮称） 設計に盛り込んだ感染患者が他の患者と交錯しない通路・専用入口並びに陰圧設備を配した専用診察室・病室等を整備する。 (2) がんセンター 感染の有無を確認するトリアージ室の充実や来院者の動線計画、入院患者が感染症に罹った場合に備える感染対応個室の整備等について設計に反映し、整備する。</p>	○	<p>1 病床確保・受入体制の維持 感染症法上の5類移行までの間（R5.5.8まで）は、フェーズに応じた病床規模・受入れ体制を確保5類移行後も、地域の医療体制や感染状況等を踏まえながら、引き続き一定のコロナ対応病床を確保</p> <table border="1" data-bbox="1427 573 2288 1108"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="3">確保病床数</th> </tr> <tr> <th>2類相当時 （～R5.5.8）</th> <th>5類移行後① （～R5.9.30）</th> <th>5類移行後② （～R6.3.31）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>尼崎</td><td>46</td><td>15</td><td>11</td></tr> <tr><td>西宮</td><td>18</td><td>10</td><td>5</td></tr> <tr><td>加古川</td><td>100</td><td>26</td><td>9</td></tr> <tr><td>姫路</td><td>17</td><td>17</td><td>7</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>15</td><td>15</td><td>2</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>21</td><td>17</td><td>2</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>8</td><td>8</td><td>1</td></tr> <tr><td>こども</td><td>11</td><td>11</td><td>1</td></tr> <tr><td>がん</td><td>10</td><td>10</td><td>—</td></tr> <tr><td>災害</td><td>—</td><td>3</td><td>—</td></tr> <tr><td>合計</td><td>246</td><td>132</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> <p>2 院内感染防止対策の推進 発熱患者に対しては、適切にゾーニングした待合室等で対応したほか、WEB面談・面会の対応を実施 兵庫県立病院感染対策会議を開催 ・第1回：令和5年8月7日 ・第2回：令和6年3月22日</p> <p>3 整備・計画中の病院に係る新型コロナウイルス感染症対策</p> <table border="1" data-bbox="1415 1371 2617 1551"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西宮総合医療センター（仮称）</td> <td>感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>トリアージ室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	確保病床数			2類相当時 （～R5.5.8）	5類移行後① （～R5.9.30）	5類移行後② （～R6.3.31）	尼崎	46	15	11	西宮	18	10	5	加古川	100	26	9	姫路	17	17	7	丹波	15	15	2	淡路	21	17	2	こころ	8	8	1	こども	11	11	1	がん	10	10	—	災害	—	3	—	合計	246	132	40	病院名	内容	西宮総合医療センター（仮称）	感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。	がんセンター	トリアージ室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。
病院名	確保病床数																																																										
	2類相当時 （～R5.5.8）	5類移行後① （～R5.9.30）	5類移行後② （～R6.3.31）																																																								
尼崎	46	15	11																																																								
西宮	18	10	5																																																								
加古川	100	26	9																																																								
姫路	17	17	7																																																								
丹波	15	15	2																																																								
淡路	21	17	2																																																								
こころ	8	8	1																																																								
こども	11	11	1																																																								
がん	10	10	—																																																								
災害	—	3	—																																																								
合計	246	132	40																																																								
病院名	内容																																																										
西宮総合医療センター（仮称）	感染患者が他の患者と交錯しない通路、専用入口、陰圧対応の専用診察室・病室等の整備を設計に反映した。																																																										
がんセンター	トリアージ室の充実や来院者の動線計画に加え、入院患者の感染時に備え、感染対応個室の整備を設計に反映した。																																																										

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (1) がん医療

- 基本方向  
がんは、本県における死亡原因の第1位（全死因の29.6%）であり、「兵庫県保健医療計画」及び「兵庫県がん対策推進計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。
- 取組内容
  - 1 病院の役割
    - (1) がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施するほか、地域がん診療連携拠点病院間の連携強化、拠点病院への研修、診療支援等を行う。また、あり方検討委員会の報告を踏まえて、がんゲノム医療等最新医療を提供していく。
    - (2) 淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は、地域がん診療連携拠点病院として、高度で専門的な集学的治療を提供するほか、地域の医療機関との共同研修を行うとともに、患者や家族に対する支援を充実する。
    - (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センターは、地域の医療連携体制における役割を踏まえ、集学的治療を提供する。
    - (4) こども病院は、小児がん拠点病院として、集学的治療を提供するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を行う。
    - (5) 粒子線医療センターは、高度ながん治療を実施するほか、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進する。
    - (6) 粒子線医療センター及び神戸陽子線センターは、粒子線医療の有効性を積極的に広報し患者の受入れ促進を進める。
    - (7) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、腫瘍センターの設置や高度先進的ながん治療ネットワークの構築などを行い、がん診療連携拠点病院並みのがん診療を提供する。
  - 2 診療機能の高度化  
内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ）、IMRT対応のリニアック装置等の高度医療機器により、最新治療を提供する。
  - 3 地域連携の推進  
がんセンターを中心に、県統一のがん地域連携クリニカルパスなどを活用した地域連携を推進する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	
<b>〔目標〕</b> がんセンター等は、国及び県指定がん診療拠点病院として高度で専門的な集学的治療を実施する。また、こども病院は、小児がん拠点病院として集学的治療を実施するほか、神戸陽子線センターと連携した陽子線治療を実施する。粒子線医療センターは、神戸陽子線センターとともに、全ての世代の患者に対して身体への負担が少ない粒子線治療を提供する。		がんゲノム医療拠点病院であるがんセンター、連携病院であるこども病院において、積極的にパネル検査を実施するなど最先端のがん医療を提供した。また、神戸陽子線センターにおいて、こども病院と連携した陽子線治療を実施した。更に、粒子線医療センターは、他の粒子線治療施設で対応困難な「肝臓・膵臓・頭頸部」がん患者への取り組みを推進した。					○	対象患者の減等により、一部項目で計画を下回った病院もあったが、新型コロナウイルスによる受診控えの解消傾向により、がん手術件数や外来化学療法件数等が増加しており、概ね計画どおりに実施した。	
<b>〔取組項目〕</b> 1 病院の役割 (1) がん手術総件数		<b>〔取組項目〕</b> 1 病院の役割 (単位：件（延件数）)							
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	R2 実績/計画 1,779/1,920 【○】	R3 実績/計画 2,214/1,900 【○】	R4 実績/計画 2,205/2,050 【○】	R5 実績①/計画② 2,055/2,250	①/② 91.3%	○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎	(姫路) ・フルオープンに伴う対象患者の増
		尼崎	1,406/1,437 【○】	1,427/1,456 【○】	1,361/1,464 【○】	1,463/1,474	99.3%		
		丹波	230/230 【○】	244/296 【○】	298/290 【○】	294/270	108.9%		
		淡路	337/518 【○】	406/440 【○】	393/390 【○】	421/410	102.7%		
	県指定	西宮	1,262/1,334 【○】	1,296/1,150 【○】	1,157/1,440 【○】	1,221/1,200	101.8%		
		加古川	719/780 【○】	802/841 【○】	663/747 【○】	867/821	105.6%		
		姫路	—	—	890/477 【◎】	1,055/828	127.4%		
	合計		5,733/6,219	6,389/6,083	6,967/6,858	7,376/7,253	101.7%		
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	R2 実績/計画 985/840 【○】	R3 実績/計画 952/900 【○】	R4 実績/計画 896/960 【○】	R5 実績①/計画② 765/970	①/② 78.9%	△ ○ ◎ ○ ○ ○ ◎	(がん) ・手術適用症例の減少による胃がん及び肺がん患者の減  (丹波) ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行による受診控え解消による内視鏡手術等の増
		尼崎	594/702 【○】	614/680 【○】	625/630 【○】	705/685	102.9%		
		丹波	154/170 【○】	187/204 【△】	191/180 【○】	224/165	135.8%		
		淡路	222/348 【○】	260/290 【○】	279/240 【○】	225/260	86.5%		
	県指定	西宮	537/550 【○】	739/520 【◎】	649/650 【○】	659/790	83.4%		
		加古川	354/339 【○】	402/410 【○】	426/334 【◎】	337/393	85.8%		
		姫路	—	—	571/296 【◎】	560/456	122.8%		
	合計		2,846/2,949	3,154/3,004	3,637/3,290	3,475/3,719	93.4%		

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	
(3) 国指定がん診療連携拠点病院としての研修会等の開催 ① 都道府県がん診療連携拠点病院 (がん) ・ 協議会、研修会等の開催回数		(単位：回)							
開催内容	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②				
協議会、研修会等	24/21 【○】	21/18 【○】	19/19 【○】	26/20	130.0%	◎	(がん) ・ リモート会議、研修会の増 (協議会、研修会等) ・ 主催者の変更による減 (がん登録実務初級者研修会)		
がん診療連携協議会	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	○			
同幹事会	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○			
がん登録実務初級者研修会	1/3 【▲】	2/2 【○】	2/2 【○】	1/2	50.0%	▲			
② 地域がん診療連携拠点病院等		(単位：回)							
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
セミナー・研修会等	がん	7/12 【▲】	8/11 【△】	12/12 【○】	12/12	100.0%	○	(尼崎) ・ 【コ】 新型コロナウイルス感染症の影響による実績減	
	尼崎	—	2/— 【—】	2/3 【△】	2/3	66.7%	△		
	丹波	3/8 【▲】	7/9 【△】	8/4 【◎】	7/8	87.5%	○		
	淡路	4/7 【▲】	3/5 【△】	2/4 【▲】	2/2	100.0%	○		
合計		14/27	20/25	24/23	23/25	92.0%			
(4) 外来化学療法件数		(単位：件 (延件数))							
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	14,198/14,500 【○】	13,891/14,500 【○】	13,333/14,500 【○】	14,366/14,300	100.5%	○	(淡路) ・ 【コ】 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う患者増 (R4 実績並)  (姫路) ・ 予約枠の拡大に伴う実績増
		尼崎	10,730/10,660 【○】	11,212/10,910 【○】	11,814/11,086 【○】	11,366/11,917	95.4%	○	
		丹波	1,778/1,300 【◎】	1,933/1,809 【○】	2,074/2,000 【○】	2,259/2,000	113.0%	○	
		淡路	3,115/2,500 【◎】	3,387/2,660 【◎】	4,067/3,300 【◎】	4,263/3,500	121.8%	◎	
	県指定	西宮	3,723/4,100 【○】	4,065/3,800 【○】	3,997/4,000 【○】	4,369/4,100	106.6%	○	
		加古川	2,652/2,607 【○】	2,701/2,670 【○】	3,565/2,808 【◎】	3,466/3,537	98.0%	○	
		姫路	—	—	2,388/1,845 【◎】	4,101/3,354	122.3%	◎	
国指定小児がん拠点病院	こども	278/220 【◎】	225/280 【○】	262/280 【◎】	218/250	87.2%	○		
合計		36,474/35,887	37,414/36,629	41,500/39,719	44,408/42,958	103.4%			

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	
(5) 緩和ケア研修会の開催 (出席者数)		(単位：人)							
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	0/10 【▲】	11/12 【○】	9/12 【△】	12/12	100.0%	○ ○ ○ △ ○ ◎ ○	(加古川) ・研修医を初めとする医師への積極的な参加呼びかけによる出席者数の増  (淡路) ・コメディカルの参加が想定を下回ったことによる減 ※医師の受講率は目標値を達成 (90%)
		尼崎	24/41 【▲】	28/24 【○】	28/24 【○】	48/41	117.1%		
		丹波	26/36 【△】	12/24 【▲】	27/24 【○】	30/28	107.1%		
		淡路	11/25 【▲】	12/25 【▲】	14/20 【△】	17/24	70.8%		
	県指定	西宮	9/21 【▲】	13/18 【△】	14/12 【○】	16/15	106.7%		
		加古川	0/20 【▲】	15/12 【◎】	15/15 【○】	18/15	120.0%		
		姫路	—	—	24/15 【◎】	27/24	112.5%		
	合計		70/153	91/115	131/122	168/159	105.7%		
(6) 緩和ケア病棟 (病床) 延入院患者数		(単位：人 (延人数))							
病棟	加古川	1,322/5,597 【▲】	1,850/2,094 【○】	3,620/3,438 【○】	5,543/4,228	131.1%	◎ ◎ ○	(加古川) ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う患者受入制限緩和による増	
	姫路	—	—	4,167/3,468 【◎】	6,058/4,746	127.6%			
	丹波	7,641/7,600 【○】	7,583/7,665 【○】	7,805/7,665 【○】	7,202/7,800	92.3%			
病床	がん	426/1,150 【▲】	195/1,000 【▲】	149/150 【○】	331/360	91.9%	○	(姫路) ・紹介件数増加に伴う増	
合計		9,389/14,347	9,628/10,759	15,741/14,711	19,134/17,134	111.7%			
(7) がんゲノム医療 ・がんゲノム医療の推進									
① 遺伝子パネル検査実施件数		(単位：人)							
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		◎ ○	(こども) ・適応症例の増  (がん) ・新規検査 (GenMineTOP) の開始による増 【GenMineTOP】 DNA 及び RNA の 2 種類の遺伝子情報を解析する機能を併せ持つがんゲノムプロファイリング検査	
こども	8/— 【—】	6/15 【▲】	8/15 【▲】	12/5	240.0%				
がん	111/140 【△】	133/120 【○】	136/120 【○】	168/180	93.3%				
合計	119/140	139/135	144/135	180/185	97.3%				
② がんゲノム外来患者数		(単位：人)							
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		◎ △	(こども) ・適応症例の増  (がん) ・他施設での検査開始による減 ※【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行による受診控え解消による増 (R4 年度比)	
こども	8/— 【—】	11/15 【△】	11/15 【△】	14/10	140.0%				
がん	146/200 【△】	170/168 【○】	147/168 【○】	176/250	70.4%				
合計	154/200	181/183	158/183	190/260	73.1%				
(8) 粒子線治療									
① 神戸陽子線センターとの連携と治療実施 (小児陽子線治療の実施、人材の育成、医療機関等の広報活動) (こども) ・小児陽子線治療の実施件数		(単位：件)							
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		○		
こども	67/60 【○】	57/86 【△】	53/60 【○】	54/50	108.0%				

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
② 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び神戸陽子線Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による粒子線治療実患者数の確保（粒子線） ・粒子線治療実施患者数								
(単位：人)								
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
粒子線	257/430 【▲】	243/383 【△】	314/327 【○】	332/400	83.0%	○		
③ アンギオCTの活用等により、難治性がんである「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者への取り組みを強化（粒子線） ・粒子線治療患者における「肝臓・膵臓・頭頸部がん」患者の割合								
(単位：%)								
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
粒子線	31.9/47.0 【△】	30.9/40.0 【△】	42.4/34.9 【◎】	41.6/45.0	92.4%	○		
④ 粒子線治療の保険適用の積極的PR及び粒子線医療Cと連携した県内外の医療機関との連携強化による陽子線治療実患者数の確保（神戸陽子） ・陽子線治療実患者数								
(単位：人)								
病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
神戸陽子	成人	158/178 【○】	181/193 【○】	192/196 【○】	202/199	101.5%	○	
	小児	70/82 【○】	58/87 【△】	55/73 【△】	59/58	101.7%	○	
	計	228/260	239/280	247/269	261/257	101.6%		
(9) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためのテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子） ・キャンサーボード実施回数								
(単位：回数)								
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
がん、こども、粒子線、神戸陽子	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500 【◎】	607/800	75.9%	△	(粒子線) ・対象患者数の減	
2 診療機能の高度化		2 診療機能の高度化						
(1) 内視鏡下手術用支援機器（ダヴィンチ・ヒノトリ）による手術件数								
(単位：件（延件数）)								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	216/130 【◎】	215/200 【○】	237/220 【○】	234/240	97.5%	○
		尼崎	134/156 【○】	154/159 【○】	169/148 【○】	265/275	96.4%	○
県指定		西宮	59/50 【○】	60/65 【○】	63/55 【○】	84/60	140.0%	◎
		加古川	74/115 【△】	100/90 【○】	98/105 【○】	111/110	100.9%	○
		姫路	—	—	26/100 【▲】	103/50	206.0%	◎
合計		483/451	529/514	593/628	797/735	108.4%		

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(2) リニアックの稼働件数及び新規患者数								
①リニアック稼働件数								
(単位：件(延件数))								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	14,929/14,300【○】	13,952/14,300【○】	14,203/14,300【○】	13,510/14,500	93.2%	○
		尼崎	8,224/8,800【○】	8,489/8,823【○】	9,378/8,120【○】	9,826/9,721	101.1%	○
		丹波	1,973/2,300【○】	2,263/1,761【◎】	1,379/2,200【△】	1,462/1,300	112.5%	○
		淡路	3,624/3,200【○】	3,244/3,650【○】	3,268/2,000【◎】	1,448/1,870	77.4%	△
	県指定	西宮	3,342/2,950【○】	3,834/3,350【○】	3,301/4,200【△】	2,452/3,260	75.2%	△
		加古川	3,726/4,328【○】	3,241/3,954【○】	3,912/3,619【○】	3,600/3,730	96.5%	○
		姫路	—	—	4,663/2,516【◎】	6,400/7,269	88.0%	○
国指定小児がん拠点病院	こども	48/100【▲】	77/50【◎】	58/110【▲】	85/50	170.0%	◎	
合計		35,866/35,978	35,100/35,888	40,162/37,065	38,783/41,700	93.0%		
②リニアック新規患者数								
(単位：人)								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	844/770【○】	784/770【○】	921/770【○】	936/900	104.0%	○
		尼崎	544/680【○】	568/577【○】	640/543【○】	627/671	93.4%	○
		丹波	105/120【○】	107/77【◎】	77/110【△】	84/70	120.0%	◎
		淡路	140/130【○】	153/150【○】	134/80【◎】	66/88	75.0%	△
	県指定	西宮	144/130【○】	147/135【○】	140/150【○】	135/145	93.1%	○
		加古川	230/225【○】	167/246【△】	182/203【○】	178/180	98.9%	○
		姫路	—	—	230/102【◎】	447/300	149.0%	◎
国指定小児がん拠点病院	こども	7/15【▲】	17/17【○】	10/21【▲】	16/10	160.0%	◎	
合計		2,014/2,070	1,943/1,972	2,334/1,979	2,489/2,364	105.3%		
3 地域連携の推進								
・地域連携パスの運用件数								
(単位：件)								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
がん診療連携拠点病院	国指定	がん	222/255【○】	215/215【○】	177/215【○】	213/185	115.1%	○
		尼崎	111/94【○】	103/89【○】	107/119【○】	117/122	95.9%	○
		丹波	26/24【○】	22/23【○】	35/30【○】	34/28	121.4%	◎
		淡路	307/260【○】	363/300【◎】	396/360【○】	410/380	107.9%	○
	県指定	西宮	55/60【○】	59/60【○】	60/55【○】	47/70	67.1%	△
		加古川	58/8【◎】	60/55【○】	63/47【◎】	81/52	155.8%	◎
		姫路	—	—	91/75【◎】	99/73	135.6%	◎
合計		779/701	822/742	929/901	1,001/910	110.0%		
<p>(がん)</p> <p>・がん地域連携パスの数値</p> <p>【がん地域連携パス】</p> <p>がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等との間でかわされる各々の役割分担や医療者用地域連携診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する一連の診療全体の流れを体系化したもの</p> <p>(丹波)</p> <p>・内科・外科担当医師へのパス推進効果</p> <p>(西宮)</p> <p>・対象患者数の減、術後外来期間の延長</p> <p>(加古川)</p> <p>・乳腺外科で特定医療機関と継続した連携実施</p> <p>(姫路)</p> <p>・対象患者数の増</p>								



I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (2) 循環器疾患医療

○ 基本方向	心疾患は本県における死亡原因の第2位（全体の14.8%）、脳血管疾患は第4位（全体の8.3%）であり、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた高度専門医療を提供する。
○ 取組内容	
1 病院の役割	(1) 姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、全県の拠点病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。 (2) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、合併症への対応を強化する。 (3) 尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センターは、心疾患、脳血管疾患に対する急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。 (4) 柏原病院（丹波医療センター）は、引き続き心疾患に対する急性期医療を提供するとともに、統合再編後については、救急拠点施設として、脳卒中等の重症救急患者に対応する。
2 診療機能の高度化	尼崎総合医療センター及び姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、ハイブリッド手術室システム等の高度医療機器を活用した最新治療を提供する。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明			
<p>〔目標〕</p> <p>はりま姫路総合医療センター等は、心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及びはりま姫路総合医療センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供する。</p>	<p>はりま姫路総合医療センター等は心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療及び急性期リハビリテーション医療を提供した。</p> <p>また、尼崎総合医療センター及びはりま姫路総合医療センターは、ハイブリッド手術システム等を活用した最新治療を提供した。</p>	△	対象患者の減等に伴い、一部項目では計画を下回ったものの、概ね計画を達成することができた。			
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p> <p>(1) 開心術の件数</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 病院の役割</p>					
(単位：件（延件数）)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②
総合	尼崎	159/193 【○】	175/188 【○】	191/182 【○】	167/202	82.7%
	姫路	221/300 【△】	241/258 【○】	238/185 【◎】	238/252	94.4%
	淡路	111/95 【○】	103/110 【○】	71/100 【△】	68/80	85.0%
専門	こども	152/150 【○】	169/140 【◎】	172/180 【○】	174/160	108.8%
合計		643/738	688/696	672/647	647/694	93.2%
(2) 大動脈瘤ステント術の件数						
(単位：件（延件数）)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	① /②
総合	尼崎	72/89 【○】	62/78 【△】	66/66 【○】	50/80	62.5%
	姫路	90/117 【△】	90/110 【○】	119/61 【◎】	135/120	112.5%
	淡路	20/30 【△】	23/26 【○】	20/20 【○】	16/15	106.7%
合計		182/236	175/214	205/147	201/215	93.5%
(3) 冠動脈形成術の件数						
(単位：件（延件数）)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	① /②
総合	尼崎	482/540 【○】	555/514 【○】	512/522 【○】	509/599	85.0%
	西宮	118/120 【○】	105/120 【○】	88/120 【△】	83/100	83.0%
	加古川	13/30 【▲】	15/18 【○】	24/23 【○】	18/26	69.2%
	姫路	654/584 【○】	600/605 【○】	535/516 【○】	636/552	115.2%
	丹波	92/100 【○】	93/100 【○】	86/91 【○】	87/100	87.0%
	淡路	314/338 【○】	258/320 【○】	240/320 【△】	250/300	83.3%
合計		1,673/1,712	1,626/1,677	1,485/1,592	1,583/1,677	94.4%

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(4) 経皮的動脈弁バルーン拡張術 (BAV) の件数		(単位: 件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	姫路	3/2 【◎】	12/5 【◎】	15/9 【◎】	15/14	107.1%	○	
	淡路	23/30 【△】	24/30 【○】	19/25 【△】	22/25	88.0%	○	
合計		26/32	36/35	34/34	37/39	94.9%		
(5) 開頭術の件数		(単位: 件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	43/130 【▲】	64/78 【○】	71/73 【○】	98/86	114.0%	○	
	西宮	44/45 【○】	57/35 【◎】	37/50 【△】	24/50	48.0%	▲	
	加古川	20/56 【▲】	21/29 【△】	16/40 【▲】	22/37	59.5%	▲	
	姫路	158/187 【○】	161/163 【○】	127/152 【○】	121/144	84.0%	○	
	丹波	—	—	22/25 【○】	7/10	70.0%	△	
	淡路	30/35 【○】	35/45 【△】	39/37 【○】	38/45	84.4%	○	
合計		295/453	338/350	312/377	310/372	83.3%		
(6) 脳血管内手術の件数		(単位: 件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	40/44 【○】	33/41 【○】	27/40 【△】	35/42	83.3%	○	
	西宮	17/6 【◎】	18/15 【◎】	17/18 【○】	47/50	94.0%	○	
	加古川	0/10 【▲】	2/3 【△】	0/3 【▲】	1/1	100.0%	○	
	姫路	97/89 【○】	94/95 【○】	161/80 【◎】	189/168	112.5%	○	
	丹波	—	—	16/20 【○】	20/20	100.0%	○	
	淡路	36/40 【○】	61/45 【◎】	49/60 【○】	69/65	106.2%	○	
計		190/189	208/199	270/221	361/346	104.3%		
(7) 血栓溶解療法 (t-PA) の件数		(単位: 件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	37/12 【◎】	37/46 【○】	19/29 【△】	27/37	73.0%	△	
	西宮	5/8 【△】	9/6 【◎】	4/7 【▲】	11/20	55.0%	▲	
	加古川	0/1 【▲】	0/1 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%	▲	
	姫路	31/30 【○】	57/24 【◎】	47/22 【◎】	47/60	78.3%	△	
	丹波	—	—	5/5 【○】	10/3	333.3%	◎	
	淡路	8/12 【△】	10/8 【◎】	10/10 【○】	6/15	40.0%	▲	
計		81/63	113/85	85/74	101/136	74.3%		
							(西宮) ・対象症例の救急患者数が想定を下回ったことによる減  (加古川) ・対象患者の受入無し  (丹波) ・救急患者数増に伴う対象患者数の増  (淡路) ・血栓回収療法への移行による減	

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(8) 急性期リハの件数 ・心疾患		(単位：件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎※	7,272/ - 【-】	13,558/- 【-】	16,835/13,028 【◎】	17,514/16,274	107.6%	○	
	西宮	1,857/1,904 【○】	2,147/1,703 【◎】	1,321/1,947 【△】	1,512/1,280	118.1%	○	
	姫路	16,204/14,883 【○】	17,582/14,333 【◎】	17,977/13,184 【◎】	20,327/18,900	107.6%	○	
	丹波	1,469/1,100 【◎】	2,076/1,000 【◎】	1,948/2,100 【○】	2,203/2,000	110.2%	○	
	淡路	6,733/7,829 【○】	6,639/8,100 【○】	6,803/6,500 【○】	7,377/6,600	111.8%	○	
計		33,535/25,716	42,002/25,136	44,884/36,759	48,933/45,054	108.6%		
・脳血管疾患		(単位：件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎※	9,031/ - 【-】	36,321/- 【-】	42,635/34,254 【◎】	40,580/41,797	97.1%	○	
	西宮	11,622/10,362 【○】	11,772/10,902 【○】	10,880/11,405 【○】	12,291/10,160	121.0%	◎	
	加古川	5,512/9,552 【▲】	8,114/7,311 【○】	7,160/8,105 【○】	9,226/8,047	114.7%	○	
	姫路	22,918/22,598 【○】	22,809/19,976 【○】	25,740/29,873 【○】	32,127/32,000	100.4%	○	
	丹波	2,621/3,400 【△】	7,545/2,000 【◎】	18,218/9,000 【◎】	18,380/17,000	108.1%	○	
	淡路	11,307/13,057 【○】	12,610/12,000 【○】	13,683/12,100 【○】	17,377/13,100	132.6%	◎	
計		63,001/58,969	99,171/52,189	118,316/104,737	129,981/122,104	106.5%		
※ (尼崎) R2 はリハビリを実施した日数								
(9) 地域連携パスの運用件数 (脳血管疾患)		(単位：件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	104/130 【○】	103/106 【○】	47/119 【▲】	86/130	66.2%	△	
	西宮	26/45 【▲】	26/28 【○】	3/26 【▲】	23/20	115.0%	○	
	加古川	6/8 【△】	0/5 【▲】	14/8 【◎】	23/13	177.0%	◎	
	姫路	177/264 【△】	196/146 【◎】	230/180 【◎】	297/180	165.0%	◎	
	淡路	86/118 【△】	131/110 【○】	115/100 【○】	130/90	144.4%	◎	
計		399/565	456/395	409/433	559/433	129.1%		
2 診療機能の高度化 ・経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の件数		(単位：件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	57/71 【○】	68/47 【◎】	84/60 【◎】	103/79	130.4%	◎	
	姫路	85/53 【◎】	96/82 【○】	87/69 【◎】	92/96	95.8%	○	
計		142/124	164/129	171/129	195/175	111.4%		
								(西宮) ・言語聴覚士の増員によるリハ増  (淡路) ・対象入院患者の増 ※入院患者の転院待ちが一時期急増  (尼崎) ・対象患者数の減  (加古川) ・脳神経内科医師の増による患者数の増  (姫路) ・夏期の対象患者が想定 (例年の傾向) を上回ったことによる増  (淡路) ・対象患者数の増  (尼崎) ・対象患者数の増

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (3) 糖尿病医療

○ 基本方向  
糖尿病は適切な治療を行うことなく放置すると重大な合併症を引き起こすため、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割及び地域の医療連携体制を踏まえた糖尿病医療を提供する。

○ 取組内容

1 病院の役割  
尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）、姫路循環器病センター（はりま姫路総合医療センター（仮称））は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供する。

2 診療機能の高度化  
統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、専門病院に総合的な診療機能を付加すること等で診療体制の充実を図り、心疾患等の合併症を有する糖尿病患者への治療体制を強化する。

3 地域医療機関との連携体制の構築  
尼崎総合医療センター等は、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																													
<p>〔目標〕 尼崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組む。</p>	<p>ニ崎総合医療センター等は、地域の医療連携体制における役割を踏まえた医療を提供するほか、無治療糖尿病患者や重篤な合併症を有する糖尿病患者の早期診断・治療のため地域の医療機関との連携体制の構築に取り組んだが、計画を下回った。</p>	△	<p>全体的に計画値を下回り、コロナ前の水準に回復していない病院が多い。</p>																																													
<p>〔取組項目〕 1 病院の役割 (1) 新規入院患者数</p>	<p>〔取組項目〕 1 病院の役割</p>																																															
(単位：人(延人数))																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>209/275 【△】</td> <td>191/240 【△】</td> <td>222/224 【○】</td> <td>282/275</td> <td>102.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>208/240 【○】</td> <td>233/220 【○】</td> <td>212/210 【○】</td> <td>175/230</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>136/168 【○】</td> <td>158/80 【◎】</td> <td>152/196 【△】</td> <td>180/204</td> <td>88.2%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>96/170 【▲】</td> <td>73/112 【△】</td> <td>98/98 【○】</td> <td>118/162</td> <td>72.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>20/28 【△】</td> <td>12/15 【○】</td> <td>15/10 【◎】</td> <td>18/15</td> <td>120.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>669/881</td> <td>667/667</td> <td>699/738</td> <td>773/886</td> <td>87.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	209/275 【△】	191/240 【△】	222/224 【○】	282/275	102.5%	西宮	208/240 【○】	233/220 【○】	212/210 【○】	175/230	76.1%	加古川	136/168 【○】	158/80 【◎】	152/196 【△】	180/204	88.2%	姫路	96/170 【▲】	73/112 【△】	98/98 【○】	118/162	72.8%	淡路	20/28 【△】	12/15 【○】	15/10 【◎】	18/15	120.0%	計		669/881	667/667	699/738	773/886	87.2%		○ △ ○ △ ◎	<p>(西宮) ・令和4年度から近隣病院に指導医が着任した影響</p> <p>(姫路) ・圏域内での対象患者数の減</p> <p>(淡路) ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う入院制限緩和による増</p>
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																										
総合	尼崎	209/275 【△】	191/240 【△】	222/224 【○】	282/275	102.5%																																										
	西宮	208/240 【○】	233/220 【○】	212/210 【○】	175/230	76.1%																																										
	加古川	136/168 【○】	158/80 【◎】	152/196 【△】	180/204	88.2%																																										
	姫路	96/170 【▲】	73/112 【△】	98/98 【○】	118/162	72.8%																																										
	淡路	20/28 【△】	12/15 【○】	15/10 【◎】	18/15	120.0%																																										
計		669/881	667/667	699/738	773/886	87.2%																																										
<p>(2) 糖尿病教育入院の実患者数</p>																																																
(単位：人(延人数))																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>尼崎</td> <td>144/213 【△】</td> <td>135/175 【△】</td> <td>142/167 【○】</td> <td>144/210</td> <td>68.6%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>179/190 【○】</td> <td>181/175 【○】</td> <td>179/180 【○】</td> <td>158/180</td> <td>87.8%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>56/118 【▲】</td> <td>77/57 【◎】</td> <td>22/107 【▲】</td> <td>31/118</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>85/137 【△】</td> <td>83/110 【△】</td> <td>63/97 【△】</td> <td>91/108</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>2/13 【▲】</td> <td>1/5 【▲】</td> <td>3/3 【○】</td> <td>3/3</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>466/671</td> <td>477/522</td> <td>409/554</td> <td>427/619</td> <td>69.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	144/213 【△】	135/175 【△】	142/167 【○】	144/210	68.6%	西宮	179/190 【○】	181/175 【○】	179/180 【○】	158/180	87.8%	加古川	56/118 【▲】	77/57 【◎】	22/107 【▲】	31/118	26.3%	姫路	85/137 【△】	83/110 【△】	63/97 【△】	91/108	84.3%	淡路	2/13 【▲】	1/5 【▲】	3/3 【○】	3/3	100.0%	計		466/671	477/522	409/554	427/619	69.0%		△ ○ ▲ ○ ○	<p>(尼崎) ・対象患者数の減</p> <p>(加古川) ・患者が想定(コロナ前実績)を下回ったことによる減</p>
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																										
総合	尼崎	144/213 【△】	135/175 【△】	142/167 【○】	144/210	68.6%																																										
	西宮	179/190 【○】	181/175 【○】	179/180 【○】	158/180	87.8%																																										
	加古川	56/118 【▲】	77/57 【◎】	22/107 【▲】	31/118	26.3%																																										
	姫路	85/137 【△】	83/110 【△】	63/97 【△】	91/108	84.3%																																										
	淡路	2/13 【▲】	1/5 【▲】	3/3 【○】	3/3	100.0%																																										
計		466/671	477/522	409/554	427/619	69.0%																																										

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (4) 精神医療

<p>○ 基本方向 ひょうごこころの医療センターは、民間病院等では対応が困難な急性期の患者等に対し、専門医療を提供するとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。</p> <p>○ 取組内容 1 ひょうごこころの医療センターは、精神科医療の全県拠点病院として、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門治療を充実する。 (1) 精神科の急性期医療、3次救急医療及びアルコール依存症等に対する専門的治療を引き続き提供するとともに、児童思春期センター（愛称：ひかりの森）と地域の保健福祉関係機関等の連携を推進する。 (2) 長期入院患者等の地域移行や精神病床の機能分化が進められる中、地域移行の促進に向けたアウトリーチ（訪問支援）の充実を図るとともに、他の県立病院と連携した身体合併症患者への対応強化等を推進する。 (3) 認知症関連行動障害を有する患者の早期鑑別・早期治療や身体合併症への対応を充実するとともに、医療観察法により入院決定を受けた心神喪失患者に対する医療の提供を検討する。 2 尼崎総合医療センターは、ひょうごこころの医療センター等との連携により、精神科専門医、救急医等関係診療科医が協力して身体合併症を有する精神疾患患者へ適切に対応する。 3 淡路医療センターは、地域の実情等を踏まえ精神科医療を提供する。 4 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、外傷等の身体合併症を持つ精神疾患患者に適切な対応を行う。 5 認知症疾患医療センター指定を受けた各病院は、認知症の鑑別診断を行うとともに、圏域の中核となって医療機関等を対象とした研修や症例検討会を開催し、医療連携を推進する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																								
<p>【目標】 ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに、長期入院患者等の退院促進を図る。 また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切に行う。</p>	<p>ひょうごこころの医療センターにおいて、児童思春期精神疾患、3次救急医療、アルコール依存症等の専門医療を充実するとともに長期入院患者等の退院促進を図った。 また、認知症疾患医療センター設置病院は鑑別診断を適切な実施を推進した。</p>	○	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種制限が緩和され、全体的に計画値を上回った。																																								
<p>【取組項目】 1 新規入院患者数</p>	<p>【取組項目】 1 新規入院患者数</p>																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>尼崎</td> <td>26/48 【▲】</td> <td>29/31 【○】</td> <td>21/32 【△】</td> <td>12/29</td> <td>41.4%</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>35/112 【▲】</td> <td>56/54</td> <td>103.7%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>94/156 【△】</td> <td>95/96 【○】</td> <td>110/100 【○】</td> <td>108/110</td> <td>98.2%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>598/900 【△】</td> <td>883/800 【○】</td> <td>1,140/850 【◎】</td> <td>1,117/1,200</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>718/1,104</td> <td>1,007/927</td> <td>1,306/1,094</td> <td>1,293/1,393</td> <td>92.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	26/48 【▲】	29/31 【○】	21/32 【△】	12/29	41.4%	姫路	—	—	35/112 【▲】	56/54	103.7%	淡路	94/156 【△】	95/96 【○】	110/100 【○】	108/110	98.2%	専門	こころ	598/900 【△】	883/800 【○】	1,140/850 【◎】	1,117/1,200	93.1%	計		718/1,104	1,007/927	1,306/1,094	1,293/1,393	92.8%	<p>(単位：人)</p>	▲ ○ ○ ○	(尼崎) ・対象患者数の減
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																					
総合	尼崎	26/48 【▲】	29/31 【○】	21/32 【△】	12/29	41.4%																																					
	姫路	—	—	35/112 【▲】	56/54	103.7%																																					
	淡路	94/156 【△】	95/96 【○】	110/100 【○】	108/110	98.2%																																					
専門	こころ	598/900 【△】	883/800 【○】	1,140/850 【◎】	1,117/1,200	93.1%																																					
計		718/1,104	1,007/927	1,306/1,094	1,293/1,393	92.8%																																					
<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組 (1) 児童思春期センターの円滑な運営（入院患者数）</p>	<p>2 ひょうごこころの医療センターの取組</p>																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>11,411/17,345 【△】</td> <td>10,023/15,000 【△】</td> <td>13,765/11,500 【○】</td> <td>16,610/14,000</td> <td>118.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	11,411/17,345 【△】	10,023/15,000 【△】	13,765/11,500 【○】	16,610/14,000	118.6%	<p>(単位：人)</p>	○																											
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																					
専門	こころ	11,411/17,345 【△】	10,023/15,000 【△】	13,765/11,500 【○】	16,610/14,000	118.6%																																					
<p>(2) 精神科救急医療センターの充実強化 ・救急医療センター入院患者数</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>189/413 【▲】</td> <td>423/340 【◎】</td> <td>593/200 【◎】</td> <td>533/400</td> <td>133.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	189/413 【▲】	423/340 【◎】	593/200 【◎】	533/400	133.3%	<p>(単位：人)</p>	◎	(こころ) ・医療保護入院患者の増																										
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																					
専門	こころ	189/413 【▲】	423/340 【◎】	593/200 【◎】	533/400	133.3%																																					
<p>・精神科救急医療システムからの入院患者数</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門</td> <td>こころ</td> <td>37/76 【▲】</td> <td>31/60 【▲】</td> <td>48/40 【◎】</td> <td>32/45</td> <td>71.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	専門	こころ	37/76 【▲】	31/60 【▲】	48/40 【◎】	32/45	71.1%	<p>(単位：人)</p>	△	(こころ) ・同システムからの紹介数の減																										
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																					
専門	こころ	37/76 【▲】	31/60 【▲】	48/40 【◎】	32/45	71.1%																																					

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明	
(3) 退院支援の実施									
① 地域移行の推進による退院支援の強化 (単位：件、回)									
区分	病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	◎ ◎ ○	(こころ) ・入院患者数の増
専門	こころ	入院時の業務	1,412/1,600【○】	1,345/1,630【○】	1,438/1,416【○】	1,703/1,370	124.3%		
		退院支援委員会の開催回数	166/130【◎】	124/180【△】	90/168【▲】	119/90	132.2%		
		退院調整に関する業務回数	33,928/11,000【◎】	42,371/42,480【○】	45,592/36,000【◎】	47,962/45,300	105.9%		
② 心理教育の実施 (単位：回、人)									
区分	病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	◎ ◎	(こころ) ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う制限緩和による増
専門	こころ	心理教育	163/250【△】	142/236【△】	127/133【○】	160/125	128.0%		
		患者延参加数	622/1,162【▲】	420/1,140【▲】	335/505【△】	435/341	127.6%		
③ 作業所・救護施設の利用を促進するための退院前訪問・同行の実施 (単位：回)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	602/700【○】	516/630【○】	437/600【△】	514/450	114.2%			
④ 相談員による面接・電話調整 (単位：件)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	44,284/34,400【◎】	48,701/40,700【○】	50,841/47,600【○】	53,789/51,500	104.4%			
⑤ 訪問看護の実施 (単位：人)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	3,275/3,500【○】	3,402/3,260【○】	3,422/3,500【○】	3,155/3,600	87.6%			
(4) アルコール依存症治療の充実									
・入院患者数 (単位：人/日)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	△	(こころ) ・【コ】外出制限等による入院プログラム希望者の実回復 ・入院プログラムの緩和等による平均在院日数の減	
専門	こころ	20.2/34.1【▲】	20.0/40.0【▲】	26.0/20.5【◎】	20.1/27.0	74.4%			
・外来アルコール依存症プログラムの実施 (単位：人/日)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	299/68【◎】	288/288【○】	247/328【△】	248/280	88.6%			
(5) 外来機能の充実強化									
・外来患者数 (単位：人)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	○		
専門	こころ	50,009/51,500【○】	50,279/52,555【○】	49,449/51,000【○】	50,305/49,000	102.7%			
(6) 障害児リハビリテーションの実施 (単位：件)									
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	△	(こころ) ・キャリアの長い専門職の退職による実績の低下	
専門	こころ	1,521/2,400【△】	1,418/1,700【○】	1,691/2,400【△】	1,426/1,800	79.2%			

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(新) (7) 疾患別リハビリテーションの実施 (理学療法)								
(単位：件)								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	こころ	-	1,753/-【-】	2,152/-【-】	1,848/2,200	84.0%	○	
3 認知症鑑別診断の件数		3 認知症鑑別診断の件数						
(単位：件 (延件数))								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	220/347【△】	224/186【◎】	214/246【○】	249/224	111.2%	○	
	姫路	565/666【○】	529/565【○】	577/450【◎】	637/600	106.2%	○	
	淡路	262/371【△】	280/270【○】	289/272【○】	264/287	92.0%	○	
専門	こころ※	995/1,111【○】	1,208/1,100【○】	190/180【○】	233/185	125.9%	◎	
	リハ西	1,141/1,157【○】	1,248/1,122【○】	1,284/1,141【○】	1,346/1,248	107.9%	○	
計		3,183/3,652	3,489/3,243	2,554/2,289	2,729/2,544	107.3%		
※ (こころ) R3 以前は、鑑別診断のための診察を行った件数								
(こころ) ・紹介患者数の増								

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (5) 救急・災害医療

○ **基本方向**  
 県民が急傷病時に安心して診療を受けることができるよう、「兵庫県保健医療計画」で定められた各病院の役割を踏まえ、災害医療センターを中心に、2次、3次の救急医療の充実を図っていく。  
 また、災害時にも県民の求める医療を適切に提供できるようハード、ソフトの両面から機能充実を図り、県立病院全体の強靱化を進める。

○ **取組内容**

1 **救急医療**  
 (1) 災害医療センターは、高度救命救急センターとして、高度救命救急医療を提供するとともに救急医療の従事者に対する研修等を行う。  
 (2) 尼崎総合医療センターの救命救急センターにおいて、24時間365日断ることなく救急患者に対応するER型救急医療の提供を行う。  
 (3) 加古川医療センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリを活用した迅速な患者受け入れを行う。  
 (4) 西宮病院、淡路医療センター、姫路循環器病センターは、救命救急センターとして、3次救急医療を提供する。  
 (5) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、新たに総合的な診療機能を活かした3次救急医療を提供するなど救急医療を充実するとともに、加古川医療センターと連携した兵庫県ドクターヘリを運航する。  
 (6) 柏原病院（丹波医療センター）は、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

2 **災害医療**  
 (1) 災害拠点病院の機能強化や人材育成を引き続き推進する。  
 (2) 災害医療センターは、基幹災害拠点病院として、大規模災害に備えるとともに、災害医療の従事者に対する研修等を行う。  
 (3) すべての県立病院は業務継続計画（BCP）等に基づき、災害発生時には速やかに必要な医療の提供を行う。  
 (4) 兵庫DMAT指定病院、DPAT登録医療機関は、災害発生時に県からの要請に基づき必要な医療チームの派遣を行う。

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明			
<p>〔目標〕                      救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。                      災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割も担う。</p>	<p>救命救急センターや2次救急輪番病院については、地域の医療機関や消防機関と連携して、圏域の救急医療を確保する。                      災害医療センターにおいては、兵庫県全域の救急・災害医療の教育拠点としての役割を担っている。</p>	○	新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響等により、全体的に計画値を上回った。			
<p>〔取組項目〕                      1 救急医療                      (1) 救急車搬送患者</p>	<p>〔取組項目〕                      1 救急医療</p>					
(単位：人)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②
総合	尼崎	8,777/12,906 【△】	9,877/10,438 【○】	11,948/10,290 【○】	13,175/11,789	111.8%
	西宮	3,509/4,106 【○】	3,814/3,610 【○】	4,581/3,700 【◎】	4,572/4,500	101.6%
	加古川	946/2,518 【▲】	1,620/1,990 【○】	2,668/1,899 【◎】	2,885/2,641	109.2%
	(ドクヘリ搬送)	(355/450 【△】)	(360/398 【○】)	(403/564 【△】)	(376/449)	83.7%
	姫路	2,385/2,468 【○】	2,300/2,249 【○】	5,537/3,943 【◎】	6,421/6,400	100.3%
	(ドクヘリ搬送)	—	—	(217/173 【◎】)	(172/210)	81.9%
	丹波	2,017/2,300 【○】	2,415/2,300 【○】	3,211/2,500 【◎】	3,405/3,150	108.1%
淡路	2,702/3,200 【○】	3,094/3,000 【○】	3,418/3,000 【○】	3,859/3,500	110.3%	
専門	災害	1,266/931 【◎】	1,099/1,125 【○】	1,054/1,450 【△】	1,047/1,050	99.7%
計		21,602/28,429	24,219/24,712	32,417/26,782	35,364/33,030	107.1%
(2) うち重篤患者数（高度救命救急センター及び救命救急センター）						
(単位：人)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②
総合	尼崎	1,446/1,702 【○】	1,429/1,634 【○】	1,496/1,625 【○】	1,688/2,547	66.3%
	西宮	924/747 【◎】	917/840 【○】	890/930 【○】	945/920	102.7%
	加古川	223/590 【▲】	271/579 【▲】	1,061/834 【◎】	1,061/533	199.1%
	姫路	949/1,214 【△】	850/1,079 【△】	1,850/1,429 【◎】	2,159/2,100	102.8%
	淡路	407/700 【▲】	511/600 【○】	633/420 【◎】	871/650	134.0%
専門	災害	1,131/779 【◎】	1,004/950 【○】	944/1,135 【○】	982/940	104.5%
計		5,080/5,732	4,982/5,682	6,874/6,373	7,706/7,690	100.2%



実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(3) ドクターカー出動件数							(単位：件)	
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	174/351 【▲】	196/270 【△】	298/283 【○】	313/376	83.2%	○	
	西宮	585/650 【○】	540/630 【○】	488/643 【△】	487/540	90.2%	○	
	加古川	30/129 【▲】	24/49 【▲】	51/65 【△】	93/53	175.5%	◎	
	姫路	—	—	—	16/-	1,600.0%	-	
	淡路	12/40 【▲】	10/30 【▲】	15/12 【◎】	23/15	153.3%	◎	
専門	こども	127/190 【△】	142/143 【○】	130/150 【○】	145/130	111.5%	○	
	災害	329/263 【◎】	287/306 【○】	253/233 【○】	241/280	86.1%	○	
計		1,257/1,623	1,199/1,428	1,235/1,386	1,318/1,394	94.5%		
(4) 高度救命救急センターとして、県下救急隊に研修等を行い、連携強化に努める。(災害)							(単位：回)	
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	災害	137/134 【○】	160/142 【○】	155/152 【○】	144/140	102.9%	○	
2 災害医療								
(1) 広域災害訓練等の開催・参加回数							(単位：回(延回数))	
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
災害拠点病院	尼崎	0/4 【▲】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	○	
	西宮	2/6 【▲】	5/3 【◎】	4/3 【◎】	5/5	100.0%	○	
	加古川	1/9 【▲】	1/2 【▲】	2/3 【△】	3/2	150.0%	◎	
	姫路	0/4 【▲】	2/6 【▲】	4/4 【○】	6/5	120.0%	◎	
	丹波	0/3 【▲】	1/1 【○】	0/1 【▲】	2/1	200.0%	◎	
	淡路	1/3 【▲】	1/3 【▲】	1/2 【▲】	1/1	100.0%	○	
	災害	4/3 【◎】	4/5 【○】	7/6 【○】	7/5	140.0%	◎	
その他	こころ	1/2 【▲】	1/1 【○】	0/2 【▲】	1/2	50.0%	▲	
	こども	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	○	
	がん	2/2 【○】	2/3 【△】	2/2 【○】	1/2	50.0%	▲	
	粒子線	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○	
	リハ中	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%	○	
	リハ西	1/2 【▲】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○	
計		18/44	26/33	29/32	35/32	109.4%		
								(加古川) ・参加人数の増により、開催回数を増  (姫路) ・訓練要請の増  (丹波) ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う回数増  (こころ) ・【コ】訓練当日の感染患者発生による中止  (がん) ・業務調整不可のため県合同災害訓練不参加

実施計画の自己点検・評価

実施計画			実施状況					評価	説明
(2) 災害医療従事者の人材育成（災害） ・DMA T 隊員養成研修実施回数及び参加者数			(単位：回)						(災害) ・能登半島地震の影響により、研修インストラクター等の確保不可
区分	病院名	項目	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	災害	実施回数	3/9 【▲】	3/9 【▲】	9/5 【◎】	8/9	88.9%	○	
		参加者数	67/510 【▲】	88/225 【▲】	242/125 【◎】	198/250	79.2%	△	
(3) 災害時の迅速かつ適切な医療活動支援につなげるための広域災害・救急医療情報システム（EMIS）を用いた情報収集訓練の実施（災害） ・訓練実施回数			(単位：回)						(災害) ・新型コロナウイルス感染症対応により低調となっていたが、コロナが一段落し、各消防本部がより積極的に訓練を実施するようになったことによる増
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
専門	災害	15/38 【▲】	18/27 【△】	21/21 【◎】	23/19	121.1%	◎		



実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(2) 母体搬送受入数								
		(単位：人)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	97/106 【○】	100/96 【○】	88/84 【○】	52/106	49.1%	▲	(尼崎・姫路・淡路) ・対象患者数の減
	西宮	82/120 【△】	58/84 【△】	81/75 【○】	57/50	114.0%	○	
	姫路	—	—	5/3 【◎】	10/172	5.8%	▲	
	淡路	2/5 【▲】	4/4 【○】	3/3 【○】	3/5	60.0%	△	
専門	こども	106/90 【○】	153/100 【◎】	114/170 【△】	105/120	87.5%	○	
計		287/321	315/284	291/335	227/453	50.1%		
(3) 2,500g未満の新生児実入院患者数								
		(単位：人)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	213/240 【○】	199/197 【○】	225/211 【○】	228/240	95.0%	○	(淡路) ・対象患者数の増
	西宮	94/110 【○】	97/120 【○】	86/100 【○】	81/96	84.4%	○	
	姫路	—	—	13/7 【◎】	14/16	87.5%	○	
	淡路	50/50 【○】	35/40 【○】	38/50 【△】	40/30	133.3%	◎	
専門	こども	353/180 【◎】	229/220 【○】	241/230 【○】	214/220	97.3%	○	
計		710/580	560/577	603/598	577/602	95.8%		
(4) 新生児の搬送受入総数								
		(単位：人)						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	72/70 【○】	54/75 【△】	72/58 【◎】	64/72	88.9%	○	(西宮) ・出生数の予想以上の減
	西宮	39/50 【△】	38/40 【○】	46/40 【○】	34/50	68.0%	△	
	姫路	—	—	7/— 【—】	3/16	18.8%	▲	
	淡路	2/3 【△】	4/4 【○】	3/3 【○】	2/5	40.0%	▲	
専門	こども	173/190 【○】	179/180 【○】	178/180 【○】	202/180	112.2%	○	(淡路) ・搬送依頼の減
計		286/313	275/299	306/281	305/323	94.4%		
(5) 院内助産の実施件数								
		(単位：件)						
区分	病院名	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
総合	淡路	5/— 【—】	7/10 【△】	6/10	60.0%	△	(淡路) ・早産等、院内助産の対象外事例の増	

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (7) リハビリテーション医療

<p>○ 基本方向 リハビリテーション中央病院及びリハビリテーション西播磨病院においては、全県の中核施設として、安全で質の高い先導的なリハビリテーション医療を追求するとともに、各地域におけるリハビリテーション関係機関と連携し、地域と結びついた一貫したリハビリテーション提供体制の充実を図る。</p> <p>○ 取組内容 1 リハビリテーション中央病院は、ロボットリハビリテーションを推進するとともに、リハビリテーション西播磨病院は、神経難病リハビリテーションを更に充実する。 2 急性期病院において、治療後の早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図るとともに、「地域連携パス」等により近隣病院との連携を強化する。 3 がんセンター等は、がんリハビリの充実に取り組み、術後早期の機能回復を図る。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価		説明		
<p>〔目標〕 全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供する。 また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図る。</p>		<p>全県の中核施設として、リハビリテーション中央病院において、ロボットリハビリテーションを推進し、また、リハビリテーション西播磨病院において神経難病リハビリテーションを適切に提供した。 また、急性期病院において、早期機能回復を図るため、リハビリテーションの充実を図った。</p>		○		<p>スポーツ医学診療センター患者数やスポーツ医学診療センター患者数が計画を大きく上回ったほか、摂食・嚥下支援センターの外来患者数が昨年度を上回る等、全体を通して概ね計画どおり実施した。</p>		
<p>〔取組項目〕 1 リハビリテーション中央病院の取組 (1) ロボット機器を用いたリハビリテーションの臨床応用（脊髄損傷、四肢切断、脳卒中等） ・実施患者数</p>		<p>〔取組項目〕 1 リハビリテーション中央病院の取組</p>						
				(単位：人)				
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	リハ中	52/65 【○】	75/57 【◎】	136/52 【◎】	80/150	53.3%	▲	
				(単位：%)				
区分	病院名	項目	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	
専門	リハ中	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	94.8/89.4 【○】	90.3/94.0 【○】	86.8/87.9 【○】	93.1/91.4	101.9%	○
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	51.4/49.4 【○】	49.1/46.0 【○】	42.3/50.9 【○】	57.7/53.7	107.4%	○
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	90.5/84.0 【○】	91.8/89.1 【○】	75.9/91.0 【○】	94.8/91.8	103.3%	○
				(単位：件)				
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	リハ中	190/320 【▲】	215/250 【○】	289/190 【◎】	277/280	99.0%	○	
				(単位：単位)				
区分	病院名	項目	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	
専門	リハ中	一般(手術)	2.7/2.2 【◎】	2.8/2.0 【◎】	2.0/1.7 【○】	2.1/2.0	105.0%	○
		障害者	4.8/4.3 【○】	4.7/4.4 【○】	4.5/4.4 【○】	4.5/4.5	100.0%	○
		回復期	6.0/5.5 【○】	6.0/5.5 【○】	6.2/5.5 【○】	5.4/6.5	83.1%	○

(リハ中)  
・R5.12～機器1台の取扱い終了による減

(リハ中)  
・回復期1：6.5 回復期3：3.2

実施計画の自己点検・評価

実施計画				実施状況			評価	説明	
(5) スポーツ医学診療センター患者数									
							(単位：件)		
区分	病院名	項目	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
専門	リハ中	入院患者	6,799/2,867 【◎】	12,390/8,400 【◎】	15,598/11,000	141.8%	◎	(リハ中) ・他の医療機関や学校等へのPR等、患者獲得に向けた取組による増	
		外来患者	3,745/134 【◎】	6,799/3,888 【◎】	12,891/8,000	161.1%	◎		
<b>2 リハビリテーション西播磨病院の取組</b>				<b>2 リハビリテーション西播磨病院の取組</b>					
(1) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持							(単位：%)		
区分	病院名	項目	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	リハ西	在宅復帰率 (基準：70.0%以上)	87.6/79.7 【○】	83.3/86.9 【○】	89.1/87.6 【○】	84.1/83.3	101.0%	○	(リハ西) ・該当患者の積極的な受入れによる増
		日常生活機能評価10点以上 又はFIM総得点55点以下 (基準30.0%以上)	36.8/32.7 【○】	35.1/31.6 【○】	43.6/36.8 【○】	47.0/35.1	133.9%	◎	
		リハビリテーション実績指数 (基準40.0%以上)	53.2/46.2 【○】	54.5/48.2 【○】	62.5/53.2 【○】	55.0/54.5	100.9%	○	
		日常生活機能評価4点以上 又はFIM総得点16点以上改善 (基準30.0%以上)	64.6/54.1 【○】	82.2/47.5 【◎】	79.1/64.6 【◎】	76.5/82.2	93.1%	○	
(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上				(2) 病床利用率及び1日あたり外来患者数の安定的確保及び更なる向上			◎	(リハ西) ・近隣の脳神経内科からの摂食・嚥下機能の低下がある難病患者の紹介増	
① 摂食・嚥下支援センターの本格稼働による入院及び外来患者数の増加 (R5 計画：入院患者数11人)				① 摂食・嚥下支援センターの本格稼働による入院及び外来患者数の増加 (R5 実績：入院患者0人、外来患者47人) (R4 実績：入院患者2人、外来患者24人)					
② 病床利用率及び1日あたり外来患者数							(単位：%、人)		
区分	病院名	項目	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
専門	リハ西	病床利用率	86.7/95.5 【○】	87.8/95.2 【○】	84.1/95.5 【○】	86.3/95.2	90.7%	○	
		外来患者数	40.3/46.0 【○】	40.0/46.0 【○】	38.4/46.0 【○】	35.9/44.1	81.4%	○	
<b>3 急性期病院の取組</b>									
・リハビリテーション実施単位の向上							(単位：単位)		
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
総合	尼崎	123,102/130,388 【○】	124,511/123,460 【○】	139,885/119,307 【○】	140,773/138,421	101.7%	○		
	西宮	68,469/64,682 【○】	63,967/68,241 【○】	49,587/65,588 【△】	56,696/50,740	111.7%	○		
	加古川	35,667/47,329 【△】	39,448/42,900 【○】	43,302/43,901 【○】	43,071/44,604	96.6%	○		
	姫路	65,304/54,393 【◎】	67,546/57,380 【○】	99,900/107,549 【○】	120,942/130,000	93.0%	○		
	丹波	45,141/45,000 【○】	55,348/48,500 【○】	82,501/76,650 【○】	85,625/82,000	104.4%	○		
	淡路	60,288/62,924 【○】	64,754/64,000 【○】	65,384/63,500 【○】	73,454/64,800	113.4%	○		
専門	こども	17,622/17,000 【○】	18,817/18,000 【○】	17,690/19,560 【○】	17,540/18,800	93.3%	○		
	がん	21,753/21,400 【○】	16,175/21,680 【△】	15,403/20,000 【△】	17,711/21,680	81.7%	○		
計		437,346/443,116	450,566/444,161	513,652/516,055	555,812/551,045	100.9%			

I より良質な医療の提供

項目1 診療機能の高度化 (8) その他の政策医療

<p>○ 基本方向 「兵庫県保健医療計画」に定められた各病院の役割を踏まえ、結核・感染症医療、アレルギー疾患医療、難病医療等を提供する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 結核・感染症医療                  (1) エイズ治療拠点病院において高度専門医療を提供するほか、エイズ診療協力病院においても機能に応じた医療を提供する。                  (2) 兵庫県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、淡路医療センター、柏原病院（丹波医療センター）は患者の受入れ体制を整備する。                  (3) 加古川医療センターは、第一種感染症病床及び第二種感染症病床を、尼崎総合医療センター、淡路医療センターにおいては、第二種感染症病床を確保し、新興感染症等に対する医療を提供する。                  (4) 統合再編後の丹波医療センターは第二種感染症病床を設置し、新興感染症等に対する医療を提供する。                  (5) 淡路医療センターは、引き続き結核医療及び精神疾患と結核の合併症患者への医療を提供する。</p> <p>2 アレルギー疾患医療                  (1) 県アレルギー疾患医療拠点病院であるこども病院は、診断が困難な疾患や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。                  (2) アレルギー科やアレルギー外来を設置している病院において、適切な医療を提供する。</p> <p>3 難病医療                  専門医を配置するなど、難病医療の拠点病院・協力病院として必要な機能を整備し、入院治療が必要な重症難病患者に対して、適切な医療を提供する。</p> <p>4 透析医療                  透析患者に対し、良質で安全な医療を提供する。</p> <p>5 臓器移植                  西宮病院等は、臓器移植を必要とする患者に、適切に臓器の提供及び移植の実施ができるよう体制の充実を図る。</p> <p>6 造血幹細胞移植（骨髄移植、さい帯血移植）                  (1) 化学療法等では治癒しない白血病や重症再生不良性貧血等の患者に対して骨髄移植の機会を確保するため、尼崎総合医療センター、西宮病院、こども病院、がんセンターは、引き続き骨髄移植を実施する。                  (2) さい帯血移植は、提供者に身体的負担をかけないことなどから、移植の推進に協力する。</p> <p>7 へき地医療                  (1) 淡路医療センター及び柏原病院（丹波医療センター）は、へき地医療拠点病院としての役割を果たす。                  (2) 統合再編後の丹波医療センターは、引き続きへき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣する。                  (3) 統合再編後のはりま姫路総合医療センター（仮称）は、製鉄記念広畑病院のへき地医療拠点病院としての機能を継承する。</p> <p>8 性差医療                  尼崎総合医療センター及び淡路医療センターは、引き続き女性総合外来を実施する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供する。</p>	<p>結核・感染症医療やアレルギー疾患医療、透析医療等の政策医療について、各病院の役割に応じて適切な医療を提供したが、右記の理由により計画を下回った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や診療体制・治療方法・外部環境の変化等により、計画を下回る項目が多数見られた。</p>
<p>〔取組項目〕 1 結核・感染症医療                  (1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター）                  ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備する。                  ② 専門医の勤務状況（週1日）                  院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（広域抗                  菌薬ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施する。</p>	<p>〔取組項目〕 1 結核・感染症医療                  (1) 第一種感染症指定医療機関（加古川医療センター）                  ① 新型インフルエンザを想定した診療訓練を実施する等、感染症に対する専門医療の提供体制を整備した。                  ② 専門医の勤務状況（週1日）                  院内感染症外来・ICTミーティング・院内ラウンド（抗菌薬                  ラウンド、血培ラウンド、環境ラウンド）を実施した。</p>	○	<p>・概ね計画どおり実施</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																													
<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型コロナウイルス対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供する。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組む。</p> <p><b>2 アレルギー疾患医療</b></p> <p>・アレルギー専門外来の患者数</p>	<p>(2) 第二種感染症指定機関（尼崎総合医療センター、加古川医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター）ほか</p> <p>① 平時から新型コロナウイルスを想定した診療訓練を実施する等、患者の受入体制を整備するとともに、発生時においては、「兵庫県新型コロナウイルス対策行動計画」に基づき、入院患者の受入れや外来診療への協力など、適切な医療を提供した。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策では、感染症指定医療機関を中心に感染患者の積極的な受入に全力で取り組んだ。</p> <p><b>2 アレルギー疾患医療</b></p>	○	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・圏域内の指定医療機関として、軽症・中等症・重症患者を受入れ、入院管理を実施</p>																																													
(単位：人(延人数))																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>尼崎</td> <td>672/1,500 【▲】</td> <td>1,434/1,179 【◎】</td> <td>1,888/1,582 【○】</td> <td>2,617/1,965</td> <td>133.2%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>568/965 【▲】</td> <td>634/520 【◎】</td> <td>643/600 【○】</td> <td>759/610</td> <td>124.4%</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>894/1,505 【▲】</td> <td>982/1,271 【△】</td> <td>1,334/1,261 【○】</td> <td>1,048/1,252</td> <td>83.7%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>818/1,000 【○】</td> <td>825/1,000 【○】</td> <td>831/860 【○】</td> <td>293/850</td> <td>34.5%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>こども</td> <td>3,788/3,000 【◎】</td> <td>4,957/3,500 【◎】</td> <td>5,042/4,900 【○】</td> <td>4,382/5,000</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>6,740/7,970</td> <td>8,832/7,470</td> <td>9,738/9,203</td> <td>9,099/9,677</td> <td>94.0%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	672/1,500 【▲】	1,434/1,179 【◎】	1,888/1,582 【○】	2,617/1,965	133.2%	西宮	568/965 【▲】	634/520 【◎】	643/600 【○】	759/610	124.4%	加古川	894/1,505 【▲】	982/1,271 【△】	1,334/1,261 【○】	1,048/1,252	83.7%	丹波	818/1,000 【○】	825/1,000 【○】	831/860 【○】	293/850	34.5%	専門	こども	3,788/3,000 【◎】	4,957/3,500 【◎】	5,042/4,900 【○】	4,382/5,000	87.6%	計		6,740/7,970	8,832/7,470	9,738/9,203	9,099/9,677	94.0%	◎ ◎ ○ ▲ ○	<p>(尼崎)</p> <p>・対象患者数の増</p> <p>(西宮)</p> <p>・有症率の増</p> <p>(丹波)</p> <p>・医師数の減による診療枠の減</p>
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																										
総合	尼崎	672/1,500 【▲】	1,434/1,179 【◎】	1,888/1,582 【○】	2,617/1,965	133.2%																																										
	西宮	568/965 【▲】	634/520 【◎】	643/600 【○】	759/610	124.4%																																										
	加古川	894/1,505 【▲】	982/1,271 【△】	1,334/1,261 【○】	1,048/1,252	83.7%																																										
	丹波	818/1,000 【○】	825/1,000 【○】	831/860 【○】	293/850	34.5%																																										
専門	こども	3,788/3,000 【◎】	4,957/3,500 【◎】	5,042/4,900 【○】	4,382/5,000	87.6%																																										
計		6,740/7,970	8,832/7,470	9,738/9,203	9,099/9,677	94.0%																																										
(単位：件(延件数))																																																
<p><b>3 難病医療</b></p> <p>・神経難病相談センター及び神経難病リハビリテーションセンター相談件数</p>	<p><b>3 難病医療</b></p>	△ ○	<p>(尼崎)</p> <p>・【コ】新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや、面会制限による減</p>																																													
(単位：件(延件数))																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>尼崎</td> <td>5,110/5,135 【○】</td> <td>4,876/5,264 【○】</td> <td>3,714/4,945 【△】</td> <td>3,616/4,876</td> <td>74.2%</td> </tr> <tr> <td>専門</td> <td>リハ西</td> <td>265/330 【○】</td> <td>325/293 【○】</td> <td>417/265 【◎】</td> <td>302/325</td> <td>92.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>5,375/5,465</td> <td>5,201/5,557</td> <td>4,131/5,210</td> <td>3,918/5,201</td> <td>75.3%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	5,110/5,135 【○】	4,876/5,264 【○】	3,714/4,945 【△】	3,616/4,876	74.2%	専門	リハ西	265/330 【○】	325/293 【○】	417/265 【◎】	302/325	92.9%	計		5,375/5,465	5,201/5,557	4,131/5,210	3,918/5,201	75.3%	△ ○	<p>(尼崎)</p> <p>・【コ】新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや、面会制限による減</p>																		
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																										
総合	尼崎	5,110/5,135 【○】	4,876/5,264 【○】	3,714/4,945 【△】	3,616/4,876	74.2%																																										
専門	リハ西	265/330 【○】	325/293 【○】	417/265 【◎】	302/325	92.9%																																										
計		5,375/5,465	5,201/5,557	4,131/5,210	3,918/5,201	75.3%																																										
(単位：件(延件数))																																																
<p><b>4 透析医療</b></p> <p>・透析の件数</p>	<p><b>4 透析医療</b></p>	○ ○ ○ ○ ○ ◎	<p>(淡路)</p> <p>・レオカーナ利用の患者増</p> <p>【レオカーナ】</p> <p>LDL吸着療法で使用される閉塞性動脈硬化症用の吸着式血液浄化用浄化器。LDL吸着療法では、体から血液を取り出して動脈硬化を促進するLDLやフィブリノーゲンを浄化器で吸着し、再び血液を体に戻して足の血流改善を図る。</p>																																													



実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
5 臓器移植		5 臓器移植						
・腎臓移植の実施件数		(単位：件(延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	西宮	12/18 【△】	9/12 【△】	18/10 【◎】	16/15	106.7%	○	
6 造血幹細胞移植		6 造血幹細胞移植						
・骨髄移植の実施件数		(単位：件(延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	8/7 【○】	5/8 【△】	1/8 【▲】	2/8	25.0%	▲	
専門	こども	9/6 【◎】	10/8 【◎】	4/11 【▲】	11/5	220.0%	◎	
	がん	4/7 【▲】	4/4 【○】	4/2 【◎】	5/4	125.0%	◎	
計		21/20	19/20	9/21	18/17	105.9%		
・末梢血幹細胞移植の実施件数		(単位：件(延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	15/13 【○】	16/13 【◎】	17/9 【◎】	23/16	143.8%	◎	
	西宮	3/1 【◎】	1/2 【▲】	2/2 【○】	1/2	50.0%	▲	
専門	こども	19/18 【○】	28/16 【◎】	19/27 【△】	12/28	42.9%	▲	
	がん	8/11 【△】	6/20 【▲】	15/8 【◎】	6/12	50.0%	▲	
計		45/43	51/51	53/46	42/58	72.4%		
・さい帯血移植の実施件数		(単位：日(延日数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	15/16 【○】	9/14 【△】	9/7 【◎】	12/15	80.0%	○	
専門	こども	4/6 【△】	1/6 【▲】	4/4 【○】	7/3	233.3%	◎	
	がん	5/4 【◎】	2/6 【▲】	4/3 【◎】	1/4	25.0%	▲	
計		24/26	12/26	17/14	20/22	90.9%		
7 へき地医療		7 へき地医療						
・へき地医療機関への医師派遣の日数		(単位：日(延日数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	姫路	-	-	0/13 【▲】	4/14	28.6%	▲	
	丹波	98/96 【○】	95/100 【○】	89/96 【○】	99/95	104.2%	○	
	淡路	36/48 【△】	36/42 【○】	35/36 【○】	31/36	86.1%	○	
計		134/144	131/142	124/145	134/145	92.4%		
8 性差医療		8 性差医療						
・女性総合外来の件数		(単位：件(延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	54/200 【▲】	30/137 【▲】	21/72 【▲】	23/22	104.6%	○	
	淡路	995/1,101 【○】	959/1,000 【○】	860/1,050 【○】	819/880	93.1%	○	
計		1,049/1,301	989/1,137	881/1,122	842/902	93.3%		

(尼崎)  
 ・対象患者数の減  
 (こども)  
 ・適応症例の増  
 (がん)  
 ・【コ】令和4年度までみられた、ドナー患者の  
 コロナ感染による移植中止事案の減少による増

(尼崎)  
 ・対象患者数の増  
 (西宮・こども)  
 ・適応症例の減  
 (がん)  
 ・移植対応施設の増加による減

(こども)  
 ・適応症例の増  
 (がん)  
 ・移植対応施設の増加による減

(姫路)  
 ・へき地医療機関からの依頼減

I より良質な医療の提供

項目2 統合再編・建替整備

<p>○ <b>基本方向</b>                  高度専門・特殊医療をさらに充実するとともに、病院運営の一層の効率化を図るため、病院の統合再編を行う。また、県民に対し良質な医療を提供していくためには、高度専門医療等の医療機能の充実や施設の老朽化、狭隘化等への対応が必要であることから、経営状況及び一般会計の負担を踏まえつつ、計画的な建替整備等を行う。                  移転跡地については、資産の有効活用を図るため、売却することを基本とする。</p> <p>○ <b>取組内容</b>  <b>1 統合再編・建替整備</b>                  (1) 丹波医療センター（2019年7月開院）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度上期開院）の整備を推進する。                  (2) 西宮病院と西宮市立中央病院について、県市で締結した基本協定に基づき、統合再編整備を推進する。                  (3) がんセンターは、あり方検討委員会の報告を踏まえ、建替整備等を検討する。                  (4) 尼崎総合医療センターについて、高度・先進医療の中核医療機関としての今後必要な診療機能の具体化を行い、施設拡充を検討する。</p> <b>2 跡地利用</b> (1) 柏原病院 丹波市新庁舎の検討状況を踏まえ、病院局、丹波市、柏原病院、丹波県民局を構成員とする跡地活用検討会で具体的な利活用を検討する。あわせて、跡地処分に向けた土地の課題解決を図る。 (2) 姫路循環器病センター 用地所有者である地元姫路市に対して返還に向けて協議を行っていく。 (3) 西宮病院 県と西宮市で有効活用を検討する。
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕                  西宮総合医療センター（仮称）の統合再編整備、がんセンターの建替整備を推進する。</p>	<p>西宮総合医療センター（仮称）の統合再編整備、がんセンターの建替整備を推進した。</p>	○	・概ね計画どおり実施
<p>〔取組項目〕  <b>1 統合再編・建替整備</b>                  (1) 西宮総合医療センター（仮称）                  「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画（令和2年2月策定）に基づき、設計・建設工事を実施                  (2) がんセンター                  「県立がんセンター建替整備基本計画」（令和3年2月策定）に基づき、設計・建設工事を実施                  また、あり方検討報告書に基づき、合併症対応等について近隣医療機関と引き続き協議を実施</p> <b>2 跡地利用</b> (1) 旧柏原病院 跡地の一部を県社会福祉事業団が活用、それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で引き続き利活用を検討 (2) 旧姫路循環器病センター 用地所有者である姫路市への返還に向け、建物の解体設計・工事等を実施 (3) 西宮病院 3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討	<p>〔取組項目〕  <b>1 統合再編・建替整備</b>                  (1) 西宮総合医療センター（仮称）                  基本計画に基づき、入札を実施し、建設工事に着手した。                  (2) がんセンターの整備                  基本計画に基づき設計を実施し、入札を開始。1度目の入札では設備工事が不調となったものの、年度末に実施した2度目の入札で、全ての工事業者が決定した。</p> <b>2 跡地利用</b> (1) 旧柏原病院 跡地の一部を県社会福祉事業団が活用予定で、それ以外の部分については、跡地活用推進検討会で引き続き利活用を検討した。 (2) 旧姫路循環器病センター 用地所有者である姫路市への返還に向け、建物の解体設計等を実施し、次年度の入札に向けて工事の公募を開始した。 (3) 西宮病院 3号棟は西宮市への売却を基本とし、西宮市において活用予定のない本館・2号棟は民間への売却を検討した。	○  ○  ○  ○	・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施

I より良質な医療の提供

項目3 診療機能の効率化

<p>○ 基本方向 医療の標準化を進め医療の質の向上を図るため、DPC分析ソフトの活用等により、クリニカルパスの充実等を行うとともに、地域医療連携と効率化の観点から地域連携クリニカルパス適用の促進を図る。 また、医療機能の高度化やチーム医療の充実等、良質で安全な医療を引き続き提供するため、診療体制の充実を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 診療科目等の見直し (1) 疾病構造や医療ニーズの変化等を踏まえ、診療科目の見直しを行う。 (2) 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、診療科別病床数等の見直しを行う。</p> <p>2 クリニカルパスの充実 5大がんなどの県統一地域連携クリニカルパスの適用を推進するとともに、DPC分析ソフトの活用等により、他病院とのベンチマークを通じたクリニカルパスの充実を図る。</p> <p>3 専門センター制の導入促進 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進する。</p> <p>4 チーム医療の推進 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を引き続き推進する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																	
<p>【目標】 診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供する。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図る。</p>	<p>診療科目の見直しなど、医療ニーズの変化等に適切に対応するほか、クリニカルパスを活用し、良質な医療を効果的かつ効率的に提供した。 また、専門センター制やチーム医療の推進等により診療体制の充実を図った。</p>	○	<p>病床数の見直し、クリニカルパスの充実等により診療機能の効率化を図った。</p>																																																																	
<p>【取組項目】</p> <p>1 診療科目等の見直し (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを実施</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、適時に診療科別病床数の見直しを実施</p> <p>2 クリニカルパスの充実 ・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進 ・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上 ・更なるクリニカルパスの活用推進に向け、県立病院群としてクリニカルパス推進体制を強化（クリニカルパス推進対策本部を設置）</p> <p>○クリニカルパス適用率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>32.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>33.9</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>70.0</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>70.8</td> <td>56.9</td> <td>52.9</td> <td>50.2</td> <td>37.5</td> <td>36.4</td> <td>43.5</td> <td>64.9</td> <td>96.9</td> <td>100.0</td> <td>29.9</td> <td>33.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1	R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5	R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1	R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2	<p>【取組項目】</p> <p>1 診療科目等の見直し (1) 診療科目の見直し 病院構造や医療ニーズの変化等を踏まえ診療科目の見直しを検討</p> <p>(2) 診療科別病床数の見直し 地域における医療提供体制の状況や患者の動向、国の制度改正等を踏まえ、適時に診療科別病床数の見直しを実施 ・PICUの増床（14床→16床）、GCUの増床（24床→30床）（こども）</p> <p>2 クリニカルパスの充実 ・5大がんなどの県統一クリニカルパスの適用を推進した。 ・使用可能なクリニカルパスの拡充及びクリニカルパス適用率の向上に取り組んだ。 ・更なるクリニカルパスの活用推進に向け、県立病院群としてクリニカルパス推進体制を強化した。</p>	○  ○  ○	<p>(こども) ・未稼働病床の稼働化により、患者対応力を強化</p> <p>・病院局にクリニカルパス推進対策本部を、尼崎のほか8病院（西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こころ、こども、がん）に院内パス推進チームを設置し、パス推進体制を強化 (加古川) ・マニュアル作成・パス大会を開催 (こども) ・新規パス増に伴う適用率の向上 (がん) ・新規パス3件運用開始 (リハ中) ・パス対象者以外の患者が増えたため (リハ西) ・地域連携パス以外の疾患及び医療機関の増加</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																																																								
R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1																																																								
R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5																																																								
R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	48.1																																																								
R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2																																																								
<p>3 専門センター制の導入促進 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入を推進</p> <p>4 チーム医療の推進 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進</p>	<p>3 専門センター制の導入促進 複数の診療科、多職種の協働による専門センター制の導入の推進 ・希少がんセンターを設立（がん）</p> <p>4 チーム医療の推進 多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を活かしつつ連携・補完し、患者の状況に的確に対応した医療を提供するチーム医療を推進した。</p>	○  ○																																																																		



実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
2 治験 ・ 治験の件数		2 治験						
		(単位：件 (延件数))						
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	38/45 【○】	31/42 【△】	37/31 【○】	38/51	74.5%	△	(尼崎) ・ 依頼件数の減
	西宮	8/4 【◎】	9/9 【○】	13/9 【◎】	10/6	166.7%	◎	
	姫路	21/17 【◎】	22/15 【◎】	27/22 【◎】	36/35	102.9%	○	
専門	こども	19/13 【◎】	12/17 【△】	22/16 【◎】	25/21	119.0%	○	(リハ中) ・ 1件が特定臨床研究となったことによる減
	がん	109/110 【○】	107/110 【○】	98/110 【○】	115/100	115.0%	○	
	リハ中	4/5 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	2/3	66.7%	△	
合計		199/194	182/194	198/189	226/216	104.6%		



II 安心できる県立病院の実現

項目1 地域医療連携の推進

<p>○ 基本方向 医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、地域連携を推進し、紹介率及び逆紹介率のより一層の向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等を行う。</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 県立病院間及び県立病院と他の公立・公的病院等との間において、診療応援等の医療連携の更なる推進を図る。 (2) セキュリティ対策の確保を図りつつICT（情報通信技術）の活用を図り、地域医療ネットワークシステムへの参画やウェブ（インターネットテレビ電話会議システム）を活用した症例検討や遠隔医療の充実など、他の医療機関との情報ネットワーク化を推進する。</p> <p>3 地域医療連携体制等の充実 (1) 医療福祉相談員の充実など、地域医療との連携や患者相談を一層推進できる体制の整備を行う。 (2) 各圏域で開催している地域医療連携担当者会議へ積極的に参画する。 (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、ICTを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。</p> <p>4 紹介率の向上 (1) ホームページや広報誌などを活用し、患者、地域医療機関に対して、治療実績等の積極的な情報提供を行う。 (2) 地域の医療機関との情報交換、研修会、症例検討会等を拡充する。 (3) 治療中や治療終了時に、患者の治療状況等を紹介元医療機関に報告する。 (4) 医師会等に県立病院の治療実績等を報告する。</p> <p>5 逆紹介率の向上 (1) 地域連携クリニカルパスの導入を促進する。 (2) 円滑な退院支援のため、後送病院、施設等を幅広く確保する。 (3) 在宅医療、介護サービス等との連携体制の構築を検討する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																											
<p>〔目標〕 地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進する。 また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の活用により、地域医療連携の推進し、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図る。</p>	<p>地域医療支援病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、その役割を踏まえ、医療機器の共同利用の促進や、地域の医療従事者等への研修、相談、情報提供等を行うとともに、地域連携クリニカルパス等の推進を図るなど、地域医療連携を推進した。 また、他の病院及び診療所においても、オープンセミナー等の実施や地域連携クリニカルパス等の推進により、地域医療連携の推進により、紹介率、逆紹介率の維持、向上を図った。</p>	△	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、研修会や講演会、各種会議等が一部再開、計画を上回った病院もあり、一部の項目を除き、全体的に概ね計画どおり実施した。</p>																											
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 地域医療構想への対応 各圏域地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討 急性期医療・高度専門医療に加え、各地域の特性にあわせ、緩和ケア医療の提供【P4 に記載】や地域包括ケア・回復期リハ病棟の運用を行うなど、地域包括ケアシステムの構築に寄与</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携を推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮）</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 地域医療構想への対応 各圏域で行われる地域医療構想調整会議の議論等を踏まえて、県立病院間及び他の医療機関との連携強化、医療機能の分化、必要な診療機能の見直しを検討した。</p> <p>2 地域医療ネットワークへの参画等 (1) 阪神医療福祉情報ネットワーク（h-Anshin むこねっと）による地域連携を推進（患者共有データ件数）（尼崎、西宮）</p>	○	<p>・概ね計画どおり実施</p>																											
		(単位：件(延件数))																												
			△ ▲																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>病院名</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>尼崎</td> <td>1,140/1,202【○】</td> <td>1,088/1,142【○】</td> <td>894/1,133【△】</td> <td>860/1,202</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>359/419【○】</td> <td>424/300【◎】</td> <td>254/385【△】</td> <td>126/310</td> <td>40.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,499/1,621</td> <td>1,512/1,442</td> <td>1,148/1,518</td> <td>986/1,512</td> <td>65.2%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	総合	尼崎	1,140/1,202【○】	1,088/1,142【○】	894/1,133【△】	860/1,202	71.5%	西宮	359/419【○】	424/300【◎】	254/385【△】	126/310	40.6%	計		1,499/1,621	1,512/1,442	1,148/1,518	986/1,512	65.2%			<p>(尼崎) ・対象患者数の減 (西宮) ・地域のクリニックの利用減</p>
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																								
総合	尼崎	1,140/1,202【○】	1,088/1,142【○】	894/1,133【△】	860/1,202	71.5%																								
	西宮	359/419【○】	424/300【◎】	254/385【△】	126/310	40.6%																								
計		1,499/1,621	1,512/1,442	1,148/1,518	986/1,512	65.2%																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明
(2) 淡路地域医療連携システム（あわじネット）の活用による患者確保及び地域医療連携体制を強化（参加医療機関数）（淡路）								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	淡路	46/45 【○】	46/47 【○】	47/45 【○】	47/48	97.9%	○	
(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制の強化（がん） ・参加登録医療機関数（R5.1時点）：73 医療機関								
(3) 明石在宅医療連携システム（明石しごせんネット）の活用による患者の確保及び地域医療連携体制を強化（がん） ・参加登録医療機関数（R6.3時点）：74 医療機関 ・登録医療機関に公開した件数：539 件（R5 年度実績） ・累計登録者数（R6.3時点）：3,454 名								
(4) 尼崎総合医療センター及び丹波医療センターにおける、但馬・神戸大学等遠隔医療教育ネットワークによるTVカンファレンス等の実施（開催回数）								
（単位：回（延回数））								
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②		
総合	尼崎	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12	100.0%	○	
	丹波	124/120 【○】	127/126 【○】	126/126 【○】	119/130	91.5%	○	
計		136/132	139/138	138/138	131/142	92.2%		
(5) キャンサーボード（がん医療に関する治療方針等を検討・共有するためのカンファレンス）を開催するためのテレビ会議システム等を活用したがん診療ネットワークの構築（参加病院：がん、こども、粒子線、神戸陽子）【再掲 P5】 ・キャンサーボード実施回数								
病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②			
がん、こども、粒子線、神戸陽子	476/510 【○】	517/510 【○】	630/500 【◎】	607/800	75.9%	△	(粒子線) ・対象患者数の減	
(6) 病院間連携の促進や医療の質・患者利便性の向上、医師の働き方改革の推進等を図るため、オンラインネットワークシステムを活用した遠隔医療・診断の実施及び新たなシステムの導入検討								
(6) 病院間連携の促進や医療の質・患者利便性の向上、医師の働き方改革の推進等を図るため、オンラインネットワークシステムを活用した遠隔医療を実施した。								
・遠隔画像診断ネットワークにより、院外から放射線画像を確認し、コンサルタントや読影を実施（参加病院：西宮、加古川、丹波、淡路、こころ、こども、がん）								
・希望する患者に、オンラインでの受診（初診・再診・セカンドオピニオン）に振り替えるオンライン診療を実施（はりま姫路、がん、粒子線、神戸陽子線）								
・休日・夜間帯における救急患者等への的確な医療の提供や、医師の働き方改革等を推進								
・患者の通院回数を減らし、患者利便性の向上を推進。								

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価		説明						
3 地域医療支援病院の取組 (1) 医療機器の共同利用件数		3 地域医療支援病院の取組										
(単位：件 (延件数))												
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	816/1,096 【△】	862/1,050 【○】	862/964 【○】	775/1,096	70.7%	△ ○ ○ ○ ○ ○ △					
	西宮	418/700 【▲】	480/540 【○】	380/460 【○】	404/350	115.4%						
	加古川	386/700 【▲】	513/507 【○】	682/535 【◎】	655/650	100.8%						
	姫路	68/150 【▲】	62/125 【▲】	412/730 【▲】	454/390	116.4%						
	丹波	1,140/1,450 【△】	1,087/1,100 【○】	1,126/1,100 【○】	1,077/1,100	97.9%						
	淡路	625/1,011 【△】	692/759 【○】	676/650 【○】	668/670	99.7%						
専門	がん	98/115 【○】	101/95 【○】	105/95 【○】	86/120	71.7%						
計		3,551/5,222	3,797/4,176	4,243/4,534	4,119/4,376	94.1%						
(2) 研修会 (医療従事者向け) 及び講演会 (地域住民向け) 件数												
(単位：回 (延回数))												
区分	病院名	R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績/計画		R5 実績①/計画②		①/②		
		研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	研修会	講演会	
総合	尼崎	7/18 【▲】	0/18 【▲】	2/14 【▲】	0/9 【▲】	1/14 【▲】	0/9 【▲】	1/28	0/18	3.6%	0.0%	▲ ▲ △ ○ ○ △ ◎ ○ ○ ○ ◎ ◎ ○
	西宮	16/55 【▲】	0/3 【▲】	26/20 【◎】	0/3 【▲】	29/29 【○】	2/2 【○】	22/29	3/3	75.9%	100.0%	
	加古川	9/60 【▲】	1/4 【▲】	36/23 【◎】	4/1 【◎】	34/29 【○】	1/1 【○】	38/36	3/4	105.6%	75.0%	
	姫路	3/13 【▲】	0/2 【▲】	13/12 【○】	1/1 【○】	18/13 【◎】	16/1 【◎】	17/13	13/12	130.8%	108.3%	
	丹波	1/12 【▲】	0/12 【▲】	2/18 【▲】	4/3 【◎】	4/4 【○】	11/12 【○】	3/3	12/12	100.0%	100.0%	
	淡路	3/38 【▲】	0/2 【▲】	13/20 【△】	1/2 【▲】	19/11 【◎】	2/1 【◎】	25/19	2/1	131.6%	200.0%	
専門	こども	7/32 【▲】	—	19/26 【△】	—	24/16 【◎】	—	32/27	—	118.6%	—	
	神戸陽子	0/— 【—】	2/— 【—】	0/2 【▲】	1/6 【▲】	—	1/2 【▲】	0/4	0/1	0.0%	0.0%	
計		46/228	3/41	111/135	11/25	129/116	33/28	138/159	33/51	86.8%	64.7%	
(3) 地域医療連携室等の退院調整件数												
(単位：件 (延件数))												
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	4,507/5,020 【○】	5,281/5,000 【○】	11,619/12,000 【○】	14,993/13,255	113.1%	○ ○ ○ ○ △ ○ ◎ ◎ ○ ○					
	西宮	1,508/1,635 【○】	1,847/1,630 【○】	1,839/1,557 【○】	1,631/1,850	88.2%						
	加古川	824/1,250 【△】	973/1,083 【○】	1,387/1,080 【◎】	5,181/4,600	112.6%						
	姫路	3,109/1,600 【◎】	3,707/2,250 【◎】	2,929/3,563 【○】	2,882/2,900	99.4%						
	丹波	2,671/2,700 【○】	4,657/2,560 【◎】	5,948/4,450 【◎】	6,165/8,600	71.7%						
	淡路	3,199/2,655 【◎】	5,852/2,800 【◎】	6,635/4,800 【◎】	7,201/6,500	110.8%						
専門	こども	760/600 【◎】	2,726/1,000 【◎】	3,981/4,000 【○】	4,047/3,200	126.5%						
	がん	2,265/1,270 【◎】	4,037/2,000 【◎】	4,215/4,000 【○】	5,775/4,200	137.5%						
	リハ中	671/720 【○】	707/677 【○】	710/750 【○】	698/840	83.1%						
	リハ西	486/471 【○】	486/499 【○】	473/486 【○】	521/486	107.2%						
計		20,000/17,921	30,273/19,499	39,736/36,686	49,094/46,431	105.7%						
※ (尼崎) R4～計算方法を見直し (病棟主体の生活指導も退院調整に含めた) (姫路) R4～計算方法を見直し (病棟看護師中心の支援を除いた)												
(尼崎) ・CT, NIPT 等での実績減 (がん) ・検査可能な医療機関の増 ※予約待ち期間が長くなった場合、他の医療機関へ変更するケースあり (西宮) ・研修会：【コ】新型コロナウイルス感染症の影響による開催回数の減 ・講演会：【コ】新型コロナウイルス感染症の影響により実績無 (加古川) ・住民向けの講演会は1診療科のみで実施 (淡路) ・トピックス研修と合同で開催したことによる増 (神戸陽子) ・施設見学会 (毎週金曜日) へ移行 (R5 実績：3回) (丹波) ・計画値の過大設定 (実績は入院患者数に比例しており妥当) (こども) ・患者数増による増 (がん) ・病棟看護師による療養指導を含めた退院支援及び退院調整の実施												



実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況					評価	説明				
(4) 地域連携パス会議や関係者連携会議の開催												
(単位：回(延回数))												
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	18/20 【○】	21/20 【○】	21/20 【○】	5/22	22.7%	▲					
	西宮	13/37 【▲】	27/35 【△】	32/32 【○】	41/40	102.5%	○					
	加古川	3/8 【▲】	8/8 【○】	6/3 【◎】	8/8	100.0%	○					
	姫路	8/12 【△】	9/10 【○】	10/10 【○】	10/9	111.1%	○					
	丹波	8/15 【▲】	10/12 【○】	11/7 【◎】	9/11	81.8%	○					
	淡路	19/19 【○】	14/18 【△】	17/14 【◎】	17/14	121.4%	◎					
専門	がん	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○					
	リハ中	7/15 【▲】	9/6 【◎】	8/10 【○】	10/10	100.0%	○					
	リハ西	10/12 【○】	12/10 【◎】	12/10 【◎】	18/12	150.0%	◎					
計	88/140	112/121	119/108	120/128	93.8%							
(5) 訪問看護師との看看連携会議等の開催												
(単位：回(延回数))												
区分	病院名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②						
総合	尼崎	0/3 【▲】	0/3 【▲】	2/3 【△】	3/6	50.0%	▲					
	西宮	7/31 【▲】	9/14 【△】	9/9 【○】	9/10	90.0%	○					
	加古川	6/6 【○】	6/6 【○】	6/7 【○】	6/6	100.0%	○					
	姫路	0/2 【▲】	0/1 【▲】	0/1 【▲】	0/1	0.0%	▲					
	丹波	2/3 【△】	3/3 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○					
	淡路	2/3 【△】	3/2 【◎】	4/3 【◎】	4/4	100.0%	○					
専門	こども	39/36 【○】	44/42 【○】	48/20 【◎】	44/50	88.0%	○					
	がん	2/3 【△】	3/3 【○】	4/4 【○】	3/3	100.0%	○					
	リハ中	11/40 【▲】	17/27 【△】	18/20 【○】	37/20	185.0%	◎					
	リハ西	0/1 【▲】	1/1 【○】	0/1 【▲】	3/1	300.0%	◎					
計	69/128	86/102	93/70	111/103	107.8%							
4 紹介率及び逆紹介率の向上		4 紹介率及び逆紹介率の向上					○					
(単位：%)												
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	
紹介率	R3 決算	73.1	83.4	58.2	70.6	77.6	74.0	91.3	87.7	73.5	100.0	100.0
	R4 決算	71.3	102.8	91.0	75.7	69.3	77.5	82.3	84.9	97.7	100.0	100.0
	R5 計画①	75.9	85.0	85.2	71.7	80.2	77.0	82.0	85.1	90.0	100.0	100.0
	R5 決算②	76.7	102.7	88.3	77.1	72.0	79.8	86.0	86.2	97.5	100.0	100.0
	差(②-①)	0.8	17.7	3.1	5.4	▲8.2	2.8	4.0	1.1	7.5	±0	±0
逆紹介率	R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0
	R4 決算	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0
	R5 計画①	98.5	70.0	82.5	68.2	86.6	71.2	41.0	68.7	50.0	100.0	100.0
	R5 決算②	101.4	79.0	85.5	75.7	117.7	81.0	34.5	73.4	65.2	100.0	100.0
	差(②-①)	2.9	9.0	3.0	7.5	31.1	9.8	▲6.5	4.7	15.2	±0	±0

(尼崎)  
 ・【コ】新型コロナウイルス感染症の影響による開催回数の減

(淡路)  
 ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う増

(リハ西)  
 ・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う地域での連携会議回数の増

(尼崎)  
 ・【コ】新型コロナウイルス感染症の影響による開催回数の減少

(姫路)  
 ・R5 年度は会議という形式ではなく、退院前カンファレンス等で個別に対応を行った。今後、従前のような大規模ではなく小規模な会議へ開催方法を見直し、実施

(リハ中)  
 ・退院前カンファレンスの増

(リハ西)  
 ・地域連携室職員の2名増員による外部会議への参加体制整備とたつの市が対面会議を再開したことによる増

・概ね計画どおり実施

(丹波)  
 ・救急患者の逆紹介促進



II 安心できる県立病院の実現

項目2 医療安全対策等の推進

<p>○ 基本方向 患者に安心・安全な医療を提供するため、病院局及び各病院が一体となって組織的に医療事故の発生防止、院内感染の防止を図っていく。 また、医療紛争の発生防止や円満解決を図るため、引き続き患者等からの相談や医療訴訟に適切に対応する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 医療安全対策の推進          (1) 「医療事故防止標準マニュアル」及び「医療安全管理指針」に基づき、安全な医療を推進する。          (2) 県立病院医療安全会議において、県立病院全体の医療安全対策等の検討を行う。          (3) 医療事故等調査委員会を適切な時期に開催し、医療事故の原因究明等を行う。          (4) 各病院の医療事故防止対策委員会を中心に医療事故防止対策等を検討するとともに、医療安全管理者、リスクマネージャーを中心に医療安全対策を推進する。          (5) 病院局及び各病院において、医療従事者を対象に、医療安全に関する意識醸成、事故防止策の啓発等を行うための研修会を開催する。          (6) 病院局及び各病院において、医療安全に関する情報の収集に努めるとともに、それを一層迅速に周知徹底し、医療安全の確保を図る。          (7) 医療における安全管理をより一層向上させるため、引き続き県立病院において発生した医療過誤等の公表を行うことにより、医療事故防止に資する情報を共有する。</p> <p>2 院内感染の防止          (1) 感染対策会議において、県立病院全体の感染対策等の検討を行う。          (2) 各病院の院内感染防止対策委員会を中心に、院内感染情報の収集や分析、院内感染防止策の検討、職員に対する意識醸成等を行う。          (3) 院内感染防止標準マニュアルを活用し、院内感染の防止に努めるとともに、仮に院内感染が発生した場合には速やかに適切な対応を行う。          (4) 感染管理認定看護師等の院内の感染防止対策に専従する担当職員を配置するなど体制の充実を図る。</p> <p>3 医事紛争への適切な対応          (1) 各病院と医療紛争相談専門員が連携し、医療に関する苦情や相談に適切に対応する。          (2) 医療に精通した弁護士を選任し、医療訴訟に適切に対応する。          (3) 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイダンスを実施する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図る。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努める。</p>	<p>病院局及び各病院が一体となって医療事故の発生防止や院内感染の防止を図った。 また、医療に関する苦情や相談に適切に対応し、医事紛争の発生防止や円満解決に努めた。</p>	○	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による医療訴訟ガイダンスの中止を除き、概ね計画どおり実施した。</p>
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議における医療安全対策の検討 会議の開催：3回</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析 ヒヤリ・ハット報告件数（13病院合計） 19,670件（病床数の5倍）</p> <p>(3) 医療安全研修の実施 ・病院局：1回 ・病院（神戸陽子含む）：各2回以上</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の役割の明確化による安全管理体制の充実強化（医療事故やヒヤリ・ハット事例の院内ラウンドによる確認・分析等を実施） ・病院（神戸陽子含む）における医療安全チームでのラウンド回数：各1回/月 ・医療安全課長会議の開催：月1回</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 病院→病院局への報告から1か月以内に公表</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導の充実 服薬指導率（全体）：80%以上</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 医療安全対策の推進</p> <p>(1) 医療安全会議において医療安全対策を検討した。 R5実績：3回（R5.7.20、R5.10.19、R6.3.6）</p> <p>(2) 職種別リスク管理委員会におけるヒヤリ・ハット事例の収集分析結果を医療安全会議（10月）に報告し、分析結果を活用し再発防止に取り組んだ。</p> <p>(3) 医療安全研修の実施 ・R5実績：1回（R5.11.30） ・各病院で医療事故防止研修会を定期的に開催した。 R5実績：全病院計82回</p> <p>(4) 医療安全対策専従職員の基本的な業務を定め、各病院において医療事故やヒヤリ・ハットの再発防止に向けて取り組んだ。</p> <p>(5) 医療事故の情報共有及び迅速な公表 原則、翌月に病院運営会議等で報告のうえ、過誤事案等について翌々月に公表を実施した。</p> <p>(6) 入院患者の服薬指導を実施した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・計画どおり開催</p> <p>・事例を収集し、医療安全会議で報告</p> <p>・計画どおり開催</p> <p>・各病院の医療安全専従職員間で再発防止について月1回の情報共有を実施</p> <p>・病院運営会議で報告後公表事案については概ね翌々月以内に公表を実施</p> <p>・服薬指導率8割を達成</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p><b>2 院内感染の防止</b> ・感染対策会議の開催（年1回→年2回へ拡充）</p> <p><b>3 医事紛争への適切な対応</b> （1） 県立病院における医療訴訟・紛争への適切な対応 （令和3年度実績：1件→令和5年2月まで：1件）</p> <p>（2） 医療訴訟への適切な対応の推進</p> <p>（3） 神戸地方裁判所と協力して医療訴訟・鑑定ガイドンスを実施</p>	<p><b>2 院内感染の防止</b> ・感染対策会議を開催した。 R5 実績：2回（R5.8.7 / R6.3.22）</p> <p><b>3 医事紛争への適切な対応</b> （1） 県立病院における医療訴訟への適切な対応を実施した。</p> <p>（2） 医療訴訟への適切な対応を推進した。</p> <p>（3） 神戸地方裁判所と協力して実施する医療訴訟ガイドンスは、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p>	<p>・計画どおりに会議を開催</p> <p>・各医療訴訟に適切な対応を実施</p> <p>・案件ごとに適切に弁護士を選任し、対応</p> <p>・【コ】左記理由により中止</p>

Ⅱ 安心できる県立病院の実現

項目3 患者サービスの向上

<p>○ 基本方向          外来待ち時間の短縮や退院患者に対する相談体制の充実等、引き続き各種の取り組みを推進することにより、患者サービスの向上を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 外来待ち時間の短縮          (1) 患者呼出システムや自動精算機の導入等 I C Tシステムの充実を図り、会計等での待ち時間を短縮する。          (2) 地域医療連携室や予約センターにおいて外来診療予約を実施し、診療の待ち時間を短縮する。          (3) インターネット等による診療・検査予約の拡充や地域医療ネットワークシステムへの参画など、I C Tを活用し、患者紹介システムの利便性の向上を図る。</p> <p>2 患者の退院に向けた相談体制の強化          患者とその家族が抱える退院後の生活支援を行うため、医療福祉相談員を充実するなど相談体制の強化を図る。</p> <p>3 平均在院日数の適正化及び入院待機患者の縮減          (1) 入院患者の逆紹介を促進する。          (2) クリニカルパス及び地域連携クリニカルパスを活用し、計画的な診療を実施する。          (3) 検査・治療機器、手術室等を計画的に稼働する。          (4) 入院前から患者リスク情報を収集・共有化するとともに、入院早期から退院支援を行い、患者の入退院管理の最適化（P F M）を推進する。</p> <p>4 アメニティの充実等          (1) トイレ、洗面所など、患者及び来院者が利用する施設、設備をより快適なものに整備・充実を図る。          (2) 患者の心にゆとりや潤いを与えるため屋上緑化を推進する。          (3) 患者の療養環境の向上のため、患者の個室化ニーズ等への対応を検討する。</p> <p>5 患者等とのコミュニケーションの推進          (1) 患者の県立病院に対する意見等を把握し、患者サービスの向上に繋げるため、定期的に患者意識調査を実施する。          (2) 病院運営懇話会、提案箱、フォーラムなどを通じて寄せられた意見や提案に適切に対応する。          (3) 各職場の接遇リーダーを養成する研修や患者に接する機会の多い職員を対象に接遇研修を実施し、接遇の向上を図る。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕          外来待ち時間の短縮、平均在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上する。</p>	<p>外来待ち時間の短縮、平均在院日数の適正化、快適な療養環境の確保により患者サービスを向上した。</p>	○	概ね計画どおり、患者サービスの向上に向けて取り組んだ。
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 外来待ち時間の短縮          ・外来待ち時間の短縮を図るため、各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約を実施          ・会計等での待ち時間の短縮を図るため、AI、ICTシステムなどを順次導入・拡大し、DXを推進。</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 外来待ち時間の短縮          ・はりま姫路総合医療センターの整備において患者呼出システムの導入（R4.5）や、各病院において地域医療連携室や予約センターでの外来診療予約受付やオンライン診療予約等を実施。          ・尼崎総合医療センターで自動精算機増設や会計手続きの見直し（R4.5）、こども病院で保険証確認システム・後払い会計システムの導入（R5.1）等、会計等での待ち時間短縮の取組を実施。</p>	○	<p>・待ち時間の負担軽減や診察へのスムーズな案内、待合室の混雑緩和により、患者の利便性を向上</p> <p>・外来の会計待ち時間短縮のためのシステム・機器の導入等により、患者の利便性を向上</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況				評価		説明				
<p><b>2 患者の退院に向けた相談体制の強化</b></p> <p>(1) 入院前検査センター（対象パス件数、入院及び検査説明件数）</p> <p style="text-align: right;">(単位：件、件（延件数）)</p>												
区分	病院名	R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績/計画		R5 実績①/計画②		①/② (件数)	評価	説明
		対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数	対象パス	件数			
総合	尼崎	455/336	17,221/21,303 【○】	517/460	18,286/18,730 【○】	555/498	19,940/18,647 【○】	676/541	19,793/21,303	92.9%	○ (尼崎) ○ ・新規パス作成等 ○ (加古川) ○ ・診療科及び病棟との調整を増加 ○ (丹波) ○ ・クリニカルパス委員会の活動推進 ○ 効果	
	西宮	56/37	2,165/2,600 【○】	57/57	2,388/2,650 【○】	60/56	2,509/2,250 【○】	61/60	2,409/2,480	97.1%		
	加古川	14/18	2,941/3,200 【○】	14/12	4,388/2,733 【◎】	20/23	4,945/3,357 【◎】	27/21	4,296/5,300	81.1%		
	姫路	60/22	1,562/3,100 【▲】	64/40	3,140/3,000 【○】	405/400	6,958/11,500 【△】	500/500	8,847/10,600	83.5%		
	丹波	48/60	1,928/2,300 【○】	55/65	2,207/1,850 【○】	52/48	2,371/2,100 【○】	67/55	2,203/2,300	95.8%		
	淡路	49/50	7,374/7,200 【○】	60/48	9,009/7,200 【◎】	65/65	9,533/10,000 【○】	74/70	10,551/10,000	105.5%		
専門	こども	—	7,647/6,700 【○】	—	8,699/5,600 【◎】	—	8,226/9,350 【○】	—	8,191/8,280	98.9%		
	がん	69/—	2,353/— 【—】	163/—	3,444/— 【—】	163/163	3,792/4,000 【○】	164/164	3,805/3,700	102.8%		
計		751/523	43,191/46,403	930/682	51,561/41,763	1,320/1,253	58,274/61,204	1,569/1,411	60,095/63,963	94.0%		
<p>(2) PFMの活用により患者の入退院管理最適化を推進 (尼崎、淡路)</p> <p>・PFMアセスメント率</p>												
区分	病院名	R3 実績/計画		R4 実績/計画		R5 実績①/計画②		①/②		評価	説明	
総合	尼崎	59.4/— 【—】		61.9/— 【—】		73.6/75.0		98.1%				○ ○
	淡路	41.0/— 【—】		72.0/— 【—】		93.0/90.0		103.3%				
計		100.4/—		133.9/—		166.6/165.0		101.0%				

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況										評価	説明
<b>3 平均在院日数の適正化</b> ・平均在院日数		<b>3 平均在院日数の適正化</b>										○	・疾患別に適切にベッドコントロールを実施
	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線			
R3 決算	9.5	10.2	10.8	13.7	12.0	11.8	49.5	11.1	11.5	35.7			
R4 決算	9.3	10.2	11.0	12.0	14.1	12.1	47.2	11.4	11.8	33.2			
R5 計画①	9.4	9.9	11.0	12.0	14.1	12.3	47.0	11.4	11.8	33.2			
R5 決算②	9.6	10.1	11.1	11.4	14.1	12.8	54.2	10.9	11.5	32.1			
差 (②-①)	0.2	0.2	0.1	▲0.6	±0	0.5	7.2	▲0.5	▲0.3	▲1.1			
<b>4 アメニティの充実等</b> ・患者及び来院者等の快適性向上に向けた施設、設備改修を推進 ・予定する改修工事の100%施工		<b>4 アメニティの充実等</b> 患者及び来院者等の快適性に向けた施設・整備改修を推進した。										○	・概ね計画どおり実施
<b>5 患者等とのコミュニケーションの推進</b> (1) 病院運営懇話会の開催 指定管理の3病院を除く各病院で、年1回以上開催		<b>5 患者等とのコミュニケーションの推進</b> (1) 病院運営懇話会の開催 一部病院（加古川、丹波）を除き、年1回以上開催した。 ※丹波は統合再編に係る意見交換会で代替										○	・概ね計画どおり実施
(2) 接遇研修の実施（年1回）（接遇とクレーム対応等）		(2) 接遇研修は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。										▲	・【コ】左記理由により中止





II 安心できる県立病院の実現

項目5 県民等への情報発信の推進

<p>○ 基本方向 地域の医療機関への情報提供等を通じた地域医療連携の推進とともに、県民等に県立病院の診療機能や役割等の更なる周知を図るため、民間のノウハウを取り入れながら様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に行う。</p> <p>○ 取組内容 1 ホームページのコンテンツの充実及び適時適切な更新により、患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。 2 広報誌の充実により患者、地域医療機関への積極的な情報提供を図る。 3 報道機関に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を行う。 4 患者や紹介元医療機関に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明						
<p>〔目標〕 病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、「県民だよりひょうご」等の広報誌により県立病院の情報をわかりやすく提供する。</p>	<p>病院によるホームページでの情報発信や広報誌等の定期的な発行、ラジオ・新聞など様々なメディアを活用した広報活動等により県立病院の情報をわかりやすく提供した。</p>	○	講演会の開催回数について、新型コロナウイルス感染症の影響により一部病院で計画を下回ったものの広報誌の発行や様々なメディアを活用した情報発信など概ね計画どおり取り組んだ。						
<p>〔取組項目〕 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供 ・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始（粒子線） 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行</p>	<p>〔取組項目〕 1 病院局及び各病院で、ホームページを随時更新し、県民に対して最新情報を提供した。 ・病院ホームページにおいて治療開始待ち時間の明示を開始した。（粒子線） 2 各病院で、地域医療機関又は県民向けの情報誌を定期的に発行した。</p>	○	<p>・病院局・各病院でホームページを随時更新し、情報を発信</p>						
<p>・広報誌の発行 (単位：回)</p>									
区分	病院名	広報誌名	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	評価	説明
1	尼崎	あまが咲だより	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12 【○】	12/12	100.0%	○	<p>(加古川)</p> <p>・【コ】新型コロナウイルス患者の継続受け入れにより、トピックス作成に至らず（ニュースレター）</p> <p>(姫路)</p> <p>・計画値の過大設定（マンパワー不足による未達）</p> <p>(淡路)</p> <p>・機器導入・更新に伴う発行回数の増</p> <p>(こども)</p> <p>・ホームページの全面改訂作業を踏まえた発行回数調整（減）</p> <p>(がん)</p> <p>・掲載トピックス不足</p> <p>(粒子線)</p> <p>・発行回数の見直しによる増</p>
2	西宮	はまかぜ	3/4 【△】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%	○	
3	加古川	県かこ地域医療連携ニュース	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6 【○】	6/6	100.0%	○	
4		ニュースレター	0/3 【▲】	1/1 【○】	0/2 【▲】	0/1	0.0%	▲	
5	姫路	はりひめ（※1）	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	2/6	33.3%	▲	
6		はり姫と。（※2）	6/6 【○】	6/6 【○】	3/6 【▲】	4/4	100.0%	○	
7	丹波	地域医療連携センターだより	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%	○	
8		がん相談支援センターだより	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%	○	
9	淡路	くにうみ県病だより	2/3 【△】	1/2 【▲】	2/2 【○】	3/2	150.0%	◎	
10	こころ	光る風	3/4 【△】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%	○	
11	こども	げんきカエル	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	3/4	75.0%	△	
12	がん	かけはし	5/6 【○】	5/6 【○】	5/5 【○】	4/6	66.7%	△	
13	粒子線	ニュースレター	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1 【○】	1/1	100.0%	○	
14		粒子線医療センターだより	3/3 【○】	3/4 【△】	3/3 【○】	4/3	133.3%	◎	
15	神戸陽子	ニュースレター	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○	
16	リハ中	地域医療連携だより	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2 【○】	2/2	100.0%	○	
17		さんぽみち	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4 【○】	4/4	100.0%	○	
18	リハ西	ひかりの都	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3 【○】	3/3	100.0%	○	
計			67/70	68/67	65/66	64/70	95.7%		

※1（姫路）R1～R3は、姫路循環器病センター発行「あじさい」

※2（姫路）R1～R3は、姫路循環器病センター発行「地域医療連携NEWS」

実施計画の自己点検・評価

実施計画		実施状況		評価	説明																																																																																																																																																																																																																					
<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進（淡路）</li> <li>保険適用拡大 PR チラシの配布や装置保守日を活用した施設見学会の開催（粒子線）（R5 計画：10 回）</li> <li>雑誌・ケーブルテレビ等のメディアを活用した広報の実施（粒子線・神戸陽子）</li> </ul>		<p>3 各病院で、報道機関等に対し、県立病院に関する情報を積極的に提供すること等で、様々なメディアを活用した情報発信を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージを使ったインフォメーションボードを設置し、地域医療連携病院の案内や情報発信を推進した（淡路・こども）。</li> <li>ケーブルテレビで健康増進等に関する番組を年4回放送した（淡路）。</li> <li>保険適用拡大 PR チラシの配布や装置保守日を活用した施設見学会を開催した（粒子線）。R5 施設見学会回数：3 回</li> <li>ラジオ番組で粒子線治療の保険適用拡大を発信した（粒子線）。</li> <li>粒子線・神戸陽子・経営課が一体となって、県広報プロデューサーのアドバイスを受け、メディアミックスによる広報に取り組んだ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     動画：各地域ケーブルTV、商業施設、薬局、映画館                      ポスター・チラシ等：駅、高速道路SA、郵便局                 </div>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>各病院において、テレビやラジオなど様々なメディアを活用した情報発信を推進</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																					
(単位：件)																																																																																																																																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>区分</th> <th>R2 実績/計画</th> <th>R3 実績/計画</th> <th>R4 実績/計画</th> <th>R5 実績①/計画②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">神戸陽子</td> <td>HPアクセス数</td> <td style="text-align: center;">99,944/-【-】</td> <td style="text-align: center;">88,453/100,000【○】</td> <td style="text-align: center;">125,177/100,000【◎】</td> <td style="text-align: center;">134,655/117,510</td> <td style="text-align: center;">114.6%</td> </tr> <tr> <td>うち検索連動型広告</td> <td style="text-align: center;">34,270/45,000【△】</td> <td style="text-align: center;">46,513/-【-】</td> <td style="text-align: center;">58,572/48,000【◎】</td> <td style="text-align: center;">35,958/26,190</td> <td style="text-align: center;">137.3%</td> </tr> <tr> <td>うちディスプレイ広告</td> <td style="text-align: center;">30,963/30,000【○】</td> <td style="text-align: center;">29,576/-【-】</td> <td style="text-align: center;">30,689/30,000【○】</td> <td style="text-align: center;">74,670/54,100</td> <td style="text-align: center;">138.0%</td> </tr> </tbody> </table>						病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②	神戸陽子	HPアクセス数	99,944/-【-】	88,453/100,000【○】	125,177/100,000【◎】	134,655/117,510	114.6%	うち検索連動型広告	34,270/45,000【△】	46,513/-【-】	58,572/48,000【◎】	35,958/26,190	137.3%	うちディスプレイ広告	30,963/30,000【○】	29,576/-【-】	30,689/30,000【○】	74,670/54,100	138.0%																																																																																																																																																																																											
病院名	区分	R2 実績/計画	R3 実績/計画	R4 実績/計画	R5 実績①/計画②	①/②																																																																																																																																																																																																																				
神戸陽子	HPアクセス数	99,944/-【-】	88,453/100,000【○】	125,177/100,000【◎】	134,655/117,510	114.6%																																																																																																																																																																																																																				
	うち検索連動型広告	34,270/45,000【△】	46,513/-【-】	58,572/48,000【◎】	35,958/26,190	137.3%																																																																																																																																																																																																																				
	うちディスプレイ広告	30,963/30,000【○】	29,576/-【-】	30,689/30,000【○】	74,670/54,100	138.0%																																																																																																																																																																																																																				
(単位：回、人)																																																																																																																																																																																																																										
<p>4 各病院で、紹介元医療機関等に向けた講演会等を開催し、県立病院に関する情報を積極的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会の開催等</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">病院名</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">R2 実績/計画</th> <th colspan="2">R3 実績/計画</th> <th colspan="2">R4 実績/計画</th> <th colspan="2">R5 実績①/計画②</th> <th rowspan="2">①/② (回数)</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">尼崎</td> <td>・市民すこやかセミナー</td> <td style="text-align: center;">0/6【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/6</td> <td style="text-align: center;">-/30</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・社協コラボ出前セミナー</td> <td style="text-align: center;">0/8【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">78</td> <td style="text-align: center;">0/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">78</td> <td style="text-align: center;">0/8</td> <td style="text-align: center;">0/80</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td style="text-align: center;">西宮</td> <td>・県民公開講座（がん・生活習慣病）</td> <td style="text-align: center;">0/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2/1【◎】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3/3</td> <td style="text-align: center;">192/140</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td style="text-align: center;">加古川</td> <td>・県民向けフォーラム</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">1/1</td> <td style="text-align: center;">89/85</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td style="text-align: center;">姫路</td> <td>・市民講座</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">16/1【◎】</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">13/12</td> <td style="text-align: center;">872/720</td> <td style="text-align: center;">108.3%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">丹波</td> <td>(1) 病院フェスタ</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/1</td> <td style="text-align: center;">0/400</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）</td> <td style="text-align: center;">0/12【▲】</td> <td style="text-align: center;">4/3【◎】</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">11/12【○】</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">12/12</td> <td style="text-align: center;">277/240</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td style="text-align: center;">淡路</td> <td>・病院フェスタ</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/1</td> <td style="text-align: center;">※-</td> <td style="text-align: center;">0.0%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">こころ</td> <td>(1) 県民向け講演会</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3/1【◎】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1/1</td> <td style="text-align: center;">252/180</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>(2) セミナー</td> <td style="text-align: center;">1/4【▲】</td> <td style="text-align: center;">2/4【▲】</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">3/1【◎】</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">4/3</td> <td style="text-align: center;">147/160</td> <td style="text-align: center;">133.3%</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）</td> <td style="text-align: center;">0/2【▲】</td> <td style="text-align: center;">0/2【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1/1</td> <td style="text-align: center;">347/270</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td style="text-align: center;">がん</td> <td>・がんフォーラム</td> <td style="text-align: center;">1/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/3【▲】</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">4/4【○】</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">4/4</td> <td style="text-align: center;">605/500</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">粒子線</td> <td>(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会</td> <td style="text-align: center;">18/1【◎】</td> <td style="text-align: center;">19/24【△】</td> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">3/19【▲】</td> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">3/3</td> <td style="text-align: center;">68/60</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">9/6【◎】</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">12/12【○】</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">11/12</td> <td style="text-align: center;">31/60</td> <td style="text-align: center;">91.7%</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td style="text-align: center;">神戸陽子</td> <td>・一般対象施設見学会・公開講演会</td> <td style="text-align: center;">2/6【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/6【▲】</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3/2【◎】</td> <td style="text-align: center;">-(※)</td> <td style="text-align: center;">3/1</td> <td style="text-align: center;">46/60</td> <td style="text-align: center;">300.0%</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td style="text-align: center;">リハ中</td> <td>・県民公開講座</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">1/1</td> <td style="text-align: center;">158/80</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td style="text-align: center;">リハ西</td> <td>・県民公開講座</td> <td style="text-align: center;">0/1【▲】</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">153</td> <td style="text-align: center;">1/1【○】</td> <td style="text-align: center;">153</td> <td style="text-align: center;">1/1</td> <td style="text-align: center;">113/150</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">22/52</td> <td style="text-align: center;">41/64</td> <td style="text-align: center;">1,010</td> <td style="text-align: center;">60/65</td> <td style="text-align: center;">1,010</td> <td style="text-align: center;">58/71</td> <td style="text-align: center;">3,197/3,215</td> <td style="text-align: center;">81.7%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	病院名	講座名	R2 実績/計画		R3 実績/計画		R4 実績/計画		R5 実績①/計画②		①/② (回数)	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	1	尼崎	・市民すこやかセミナー	0/6【▲】	0/3【▲】	-	0/3【▲】	-	0/6	-/30	0.0%	2	・社協コラボ出前セミナー	0/8【▲】	1/3【▲】	78	0/3【▲】	78	0/8	0/80	0.0%	3	西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	0/3【▲】	0/3【▲】	-	2/1【◎】	-	3/3	192/140	100.0%	4	加古川	・県民向けフォーラム	1/1【○】	1/1【○】	70	1/1【○】	70	1/1	89/85	100.0%	5	姫路	・市民講座	0/1【▲】	1/1【○】	130	16/1【◎】	130	13/12	872/720	108.3%	6	丹波	(1) 病院フェスタ	0/1【▲】	0/1【▲】	-	0/1【▲】	-	0/1	0/400	0.0%	7	(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	0/12【▲】	4/3【◎】	80	11/12【○】	80	12/12	277/240	100.0%	8	淡路	・病院フェスタ	0/1【▲】	0/1【▲】	-	0/1【▲】	-	0/1	※-	0.0%	9	こころ	(1) 県民向け講演会	0/1【▲】	0/1【▲】	-	3/1【◎】	-	1/1	252/180	100.0%	10	(2) セミナー	1/4【▲】	2/4【▲】	13	3/1【◎】	130	4/3	147/160	133.3%	11	(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	0/2【▲】	0/2【▲】	-	0/1【▲】	-	1/1	347/270	100.0%	12	がん	・がんフォーラム	1/3【▲】	1/3【▲】	146	4/4【○】	146	4/4	605/500	100.0%	13	粒子線	(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会	18/1【◎】	19/24【△】	101	3/19【▲】	101	3/3	68/60	100.0%	14	(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会	-	9/6【◎】	42	12/12【○】	42	11/12	31/60	91.7%	15	神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	2/6【▲】	1/6【▲】	-	3/2【◎】	-(※)	3/1	46/60	300.0%	16	リハ中	・県民公開講座	0/1【▲】	1/1【○】	80	1/1【○】	80	1/1	158/80	100.0%	17	リハ西	・県民公開講座	0/1【▲】	1/1【○】	153	1/1【○】	153	1/1	113/150	100.0%	計			22/52	41/64	1,010	60/65	1,010	58/71	3,197/3,215	81.7%
区分	病院名	講座名	R2 実績/計画		R3 実績/計画				R4 実績/計画		R5 実績①/計画②		①/② (回数)																																																																																																																																																																																																													
			回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数																																																																																																																																																																																																																
1	尼崎	・市民すこやかセミナー	0/6【▲】	0/3【▲】	-	0/3【▲】	-	0/6	-/30	0.0%																																																																																																																																																																																																																
2		・社協コラボ出前セミナー	0/8【▲】	1/3【▲】	78	0/3【▲】	78	0/8	0/80	0.0%																																																																																																																																																																																																																
3	西宮	・県民公開講座（がん・生活習慣病）	0/3【▲】	0/3【▲】	-	2/1【◎】	-	3/3	192/140	100.0%																																																																																																																																																																																																																
4	加古川	・県民向けフォーラム	1/1【○】	1/1【○】	70	1/1【○】	70	1/1	89/85	100.0%																																																																																																																																																																																																																
5	姫路	・市民講座	0/1【▲】	1/1【○】	130	16/1【◎】	130	13/12	872/720	108.3%																																																																																																																																																																																																																
6	丹波	(1) 病院フェスタ	0/1【▲】	0/1【▲】	-	0/1【▲】	-	0/1	0/400	0.0%																																																																																																																																																																																																																
7		(2) 市民健康講座（地域と研修医との懇談会）	0/12【▲】	4/3【◎】	80	11/12【○】	80	12/12	277/240	100.0%																																																																																																																																																																																																																
8	淡路	・病院フェスタ	0/1【▲】	0/1【▲】	-	0/1【▲】	-	0/1	※-	0.0%																																																																																																																																																																																																																
9	こころ	(1) 県民向け講演会	0/1【▲】	0/1【▲】	-	3/1【◎】	-	1/1	252/180	100.0%																																																																																																																																																																																																																
10		(2) セミナー	1/4【▲】	2/4【▲】	13	3/1【◎】	130	4/3	147/160	133.3%																																																																																																																																																																																																																
11		(3) 病院フェスタ（光風あいアイまつり）	0/2【▲】	0/2【▲】	-	0/1【▲】	-	1/1	347/270	100.0%																																																																																																																																																																																																																
12	がん	・がんフォーラム	1/3【▲】	1/3【▲】	146	4/4【○】	146	4/4	605/500	100.0%																																																																																																																																																																																																																
13	粒子線	(1) 医療関係者向け粒子線治療Web講演会	18/1【◎】	19/24【△】	101	3/19【▲】	101	3/3	68/60	100.0%																																																																																																																																																																																																																
14		(2) 患者・一般向け粒子線治療Web講演会	-	9/6【◎】	42	12/12【○】	42	11/12	31/60	91.7%																																																																																																																																																																																																																
15	神戸陽子	・一般対象施設見学会・公開講演会	2/6【▲】	1/6【▲】	-	3/2【◎】	-(※)	3/1	46/60	300.0%																																																																																																																																																																																																																
16	リハ中	・県民公開講座	0/1【▲】	1/1【○】	80	1/1【○】	80	1/1	158/80	100.0%																																																																																																																																																																																																																
17	リハ西	・県民公開講座	0/1【▲】	1/1【○】	153	1/1【○】	153	1/1	113/150	100.0%																																																																																																																																																																																																																
計			22/52	41/64	1,010	60/65	1,010	58/71	3,197/3,215	81.7%																																																																																																																																																																																																																
<p>※（神戸陽子）ケーブルTV放映のため集計不可</p>																																																																																																																																																																																																																										

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目1 経営目標の設定と持続的な経営の取組

<p>○ 基本方向 持続可能な経営を行うため、不断の経営改善に努め、経常損益について黒字経営の確保を図る。 なお、丹波医療センター（2019（H31）年度）、はりま姫路総合医療センター（仮称）（2022年度）の統合再編整備等により、一時的な収支悪化が見込まれるため、早期の経営安定方策を検討し、経営改革の取組を進める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 経営目標の設定 （1）各年度の経営実施計画を策定し、具体的な数値目標、経営改善方策及び責任者を明確にしたうえで、経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 （2）目標は、財務に関する指標だけでなく、専門的な手技手法による治療件数等診療機能の充実に向けた指標を定める。 （3）病院運営会議・管理局長会議において、各病院の経営情報を共有するとともに、経営健全化方策を検討し実施する。 （4）各病院において優れた取組、経営努力等に関する前向きな取組を評価し、予算配分に反映させるなど職員のさらなる意欲向上につながる評価の仕組みを継続する。 （5）経営実施計画及びその達成状況は、病院事業全体及び病院ごとに県民が理解しやすいように公表する。 （6）外部委員等による計画達成状況の評価、課題の明確化、経営改善に向けた措置勧告を受ける仕組みを継続する。</p> <p>2 持続的な経営への取組 （1）新病院開設時には、入院患者抑制等により一時的に収支は悪化するが、速やかに患者受入れの促進などにより、収支の悪化を抑制する。 （2）持続可能な経営を維持するため、一定の内部留保資金残高の確保を図る。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 令和5年度は、上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、はりま姫路総合医療センターのフルオープンにより収支改善を図る。引き続き、新型コロナウイルス感染症対応と通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進し、持続可能な経営の確保に努めるものの、25億円の経常損失を見込んでいる。 また、純損益は、旧姫路循環器病センター建物の解体撤去費等償却費等を特別損失として計上するため、31億円の純損失を見込んでいる。</p>	<p>令和5年度は、はりま姫路総合医療センターのフルオープン（4月）等により医業収益は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の病床確保料（空床補償）が、5類移行に伴って大幅に減少し、また、通常診療再開後は、患者の受療行動の変化等によりコロナ以前の水準まで病床利用率が回復しないなど、想定した収益が確保できなかった。 さらに、近年の物価高騰や賃金上昇などで費用は増加傾向が続いているものの、診療報酬制度の下ではその費用の増加を料金に転嫁できないことなどもあり、病院事業収支は大幅に悪化した。 これらの結果、91億円の経常損失、94億円の純損失となった。</p>	△	経常損益、純損益ともに計画を下回った。
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 経営目標の設定 （1） 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図る。 病院別の月次収支分析及び計画の達成状況の評価・分析、四半期ごとのより精緻な経営状況の評価・分析等を行う等、病院局と病院が密に連携し、各病院の経営課題の解決に取り組む。 （2） 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定し、診療機能の充実に観点からも評価・分析を実施 （3） 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議において、各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有（毎月1回） （4） 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 経営目標の設定 （1） 病院別の経営実施計画、数値目標を設定し、院長、管理局長を中心に経営改善に取り組むなど、経営のPDCAサイクルの徹底を図った。 （2） 経営目標の設定 病院別の経営実施計画策定にあたっては、数値目標として手術件数及び救急搬送患者数等も設定した。 （3） 各種会議における病院事業の当初予算、決算見込、経営状況にかかる情報共有 病院運営会議、管理局長会議における各病院の経営状況、経営健全化方策の情報共有を行った。 （4） 各病院における優れた取り組み・経営努力等に対する評価・予算配分への反映 経営成績の改善とともに、各病院における経営努力等に関する前向きな取り組みを評価し、固定資産購入費及び研究研修費を重点的に予算配分（メリット配分）した。</p>	○  ○  ○  ○	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>(5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表</p> <p><b>2 持続的な経営への取組</b></p> <p>(1) 上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を見込むとともに、はりま姫路総合医療センターのフルオープンにより収支改善を図る。引き続き、新型コロナウイルス感染症対応と通常医療との両立を図りながら、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善を推進し、持続可能な経営の確保に努める。</p> <p>また、マネジメント層向けの講習会を実施し、経営改善に係る意識の醸成を図るほか、病院事業の規模拡大や、各種業務が複雑化・高度化する中で、各病院と病院局が一体となって、適正な経理事務処理に努める。</p> <p>(2) 令和5年度末の内部留保資金残高（見込）：90億円</p>	<p>(5) 県のホームページに病院事業全体、病院別の経営状況などを公表した。</p> <p><b>2 持続的な経営への取組</b></p> <p>(1) はりま姫路総合医療センターのフルオープン（4月）等により医療収益は増加したが、コロナが5類移行後は患者の受療行動の変化等によりコロナ以前の水準まで病床利用率が回復しないなど、想定した収益が確保できなかった。</p> <p>さらに、経営再生本部において、リハビリ体制の拡充・生産性の分析を行ったが、具体的な収支改善効果は発生していない。</p> <p>また、各病院の副院長を対象とする経営に関する研修会を行ったほか、経理担当者を対象とする簿記研修、経理事務研修や、年二回行う業務検査で意見交換を行うなど、各病院と病院局が一体となって、適正な経理事務処理に努めた。</p> <p>(2) 令和5年度末の内部留保資金残高（見込）：33億円</p>	<p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・経常損益、純損益ともに計画値を下回った。</p> <p>・大幅な経常損失により内部留保資金残高が減少</p>

実施計画	実施状況	評価	説明
------	------	----	----

収 支 (13病院)

(単位：億円)

区 分		R4決算 ①	R5当初計画 ②	R5最終予算 ③	R5決算 ④	対前年 (④-①)	対最終予算 (④-③)
収益的 収支	経常収益 (A)	1,611	1,697	1,629	1,631	20	2
	(うち一般会計繰入金) (B)	164	165	163	163	△ 1	0
	経常費用 (C)	1,641	1,722	1,727	1,722	81	△ 5
	当期経常損益 (D=A-C)	△ 30	△ 25	△ 98	△ 91	△ 61	7
	特別損益 (E)	△ 56	△ 6	△ 6	△ 3	53	3
	当期純損益 (F=D+E)	△ 85	△ 31	△ 103	△ 94	△ 9	9
	資金収支 (G)	32	53	△ 19	△ 16	△ 48	3
資本的 収支	収入 (H)	201	406	233	188	△ 13	△ 45
	(うち一般会計繰入金) (I)	72	69	70	70	△ 2	0
	支出 (J)	236	455	277	241	5	△ 36
	差引(資金収支) (K=H-J)	△ 35	△ 49	△ 44	△ 54	△ 19	△ 10
一般会計繰入金の合計 (B+I)		236	234	232	233	△ 3	1
総資金収支 (L=G+K)		△ 3	4	△ 63	△ 69	△ 66	△ 6
内部留保資金残高 (M=L+M[前年度])		103	90	40	33	△ 70	△ 7

※ 一般会計繰入金については、全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補填としての繰入金はない。

※ 計数については、四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある(以下の表も同じ)。

経営状況(各病院ごとの経常損益)

(単位：百万円)

区分	総合病院							専門病院					10病院計
	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	小計	こころ	こども	がん	粒子線		
											たつの	神戸陽子	
R4年度決算①	1,149	△ 144	1,356	△ 4,163	100	90	△ 1,612	170	△ 49	△ 35	△ 955	△ 494	△ 2,976
R5年度当初計画②	915	108	371	△ 1,547	△ 304	25	△ 432	△ 254	△ 215	△ 307	△ 767	△ 492	△ 2,467
R5年度最終予算③	△ 1,576	△ 1,126	△ 1,153	△ 2,115	△ 973	△ 607	△ 7,550	△ 187	△ 216	△ 455	△ 905	△ 445	△ 9,758
R5年度決算④	△ 1,315	△ 1,028	△ 1,134	△ 2,407	△ 870	△ 454	△ 7,208	△ 179	△ 87	△ 279	△ 919	△ 418	△ 9,090
対前年(④-①)	△ 2,464	△ 884	△ 2,490	1,756	△ 970	△ 544	△ 5,596	△ 349	△ 38	△ 244	36	76	△ 6,114
対予算(④-③)	261	98	19	△ 292	103	153	342	8	129	176	△ 14	27	668

実施計画		実施状況										評価			説明				
【令和5年度実績との比較】																			
区 分	総合計画							計	部門別						比較対象	計画管理			計画値
	目標	実績	達成率	差額	比率	差額	比率		こころ	こども	くらし	親子課				達成率	中央	管理課	
												たつひ	ほろろ	あそび					
総務課	120	100	83	-20	-17	-17	120	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
総務課(入)	120	100	83	-20	-17	-17	120	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
総務課(出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
民生部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
民生部(入)	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
民生部(出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
健康福祉部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
健康福祉部(入)	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
健康福祉部(出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
環境部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
環境部(入)	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
環境部(出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総務課	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
民生部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
健康福祉部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
環境部	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
総合計	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
総合計(入)	100	100	100	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
総合計(出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (1) 患者の受入れ促進等

○ 基本方向

設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用するため、地域の医療機関との緊密な連携を進め、前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の充実を図り、患者の受入れを促進する。

○ 取組内容

1 新規患者の受入れ促進

- (1) 高度専門・特殊医療の充実、医師の確保、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。
- (2) 地域の医療機関との連携を強化し、紹介患者の増加を図る。
  - ① 地域の医療機関との合同症例検討会や医療技術向上研修会を拡充する。
  - ② 医療機関ごとに紹介患者数の動向を把握し、院長等が直接地域の医療機関に患者紹介を働きかける。
  - ③ 治療中・治療終了時に紹介元医療機関に、治療状況等の報告を行う。
  - ④ 地域の医療機関を含めたICT（情報通信技術）化を図ることにより、医療情報の共有化を推進する。
- (3) 救急医療体制の充実を図り、救急患者の受入れを促進する。
  - ① 医師、看護師等の救急医療体制を確保する。
  - ② 救急隊と症例検討会や意見交換会を実施し、円滑な救急患者の受入れを行う。
  - ③ ドクターカーやドクターヘリによる重症患者の受入れを強化する。
- (4) 地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介の促進を図る。
  - ① 地域連携クリニカルパスを進めることにより、地域医療連携の推進を図る。
  - ② 地域医療連携室の機能を強化することにより、転退院に向けた患者相談の充実を図る。

2 効率的な病床運用

- (1) 電子カルテ等を活用した空床情報の一元管理により、病床の有効活用を図る。
- (2) 入院前検査センター機能の拡充により、病床の有効活用を図る。
- (3) 休日入院や入院時検査の外来シフト化の拡充により、病床の有効活用を図る。
- (4) 診療科別にきめ細かく患者の動向を踏まえることにより、病床の有効活用を図る。
- (5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることにより、病床の有効活用を図る。
- (6) 院内パスの適用率を向上させることにより、病床の有効活用を図る。
- (7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能への見直しを進め、病床の効率的な運用を図る。

実施計画の自己点検・評価

実施計画				実施状況				評価	説明
<p>〔目標〕 診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等により患者の受入れを促進する。</p>				<p>診療機能の充実を図るとともに、地域医療連携の推進等を図った。</p>				○	・概ね計画どおり実施
患者数の状況(10病院)									
区分		入院	外来	入院+外来	区分		入院	外来	入院+外来
一般病棟	旧実績①	3,800	-	-	10月あたり	旧実績①	2,804	6,762	9,006
	旧当初計画②	3,934	-	-		旧当初計画②	3,142	7,260	10,411
	旧最終予測③	3,834	-	-		旧最終予測③	3,084	6,853	9,937
	旧実績④	3,934	-	-		旧実績④	3,080	6,908	9,994
	対前年(④-①)	194	-	-		対前年(④-①)	242	146	388
	対予算(④-③)	0	-	-		対予算(④-③)	2	85	87
産科病棟	旧実績①	1,038,187	1,801,282	2,681,369	新規患者数	旧実績①	81,537	131,608	212,925
	旧当初計画②	1,159,841	1,768,238	2,916,380		旧当初計画②	84,206	143,514	227,720
	旧最終予測③	1,128,814	1,865,369	2,793,983		旧最終予測③	92,880	137,487	230,267
	旧実績④	1,129,581	1,878,616	2,808,197		旧実績④	88,170	132,906	222,366
	対前年(④-①)	91,414	38,414	126,828		対前年(④-①)	2,133	2,308	4,441
	対予算(④-③)	967	13,247	14,214		対予算(④-③)	△4,010	△3,411	△7,921

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																								
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 新規患者の受入れの促進</p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等の整備・更新 内視鏡下手術用支援機器（尼崎、がん）、SPECT・CT（西宮）、アンギオ（加古川、こども、災害）、MRI（丹波）等 ・整備・更新計画の100%実施</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 意見交換会・症例検討会の実施</p> <p>② 前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の推進及び院長等による病院訪問並びに訪問区域の拡大</p> <p>③ 紹介元医療機関に対する診療内容の報告</p> <p>④ 「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせんネット」の活用【再掲 P28、29】</p> <p>・返書送付率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>96.0</td> <td>100.0</td> <td>96.3</td> <td>95.6</td> <td>87.9</td> <td>99.9</td> <td>85.6</td> <td>94.3</td> <td>92.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>87.0</td> <td>147.8</td> <td>95.2</td> <td>91.8</td> <td>105.2</td> <td>98.5</td> <td>82.3</td> <td>95.3</td> <td>96.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>98.0</td> <td>100.0</td> <td>96.0</td> <td>96.0</td> <td>85.0</td> <td>98.0</td> <td>86.0</td> <td>95.0</td> <td>97.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>93.1</td> <td>74.9</td> <td>96.3</td> <td>95.3</td> <td>90.0</td> <td>98.6</td> <td>88.9</td> <td>95.4</td> <td>96.4</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	R3 実績	96.0	100.0	96.3	95.6	87.9	99.9	85.6	94.3	92.0	100.0	100.0	R4 実績	87.0	147.8	95.2	91.8	105.2	98.5	82.3	95.3	96.0	100.0	100.0	R5 計画	98.0	100.0	96.0	96.0	85.0	98.0	86.0	95.0	97.0	100.0	100.0	R5 実績	93.1	74.9	96.3	95.3	90.0	98.6	88.9	95.4	96.4	100.0	100.0	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 新規患者の受入れの促進</p> <p>(1) 高度専門・特殊医療の充実等による患者の確保</p> <p>① 高度専門医療のための医療機器等を整備・更新した。 内視鏡下手術用支援機器（尼崎、がん）、SPECT・CT（西宮）、アンギオ（加古川、こども、災害）、MRI（丹波）等</p> <p>② 粒子線治療保険適用拡大を踏まえて患者の受入れを促進した。 粒子線と神戸陽子合計の実患者数 R4:561人→R5:593人</p> <p>(2) 地域医療連携の推進</p> <p>① 意見交換会・症例検討会を実施した。</p> <p>② 前方連携（紹介患者や救急患者の積極的な受け入れ）・後方連携（地域の医療機関への逆紹介）の推進及び院長等による病院訪問並びに訪問区域を拡大した。</p> <p>③ 紹介元医療機関に対する診療内容を報告した。</p> <p>④ 「h-Anshin むこねっと」、「あわじネット」、「明石しごせんネット」を活用した。【再掲 P28、29】</p> <p>(単位:%)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施 ①地域連携課長会の実施 ②積極的な診療所訪問 ③紹介状、返書の徹底</p> <p>(西宮) ・計算方法を実態に即した形に変更したことによる減</p> <p>(がん) ・督促により、99%以上達成</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・11病院（粒子線・災害以外）で地域連携クリニカルパスを導入（がん・糖尿病等）</p> <p>・指定管理病院を除く全10病院で地域医療連携室に専任看護師を配置</p>												
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子																																																																
R3 実績	96.0	100.0	96.3	95.6	87.9	99.9	85.6	94.3	92.0	100.0	100.0																																																																
R4 実績	87.0	147.8	95.2	91.8	105.2	98.5	82.3	95.3	96.0	100.0	100.0																																																																
R5 計画	98.0	100.0	96.0	96.0	85.0	98.0	86.0	95.0	97.0	100.0	100.0																																																																
R5 実績	93.1	74.9	96.3	95.3	90.0	98.6	88.9	95.4	96.4	100.0	100.0																																																																
<p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <p>・救急搬送患者数+353人 (R4 見込：34,077人→R5 計画：34,430人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <p>・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパスを活用</p> <p>・地域医療連携室の専任看護師配置を継続</p> <p>・紹介先医療機関に対する診療内容の報告</p> <p>・逆紹介率【再掲 P31】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こころ</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 決算</td> <td>91.3</td> <td>71.0</td> <td>52.9</td> <td>180.0</td> <td>87.9</td> <td>72.1</td> <td>47.1</td> <td>62.3</td> <td>46.8</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 決算</td> <td>90.8</td> <td>106.8</td> <td>78.9</td> <td>81.9</td> <td>105.2</td> <td>73.6</td> <td>38.9</td> <td>66.3</td> <td>79.1</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 計画①</td> <td>98.5</td> <td>70.0</td> <td>82.5</td> <td>68.2</td> <td>86.6</td> <td>71.2</td> <td>41.0</td> <td>68.7</td> <td>50.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 決算②</td> <td>101.4</td> <td>79.0</td> <td>85.5</td> <td>95.3</td> <td>117.7</td> <td>81.0</td> <td>34.5</td> <td>73.4</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>差(②-①)</td> <td>2.9</td> <td>9.0</td> <td>3.0</td> <td>27.1</td> <td>31.1</td> <td>9.8</td> <td>▲6.5</td> <td>4.7</td> <td>15.2</td> <td>±0</td> <td>±0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子	R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0	R4 決算	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0	R5 計画①	98.5	70.0	82.5	68.2	86.6	71.2	41.0	68.7	50.0	100.0	100.0	R5 決算②	101.4	79.0	85.5	95.3	117.7	81.0	34.5	73.4	65.2	100.0	100.0	差(②-①)	2.9	9.0	3.0	27.1	31.1	9.8	▲6.5	4.7	15.2	±0	±0	<p>(3) 救急患者の積極的受入</p> <p>・救急搬送患者数+2,054人 (R5 計画：34,430人→R5 実績：36,484人)</p> <p>(4) 地域医療連携・逆紹介の推進</p> <p>・各病院の関係医療機関と連携し、地域連携クリニカルパスを活用した。</p> <p>・地域医療連携室の専任看護師配置を継続した。</p> <p>・紹介先医療機関に対する診療内容を報告した。</p> <p>(単位%)</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線	神戸陽子																																																																
R3 決算	91.3	71.0	52.9	180.0	87.9	72.1	47.1	62.3	46.8	100.0	100.0																																																																
R4 決算	90.8	106.8	78.9	81.9	105.2	73.6	38.9	66.3	79.1	100.0	100.0																																																																
R5 計画①	98.5	70.0	82.5	68.2	86.6	71.2	41.0	68.7	50.0	100.0	100.0																																																																
R5 決算②	101.4	79.0	85.5	95.3	117.7	81.0	34.5	73.4	65.2	100.0	100.0																																																																
差(②-①)	2.9	9.0	3.0	27.1	31.1	9.8	▲6.5	4.7	15.2	±0	±0																																																																



実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																																																																																																																
<p><b>2 効率的な病床運営</b></p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用の促進</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用の促進</p> <p>・病床の有効活用としての診療科混合使用病床率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>66.9</td> <td>97.9</td> <td>72.2</td> <td>9.7</td> <td>61.6</td> <td>90.1</td> <td>86.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>66.9</td> <td>97.9</td> <td>72.2</td> <td>9.7</td> <td>61.6</td> <td>90.1</td> <td>86.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>66.9</td> <td>97.9</td> <td>82.9</td> <td>15.5</td> <td>67.1</td> <td>90.1</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>65.8</td> <td>97.9</td> <td>70.4</td> <td>12.8</td> <td>61.6</td> <td>90.1</td> <td>83.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用の促進</p> <p>・地域連携クリニカルパス適用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>がん</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>401</td> <td>111</td> <td>100</td> <td>207</td> <td>54</td> <td>351</td> <td>215</td> <td>134</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>431</td> <td>118</td> <td>127</td> <td>398</td> <td>13</td> <td>355</td> <td>177</td> <td>134</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>365</td> <td>140</td> <td>130</td> <td>360</td> <td>45</td> <td>520</td> <td>190</td> <td>164</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>333</td> <td>120</td> <td>169</td> <td>489</td> <td>6</td> <td>493</td> <td>213</td> <td>105</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質の向上</p> <p>・クリニカルパス適用率【再掲 P25】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>32.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>33.9</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>70.0</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>70.8</td> <td>56.9</td> <td>52.9</td> <td>50.2</td> <td>37.5</td> <td>36.4</td> <td>43.5</td> <td>64.9</td> <td>96.9</td> <td>100.0</td> <td>29.9</td> <td>33.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床の効率的運用</p> <p>・病床利用率（県立病院群全体）80.6%</p>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	R3 実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0	R4 実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0	R5 計画	66.9	97.9	82.9	15.5	67.1	90.1	85.7	100.0	R5 実績	65.8	97.9	70.4	12.8	61.6	90.1	83.6	100.0	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん	リハ中	リハ西	R3 実績	401	111	100	207	54	351	215	134	106	R4 実績	431	118	127	398	13	355	177	134	83	R5 計画	365	140	130	360	45	520	190	164	230	R5 実績	333	120	169	489	6	493	213	105	85	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1	R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5	R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	100.0	R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2	<p><b>2</b></p> <p>(1) 電子カルテを活用した空床の有効活用の徹底を継続した。</p> <p>(2) 入院前検査センター機能の活用による病床の有効活用に取り組んだ。</p> <p>(3) 患者の意向を踏まえた休日入院など休日における病床の有効活用を促進した。</p> <p>(4) 診療科別の患者数、診療単価のきめ細かな把握・分析による病床の有効活用を促進した。</p> <p>(5) 地域連携クリニカルパスを促進し、後方医療機関との連携を充実させることによる病床の有効活用を促進した。</p> <p>(6) 院内クリニカルパスの適用推進及び質を向上した。</p> <p>(7) 地域の医療ニーズに対応した適正な稼働病床数・病床機能の見直しによる病床を効率的に運用した。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>(1) 電子カルテ病棟管理日誌、病棟マップの活用による病床管理の実施</p> <p>(2) 入院前検査センターを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8病院（尼崎、西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こども、がん）で設置済</li> <li>・患者サポートセンター開設による機能の一元化（尼崎、R5.2 開設）</li> </ul> <p>(3) 休日における病床の有効活用（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜・休日入院の実施（[全科]姫路、[泌尿器科ほか11科]尼崎、[婦人科]西宮、丹波）</li> <li>・白内障手術の日曜入院（尼崎、西宮、加古川、姫路、丹波、こども）</li> <li>・外科ほか7診療科における休日入院（淡路）</li> </ul> <p>(4) R4 年度診療報酬対策本部会議において多職種で構成する「経営検討の場」の設置（2023 年度トライアル、2024 年度本格運用）を各病院へ求め、経営分析資料の作成スキル保持者の育成実施。</p> <p>(5) 概ね計画どおり実施（加古川）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コ】新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う患者増</li> </ul> <p>(丹波)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の回復期病棟への転棟増加</li> </ul> <p>(がん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん地域連携パス</li> </ul> <p>(リハ中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス以外の紹介が増加（51 件）</li> </ul> <p>(6) 概ね計画どおり実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリニカルパス推進対策本部の設置</li> </ul> <p>尼崎のほか8病院（西宮、加古川、姫路、丹波、淡路、こども、がん）に院内パス推進チームを設置し、パスの推進体制の強化を図った。</p> <p>(こども)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規パス増に伴う適用率の向上</li> </ul> <p>(リハ中)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス対象者以外の患者増</li> </ul> <p>(7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね計画どおり実施</li> </ul>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん																																																																																																																																																											
R3 実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0																																																																																																																																																											
R4 実績	66.9	97.9	72.2	9.7	61.6	90.1	86.0	100.0																																																																																																																																																											
R5 計画	66.9	97.9	82.9	15.5	67.1	90.1	85.7	100.0																																																																																																																																																											
R5 実績	65.8	97.9	70.4	12.8	61.6	90.1	83.6	100.0																																																																																																																																																											
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん	リハ中	リハ西																																																																																																																																																										
R3 実績	401	111	100	207	54	351	215	134	106																																																																																																																																																										
R4 実績	431	118	127	398	13	355	177	134	83																																																																																																																																																										
R5 計画	365	140	130	360	45	520	190	164	230																																																																																																																																																										
R5 実績	333	120	169	489	6	493	213	105	85																																																																																																																																																										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																																																																																																																																																							
R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1																																																																																																																																																							
R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5																																																																																																																																																							
R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	100.0																																																																																																																																																							
R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2																																																																																																																																																							

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (2) 診療機能に見合う収益の確保等

<p>○ 基本方向 高度医療機器や手術室等の有効活用、医療の特質に応じた各種加算の取得、適正な診療報酬請求の推進、入院前検査センターの機能拡充やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図り、診療機能に見合う収益を確保する。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保 (1) 建替整備による診療機能の充実、高度医療機器の計画的な整備等により診療内容の高度化を図る。 (2) 地域連携クリニカルパスを促進し、後送病院との連携・充実を図るとともに、院内においてもクリニカルパスの適用率を高めることにより、平均在院日数の適正化を図る。 (3) 入院、転退院に向けた外来段階での患者アセスメントの推進により、平均在院日数の適正化を図る。 (4) DPCにおける機能評価係数の向上及びコーディング精度の適正化を図る。 (5) DPC分析ソフトを活用し、継続的にクリニカルパスを見直すことにより、平均在院日数の適正化を図る。 (6) 診療情報管理士の資格取得を促進するとともに、全職種を対象に、診療報酬に関する研修会を開催することにより、診療機能にふさわしい各種加算の取得や指導管理の充実を図る。 (7) 病院横断的に組織した診療報酬対策本部において、診療報酬制度への適時的確な対応等の課題について取り組む。 (8) 医事委託業務の精緻化により、精度の高い医事事務を実施する。 (9) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に行う。</p> <p>2 一般会計の適切な負担 総務省から毎年示される地方財政計画及び地方公営企業繰入金通知（繰入金基準）により、救急医療対策費、看護師確保対策費などが不相当経費、また、特殊医療経費、高度医療経費などが困難経費とされており、これらに基づき、安定的かつ継続的に一般会計繰入金を確保する。 また、地方財政計画や繰入金基準を踏まえた見直しを適時適切に行う。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																	
<p>〔目標〕 診療報酬対策本部による診療報酬制度への的確な対応及び施設基準の取得、診療機能の充実、高度医療機器の高稼働、手術件数の増加等により、診療機能に見合う収益の確保を図る。</p> <p>診療単価・平均在院日数等(10病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R4決算①</th> <th>R5計画②</th> <th>R5最終予算③</th> <th>R5実績④</th> <th>対前年(④-①)</th> <th>対予算(④-③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">診療単価(円)</td> <td>入院</td> <td>81,488</td> <td>82,457</td> <td>82,743</td> <td>82,107</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>23,246</td> <td>22,762</td> <td>23,708</td> <td>23,715</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>11.6</td> <td>11.1</td> <td>11.1</td> <td>11.5</td> <td>△ 0.1</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>52,530</td> <td>53,908</td> <td>54,328</td> <td>55,422</td> <td>2,892</td> <td>1,094</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平均在院日数は、こころ、粒子線を除く8病院</p>	区分	R4決算①	R5計画②	R5最終予算③	R5実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)	診療単価(円)	入院	81,488	82,457	82,743	82,107	619	外来	23,246	22,762	23,708	23,715	469	平均在院日数	11.6	11.1	11.1	11.5	△ 0.1	0.4	手術件数	52,530	53,908	54,328	55,422	2,892	1,094	<p>診療報酬制度への的確な対応、在院日数の適正化、手術件数の増加等により診療機能に見合う収入の確保を図った。</p>	○	・概ね計画どおり実施																															
区分	R4決算①	R5計画②	R5最終予算③	R5実績④	対前年(④-①)	対予算(④-③)																																																														
診療単価(円)	入院	81,488	82,457	82,743	82,107	619																																																														
	外来	23,246	22,762	23,708	23,715	469																																																														
平均在院日数	11.6	11.1	11.1	11.5	△ 0.1	0.4																																																														
手術件数	52,530	53,908	54,328	55,422	2,892	1,094																																																														
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保 (1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能の充実 内視鏡下手術用支援機器（尼崎、がん）、PECT、CT（西宮）、アンギオ（加古川、こども、災害）、MRI（丹波）等 ・整備・更新計画の100%実施</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進による在院日数の適正化 ・クリニカルパス適用率【再掲 P25、47】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> <th>粒子線</th> <th>神戸陽子</th> <th>リハ中</th> <th>リハ西</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>66.4</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>32.6</td> <td>48.1</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>69.4</td> <td>47.1</td> <td>48.6</td> <td>45.3</td> <td>33.7</td> <td>50.0</td> <td>37.1</td> <td>65.2</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>33.9</td> <td>34.5</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>70.0</td> <td>51.8</td> <td>47.6</td> <td>49.2</td> <td>33.6</td> <td>38.1</td> <td>32.1</td> <td>63.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>70.8</td> <td>56.9</td> <td>52.9</td> <td>50.2</td> <td>37.5</td> <td>36.4</td> <td>43.5</td> <td>64.9</td> <td>96.9</td> <td>100.0</td> <td>29.9</td> <td>33.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西	R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1	R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5	R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	100.0	R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 診療機能に見合う収益の確保 (1) 建替整備、医療機器整備・更新による診療機能を充実した。 ・内視鏡下手術用支援機器（尼崎、がん）、SPECT・CT（西宮）、アンギオ（加古川、こども、災害）、MRI（丹波）等</p> <p>(2) クリニカルパスの適用推進により在院日数を適正化した。</p>	○  ○	<p>・計画通り高度専門医療のための医療機器の整備・更新を推進</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>(こども) ・新規パス増に伴う適用率の向上</p> <p>(リハ中) ・パス対象者以外の患者増</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	粒子線	神戸陽子	リハ中	リハ西																																																								
R3 実績	66.4	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	32.6	48.1																																																								
R4 実績	69.4	47.1	48.6	45.3	33.7	50.0	37.1	65.2	100.0	100.0	33.9	34.5																																																								
R5 計画	70.0	51.8	47.6	49.2	33.6	38.1	32.1	63.7	100.0	100.0	100.0	100.0																																																								
R5 実績	70.8	56.9	52.9	50.2	37.5	36.4	43.5	64.9	96.9	100.0	29.9	33.2																																																								

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明							
<p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数の適正化 ・入院前検査センターにおける入院及び検査説明件数 : 63, 963 件【再掲 P36】</p>	<p>(3) 入院前検査センター機能拡充による在院日数を適正化した。 ・患者サポートセンター開設による機能の一元化 (尼崎、R5.2 開設)</p>	○	(3) 概ね計画どおり実施							
<p>(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みの実施 ・診療報酬関係委員会及び DPC コーディング委員会開催回数</p>	<p>(4) 院内診療報酬関連委員会等における機能評価係数向上・コーディング適正化等に向けた現状の把握及び取り組みを実施した。</p>	○	(4) 計画を上回る、月平均 1 回以上の実施							
(単位:回)										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線
R3 実績	12	12	12	16	16	16	12	16	12	12
R4 実績	12	12	11	11	16	16	12	16	12	12
R5 計画	12	12	12	16	16	16	12	16	12	12
R5 実績	12	12	10	17	16	16	12	16	12	12
<p>(5) DPC 分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化 ・クリニカルパス数のうち DPC II 期以内に設定されている割合</p>	<p>(5) DPC 分析ソフトを活用したクリニカルパスの見直しによる在院日数の適正化に取り組んだ。</p>	○	<p>(5) 概ね計画どおり実施 (姫路) ・全てのパスを II 期内にすることで病床稼働率が大きく低下し経営面での影響大</p>							
(単位:%)										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	がん			
R3 実績	99.8	77.8	95.0	100.0	71.1	72.6	62.7			
R4 実績	99.8	81.6	66.1	28.9	70.4	72.9	55.7			
R5 計画	99.8	85.0	95.0	100.0	90.0	75.0	67.0			
R5 実績	93.5	70.5	62.3	43.0	77.9	79.8	64.9			
<p>(6) 診療情報管理士の育成 診療情報管理士資格の新規取得者: 5 名</p>	<p>(6) 診療情報管理士を育成した。 R5 診療情報管理士資格の新規取得者: 2 名</p>	▲	<p>(7) 概ね計画どおり実施 ・令和 5 年度診療報酬対策本部会議 ワーキンググループ提案に基づく経営健全化方策の検討及び実施 ・本部会議 (全 3 回) ・WG (全 9 回) ・パス推進対策本部全体会議 (全 4 回) ・パス推進チーム (全 8 回)</p>							
<p>(7) 令和 4 年度診療報酬改定を踏まえて、病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策の検討および、新たに設置するクリニカルパス推進対策本部によるパス推進体制の強化</p>	<p>(7) 令和 4 年度診療報酬改定を踏まえて、病院事業副管理者を本部長、各病院管理局長を本部員とした診療報酬対策本部における経営健全化方策を検討した。</p>	○								
<p>(8) 経営再生本部における収益確保による収支改善の取り組みの実施 ・薬剤業務スマート化</p>	<p>(8) 経営再生本部における収益確保による収支改善の取り組みを実施した。 ・薬剤部支援 ・化学療法の入外最適化 ・リハビリの生産性向上 ・レセプト精度診断の実施 (はり姫: R5.5 月、加古川: R5.6 月)</p>	○	(8) 概ね計画どおり実施							
<p>(9) 精度の高い医事事務の実施 ・プロポーザル方式による医事委託業者の選定 ・医事事務にかかる研修会の実施</p>	<p>(9) 精度の高い医事事務を実施した。 ・プロポーザル方式による医事委託業者を選定した。 (尼崎・淡路) R5.4 ・医事事務にかかる研修会を実施した。</p>	○	<p>(9) 概ね計画どおり実施 (尼崎) ・査定件数の増加 (加古川) ・検査の査定件数の増加 (こころ) ・処方量の過剰 (粒子線) ・R4 実績同等</p>							
(単位:%)										
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線
R3 実績	11.8	8.3	2.9	4.3	5.0	4.8	1.0	3.4	14.5	13.5
R4 実績	12.3	9.0	4.0	6.0	5.9	9.1	1.0	4.2	26.5	16.4
R5 計画	12.0	8.0	3.5	6.0	5.0	4.9	1.0	4.0	15.0	13.0
R5 実績	15.4	12.7	5.0	9.1	5.9	4.6	1.6	3.7	18.6	15.9
<p>(10) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施</p>	<p>(10) 全国自治体病院協議会、全国知事会等を通じて診療報酬制度の改善要望を適時適切に実施した。</p>	○	(10) 概ね計画どおり実施 ・全国自治体病院協議会の要望調査で提出							

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																									
<p><b>2 一般会計負担金</b>                      全て国基準及び県施策に伴うものであり、いわゆる赤字補てんとしての負担金はない。                      なお、資本的収支においては、行革期間中に行ってきた一般会計繰入金の減額調整（総額 109 億円（H23～H30））について、H30 年度から 5 年間で一般会計と病院事業会計との貸借関係の整理と併せて計画的に精算を実施</p>	<p><b>2 一般会計負担金</b>                      地方公営企業法で定める不相当経費、困難経費を一般会計から負担金として繰入れた。                      ・収益的収支 16,264 百万円                      ・資本的収支 6,990 百万円</p>	○	<p>・公立病院に求められる事業の実施及び一般会計負担金の受入れを適切に実施</p>																																																									
(単位:千円)																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 10%;">主な内容</th> <th style="width: 10%;">R4年度</th> <th style="width: 10%;">R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">不相当経費</td> <td>看護師確保対策費</td> <td>院内保育事業運営経費</td> <td>190,976</td> <td>190,976</td> </tr> <tr> <td>救急医療対策費</td> <td>救急医療の確保に要する経費 等</td> <td>3,204,185</td> <td>3,277,361</td> </tr> <tr> <td>保健衛生行政経費</td> <td>相談調査事業運営経費 等</td> <td>59,279</td> <td>59,470</td> </tr> <tr> <td>共済組合追加費用</td> <td>恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費</td> <td>949,168</td> <td>867,323</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>児童手当に要する経費の一部等</td> <td>206,819</td> <td>201,164</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">収益的収支</td> <td>高度医療経費</td> <td>集中治療室運営損費 等</td> <td>5,054,302</td> <td>5,181,409</td> </tr> <tr> <td>特殊医療経費</td> <td>精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等</td> <td>3,861,984</td> <td>3,881,907</td> </tr> <tr> <td>建設改良経費</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合</td> <td>633,542</td> <td>599,780</td> </tr> <tr> <td>基礎年金拠出金</td> <td>事業主負担相当額</td> <td>2,199,035</td> <td>1,974,939</td> </tr> <tr> <td>一般会計施策に伴うもの</td> <td>丹波市立看護専門学校運営費等負担金 等</td> <td>32,261</td> <td>29,199</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>16,391,551</td> <td>16,263,528</td> </tr> <tr> <td>資本的収支</td> <td>建設改良経費</td> <td>施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合</td> <td>7,240,463</td> <td>6,989,640</td> </tr> </tbody> </table>		区分	主な内容	R4年度	R5年度	不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	190,976	190,976	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費 等	3,204,185	3,277,361	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費 等	59,279	59,470	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	949,168	867,323	その他	児童手当に要する経費の一部等	206,819	201,164	収益的収支	高度医療経費	集中治療室運営損費 等	5,054,302	5,181,409	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等	3,861,984	3,881,907	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	633,542	599,780	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	2,199,035	1,974,939	一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金 等	32,261	29,199	合 計			16,391,551	16,263,528	資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	7,240,463	6,989,640	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①不相当経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する、「その性質上、当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない」経費（救急の医療を確保するために要する経費等）</p> <p>②困難経費： 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する、「当該地方公営企業の性質上、能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる」経費（医療水準の向上を図るため必要な高度又は特殊な医療で採算をとることが困難な経費等）</p> </div>		
区分	主な内容	R4年度	R5年度																																																									
不相当経費	看護師確保対策費	院内保育事業運営経費	190,976	190,976																																																								
	救急医療対策費	救急医療の確保に要する経費 等	3,204,185	3,277,361																																																								
	保健衛生行政経費	相談調査事業運営経費 等	59,279	59,470																																																								
	共済組合追加費用	恩給制度廃止に伴う公立病院負担経費	949,168	867,323																																																								
	その他	児童手当に要する経費の一部等	206,819	201,164																																																								
収益的収支	高度医療経費	集中治療室運営損費 等	5,054,302	5,181,409																																																								
	特殊医療経費	精神病棟運営損費、リハビリテーション運営損費 等	3,861,984	3,881,907																																																								
	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の利息の一定割合	633,542	599,780																																																								
	基礎年金拠出金	事業主負担相当額	2,199,035	1,974,939																																																								
	一般会計施策に伴うもの	丹波市立看護専門学校運営費等負担金 等	32,261	29,199																																																								
合 計			16,391,551	16,263,528																																																								
資本的収支	建設改良経費	施設・機器整備のために発行した企業債の元金の一定割合	7,240,463	6,989,640																																																								

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目2 収益の確保 (3) その他の収益の確保

<p>○ 基本方向</p> <p>未収金については「県立病院未収金取扱要領」に基づき、全病院で統一的な発生防止及び徴収強化に取り組むことにより、新規発生率及び未収金総額の抑制を図る。                  使用料、手数料については、原価や他施設との均衡等を踏まえつつ、適切な受益者負担となるよう見直しを行う。                  資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止することとし、今後の必要戸数については、借上での対応を図る。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 未収金の縮減</p> <p>(1) 職員の管理意識の向上を図るため未収金管理研修を実施するとともに、概算支払額の事前通知、退院日請求の促進、医療費に関する各種制度活用（高額療養費制度、出産育児一時金の代理受領等）の周知徹底を図ること等により発生防止に努める。                  (2) 新たな滞納者を発生させないため、納付期限経過直後に、督促・催告の実施、分割納付の誓約取付、未収金徴収嘱託員等による訪問徴収等、徴収対策を集中的に行い、未収金の早期回収に取り組む。                  (3) 滞納後一定期間を経過したものについては、連帯保証人に請求するとともに、回収の見込みが立たないものについては、弁護士法人へ徴収委託し、必要に応じて法的措置を講じるなど徴収強化に取り組む。</p> <p>2 使用料、手数料等の見直し</p> <p>(1) 使用料、手数料の自主料金については、適時適切に見直しを行う。                  (2) 届出によって実施が可能な先進医療については、各病院の診療機能に応じて適時適切に料金化する。                  (3) 民間事業者による病院施設の運営（売店、食堂、自動販売機等）にあたっては、プロポーザル方式の導入により、適正な使用料を確保するとともに、患者の利便性の向上を図る。</p> <p>3 資産の有効活用</p> <p>(1) 資産の有効活用については、医師公舎・看護師宿舎は病院の建替整備に併せて廃止する。                  (2) 医師公舎・看護師宿舎については借上を基本とし、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																																																						
<p>〔目標〕</p> <p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努める。                  また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進める。</p>	<p>未収金の発生防止と徴収の強化、使用料・手数料の適切な見直しを図り、引き続きその他収入の確保に努めた。                  また、未利用施設については、県有財産等活用推進会議の方針等に従い、売却等を進めた。</p>	○	未収金は増加したものの、使用料・手数料の適切な見直し等、その他収益の確保においては概ね計画通りに取り組んだ。																																																																																																						
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率の抑制                  ・新規発生率：0.04%以下</p> <p>過年度未収金（決算時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>未収金総額</th> <th>件数</th> <th>新規発生未収金 A</th> <th>医業収益 B</th> <th>発生率 A/B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20 年度決算</td><td>318,689</td><td>4,740</td><td>141,257</td><td>71,285,298</td><td>0.20%</td></tr> <tr><td>H21 年度決算</td><td>297,506</td><td>4,027</td><td>99,118</td><td>70,864,921</td><td>0.14%</td></tr> <tr><td>H22 年度決算</td><td>266,965</td><td>3,382</td><td>83,658</td><td>73,673,335</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H23 年度決算</td><td>245,519</td><td>3,384</td><td>82,252</td><td>80,362,312</td><td>0.10%</td></tr> <tr><td>H24 年度決算</td><td>225,482</td><td>3,078</td><td>73,814</td><td>83,336,271</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H25 年度決算</td><td>216,511</td><td>2,998</td><td>81,860</td><td>87,465,286</td><td>0.09%</td></tr> <tr><td>H26 年度決算</td><td>168,179</td><td>3,007</td><td>47,403</td><td>87,862,779</td><td>0.05%</td></tr> <tr><td>H27 年度決算</td><td>163,589</td><td>2,331</td><td>50,575</td><td>90,929,334</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H28 年度決算</td><td>165,230</td><td>2,639</td><td>60,531</td><td>93,766,921</td><td>0.06%</td></tr> <tr><td>H29 年度決算</td><td>204,063</td><td>2,308</td><td>109,534</td><td>101,453,893</td><td>0.11%</td></tr> <tr><td>H30 年度決算</td><td>151,539</td><td>1,603</td><td>73,386</td><td>106,669,907</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 元年度決算</td><td>150,562</td><td>1,598</td><td>80,038</td><td>108,415,472</td><td>0.07%</td></tr> <tr><td>R 2 年度決算</td><td>172,125</td><td>1,979</td><td>84,880</td><td>111,480,504</td><td>0.08%</td></tr> <tr><td>R 3 年度決算</td><td>124,189</td><td>2,002</td><td>50,231</td><td>128,228,441</td><td>0.04%</td></tr> <tr><td>R 4 年度決算</td><td>121,803</td><td>1,796</td><td>52,936</td><td>125,362,805</td><td>0.04%</td></tr> <tr><td>R 5 年度決算</td><td>182,206</td><td>2,333</td><td>92,690</td><td>135,291,756</td><td>0.07%</td></tr> </tbody> </table> <p>※H20 年度：新規発生未収金のピーク</p>	区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B	H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%	H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%	H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%	H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%	H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%	H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%	H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%	H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%	H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%	H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%	H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%	R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%	R 2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%	R 3 年度決算	124,189	2,002	50,231	128,228,441	0.04%	R 4 年度決算	121,803	1,796	52,936	125,362,805	0.04%	R 5 年度決算	182,206	2,333	92,690	135,291,756	0.07%	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 「県立病院未収金取扱要領」に基づいた取り組みの推進</p> <p>(1) 未収金の発生防止による新規発生率を抑制した。</p> <p>(単位：千円、件)</p>	▲	・はりま姫路総合医療センターの開院に伴い交通事故や労災の件数が増加。民法改正に伴う時効延長による未収金の不納欠損の減少による、未収金の増
区分	未収金総額	件数	新規発生未収金 A	医業収益 B	発生率 A/B																																																																																																				
H20 年度決算	318,689	4,740	141,257	71,285,298	0.20%																																																																																																				
H21 年度決算	297,506	4,027	99,118	70,864,921	0.14%																																																																																																				
H22 年度決算	266,965	3,382	83,658	73,673,335	0.11%																																																																																																				
H23 年度決算	245,519	3,384	82,252	80,362,312	0.10%																																																																																																				
H24 年度決算	225,482	3,078	73,814	83,336,271	0.09%																																																																																																				
H25 年度決算	216,511	2,998	81,860	87,465,286	0.09%																																																																																																				
H26 年度決算	168,179	3,007	47,403	87,862,779	0.05%																																																																																																				
H27 年度決算	163,589	2,331	50,575	90,929,334	0.06%																																																																																																				
H28 年度決算	165,230	2,639	60,531	93,766,921	0.06%																																																																																																				
H29 年度決算	204,063	2,308	109,534	101,453,893	0.11%																																																																																																				
H30 年度決算	151,539	1,603	73,386	106,669,907	0.07%																																																																																																				
R 元年度決算	150,562	1,598	80,038	108,415,472	0.07%																																																																																																				
R 2 年度決算	172,125	1,979	84,880	111,480,504	0.08%																																																																																																				
R 3 年度決算	124,189	2,002	50,231	128,228,441	0.04%																																																																																																				
R 4 年度決算	121,803	1,796	52,936	125,362,805	0.04%																																																																																																				
R 5 年度決算	182,206	2,333	92,690	135,291,756	0.07%																																																																																																				

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																							
<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進            ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止の実施            ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託の推進            ・回収率：0.64%以上</p> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施            ・弁護士法人による回収率：39.5%以上</p> <p><b>2 使用料、手数料等の見直し</b>            (1) 使用料、手数料等自主料金の見直し            ・料額の適正検証を行い、必要に応じて見直しを実施</p> <p>(2) 必要に応じた各病院の診療機能に応じた先進医療等の料金化</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努める。</p> <p><b>3 資産の有効活用</b>            (1) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択            ・県立病院全体で入居率80%以上</p>	<p>(2) 新たな未収金滞納者を発生させないよう未収金の早期回収を推進した。            ① 発生後の早期督促、分割納付の制約取付等による新たな滞納の防止を実施した。            ② 納付交渉に応じない者に対する弁護士法人への徴収委託を推進した。</p> <p>(3) 弁護士法人による回収の促進（回収率の向上）を図るとともに悪質な滞納者については法的措置を実施した。</p> <p><b>2 使用料、手数料等の見直し</b>            (1) 使用料、手数料等自主料金の見直しを実施した。            ・選定療養費の改定（R6.3.1施行）            「がん、リハビリ中央センターの追加」</p> <p>(2) 先進医療技術料の見直しを実施した。（R5.11.1）</p> <p>(3) プロポーザル方式による民間事業者の提案を元にした病院施設（売店等）の運営により、患者の利便性の向上を図るとともに、使用料及び売上加算を徴収するなど収益の増加に努めた。</p> <p><b>3 資産の有効活用</b>            (1) 医師公舎・看護師宿舎について、地域の実情を踏まえた上で、棟借上、個別借上等を柔軟に選択した。            ・姫路医師公舎を廃止した（R4.5.1）。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>(2) 概ね計画どおり実施</p> <p>(3) 概ね計画どおり実施</p> <p>(1) 概ね計画どおり実施</p> <table border="1" data-bbox="1804 730 2881 1157"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選定療養費の改定 初診 医科</td> <td>2,600円</td> <td>医科 6,364円 (消費税が課される場合においては7,000円)</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>2,600円</td> <td>歯科 4,546円 (消費税が課される場合においては5,000円)</td> </tr> <tr> <td>再診 医科</td> <td>-</td> <td>医科 2,728円 (消費税が課される場合においては3,000円)</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>-</td> <td>歯科 1,728円 (消費税が課される場合においては1,900円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 概ね計画どおり実施            ・S-1 内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法（尼崎）追加            ・国内完結型マルチプレックスがん遺伝子パネル検査の削除</p> <p>(3) 概ね計画どおり実施（対前年比122%）            ・民間業者による病院施設運営状況</p> <table border="1" data-bbox="1780 1388 2537 1822"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プロポーザル実施対象（R6.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット</td> </tr> <tr> <td>西宮</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>加古川</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>姫路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>食堂、売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>売店、自動販売機</td> </tr> <tr> <td>リハ中央</td> <td>売店、自動販売機、床頭台システム</td> </tr> <tr> <td>リハ西播磨</td> <td>床頭台システム</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 概ね計画どおり実施</p>	区分	改定前	改定後	選定療養費の改定 初診 医科	2,600円	医科 6,364円 (消費税が課される場合においては7,000円)	歯科	2,600円	歯科 4,546円 (消費税が課される場合においては5,000円)	再診 医科	-	医科 2,728円 (消費税が課される場合においては3,000円)	歯科	-	歯科 1,728円 (消費税が課される場合においては1,900円)	施設名	プロポーザル実施対象（R6.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの	尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット	西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	姫路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ	丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	こころ	売店、自動販売機	こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム	がん	売店、自動販売機	リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム	リハ西播磨	床頭台システム
区分	改定前	改定後																																								
選定療養費の改定 初診 医科	2,600円	医科 6,364円 (消費税が課される場合においては7,000円)																																								
歯科	2,600円	歯科 4,546円 (消費税が課される場合においては5,000円)																																								
再診 医科	-	医科 2,728円 (消費税が課される場合においては3,000円)																																								
歯科	-	歯科 1,728円 (消費税が課される場合においては1,900円)																																								
施設名	プロポーザル実施対象（R6.4） ※業者が提示した率で売上加算使用料を徴収しているもの																																									
尼崎	売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ、入院セット																																									
西宮	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																									
加古川	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																									
姫路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム、カフェ																																									
丹波	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																									
淡路	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																									
こころ	売店、自動販売機																																									
こども	食堂、売店、自動販売機、床頭台システム																																									
がん	売店、自動販売機																																									
リハ中央	売店、自動販売機、床頭台システム																																									
リハ西播磨	床頭台システム																																									

Ⅲ 持続可能な経営の確保

項目3 費用の抑制

<p>○ 基本方向 持続可能な経営の確保に向け、診療機能に見合う収益を確保するとともに、費用の抑制に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。</p> <p>○ 取組内容</p> <p>1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を検討し、給与費の適正化を進める。 (2) 診療報酬制度や診療機能の高度化に対応した職員の適正配置による収益の確保を図り、給与費比率の抑制を推進する。</p> <p>2 材料費比率の改善 (1) 診療材料費の抑制 ① 診療材料については、診療材料委員会等において、性能及び価格等を検証のうえ、品目を選定する。 ② 診療材料の購入に当たっては、診療材料コンサルティング業者のノウハウを活用しながら、必要に応じてメーカーを対象とした交渉を行う。 ③ 同性能の診療材料については、安価材料への統一化を図ったうえで、一括購入に取り組む。 ④ 診療材料の使用に当たっては、在庫管理を徹底するとともに、使用数量の適正化を図る。 (2) 薬品費の抑制 ① 医薬品については、購入方式の多様化を図ることにより、より低廉な価格での購入に努める。 ② 薬剤師、事務職員等のチームにより、卸業者はもとより、必要に応じてメーカーを対象とした交渉に取り組む。 ③ 後発医薬品については、供給の安定性等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ④ バイオ後続品については、有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、使用拡大に努める。 ⑤ 同種同効品を整理し、採用品目数の縮減を図ることにより、使用効率の向上を促進する。 ⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討する。</p> <p>3 経費比率の改善 (1) 施設管理等の業務委託については、引き続き委託範囲や実施頻度等を見直すことにより、委託費の抑制を図る。 (2) 医療機器保守契約の一括契約化の推進、医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切替等に取り組むことにより、経費を抑制する。 (3) 施設・設備を計画的に改修し、投資の効率化を図ることにより、修繕費を抑制する。 (4) 施設改修時に省エネルギー対策を実施することにより、光熱水費を抑制する。 (5) 効率的な業務遂行や経費節減により、一般事務費を抑制する。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組むとともに、費用面では診療機能の維持や安全な医療の提供等に配慮しつつ、費用を適切に見込むことにより、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努める。 (10 病院) ・給与費比率 R4 年度決見 63.7%(50.1%)→R5 年度計画 59.2%(48.7%) ・材料費比率 R4 年度決見 35.7%(28.1%)→R5 年度計画 34.5%(28.4%) ・経費比率 R4 年度決見 21.4%(16.8%)→R5 年度計画 18.9%(15.5%) ※カッコ内は、対経常収益比率</p>	<p>〔目標〕 診療機能に見合う収益を確保するため、費用対効果の検証に基づく経営資源の有効活用に取り組み、医業収益に対する給与費比率、材料費比率及び経費比率の改善に努めた。 (10 病院) ・給与費比率 R4 年度実績 63.2%(49.7%)→R5 年度実績 60.0%(50.3%) ・材料費比率 R4 年度実績 35.1%(27.6%)→R5 年度実績 35.4%(29.7%) ・経費比率 R4 年度実績 20.8%(16.4%)→R5 年度実績 19.6%(16.5%) ※カッコ内は、対経常収益比率</p>	△	<p>・給与改定の影響により給与費が増加し、計画は達成できなかった。 ・物価高騰などにより、材料費・経費が増加し、計画は達成できなかった。</p>
<p>〔取組項目〕 1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討し、給与費の適性化を推進  (2) 業務量・プロセスに見合った職員配置を行い、効率的な業務遂行体制の確立や収益確保を推進</p>	<p>〔取組項目〕 1 給与費比率の改善 (1) 業務の委託化や効率化を引き続き検討した。  (2) 患者数の増加等に応じた職員の適正配置により収益を確保した。 ・病棟薬剤業務の体制整備（薬剤：尼崎+2、こども+1）など、施設基準の新たな取得に向けた体制を整備した。</p>	△  ○	<p>・検討したものの、給与改定により計画未達成  ・概ね計画どおり実施</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																													
<p><b>2 材料費比率の改善</b>  <b>(1) 診療材料</b>                      ① 診療材料委員会等において性能・価格等を検証のうえ品目を選定・変更                      材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施                      ・新規調達品目のうちBM適正価以下で調達できた品目の割合（病院品、BMがある品目に限る）（単位：％）</p> <table border="1" data-bbox="163 478 1638 651"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>尼崎</th> <th>西宮</th> <th>加古川</th> <th>姫路</th> <th>丹波</th> <th>淡路</th> <th>こども</th> <th>がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3 実績</td> <td>100.0</td> <td>86.4</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>72.7</td> <td>52.0</td> <td>100.0</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>R4 実績</td> <td>100.0</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>76.0</td> <td>52.7</td> <td>100.0</td> <td>96.7</td> </tr> <tr> <td>R5 計画</td> <td>100.0</td> <td>80.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>99.0</td> <td>80.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R5 実績</td> <td>100.0</td> <td>77.5</td> <td>71.4</td> <td>82.9</td> <td>87.5</td> <td>51.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 購入数量に見合う市場性の高い適正単価の確保                      見積合せ等により単価契約を締結したうえで、民間を含む多くの急性期系病院が加入する専門コンサルタントのベンチマークシステムにより契約単価の検証を行い、検証結果に応じて価格交渉を強化                      ・県立病院群全体で値引率 15%を維持</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進                      診療材料等購入に係る全国的な共同購入組織を活用した安価材料等への切替により、診療材料費を抑制                      ・新たに安価品へ切替えた品目数（各病院で設定する汎用分野に係るもの）：266 品目以上（過去 5 ヶ年平均以上）</p> <p><b>(2) 薬品</b>                      ① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的に在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や一括入札の拡大、専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化により低廉な価格での購入に努める。                      ・値引率(税込)5.3%以上</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進                      ・各県立病院において 85.0%以上を維持（後発医薬品使用体制加算 1 又は 2 の算定要件充足※）県立病院群全体として 90.0%以上を確保                      ※2022年度診療報酬改定で85%以上＝加算 1 が、90%以上＝加算 1・85%以上＝加算 2 に変更</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2023 年度末までに後発医薬品の数量シェアを、全ての都道府県で 80%以上）を達成済み                      ・②と同様</p>	区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん	R3 実績	100.0	86.4	100.0	100.0	72.7	52.0	100.0	87.7	R4 実績	100.0	85.7	100.0	100.0	76.0	52.7	100.0	96.7	R5 計画	100.0	80.0	100.0	100.0	99.0	80.0	100.0	100.0	R5 実績	100.0	77.5	71.4	82.9	87.5	51.0	100.0	100.0	<p><b>2 材料費比率の改善</b>  <b>(1) 診療材料</b>                      ① 診療材料委員会等において性能及び価格等を検証のうえ品目を選定                      材料選択の際、各病院に設置した診療材料委員会において価格・同効品を含めた審査を実施した。</p> <p>② 購入数量に見合う市場性の高い適正単価の確保                      院内 S P D 業者のノウハウを活用して得られた民間価格情報等を踏まえたうえで価格交渉を強化した。                      （ R5 値引率 全体：15.9%                      本庁品：14.1% ）</p> <p>③ 安価材料への統一化及び一括購入の推進                      全国的な共同購入組織における安価な提案品目について、試用のうえ共同購入を実施した。                      （R4 実績 切替による削減額：440,875 千円）</p> <p><b>(2) 薬品</b>                      ① 在庫医薬品を適正に管理し、定期的に在庫定数の見直しを実施することで、医薬品購入量の適正化に努めるとともに、薬品値引率拡大の取組や試薬の一括入札、専門コンサルタントのベンチマークシステムを活用した価格交渉の強化により低廉な価格での購入を促進した。                      （ R5 実績 値引率（税込）：5.58%                      薬価差：1,459,600 千円 ）</p> <p>② 薬剤部長会と連携し、後発医薬品の県立病院統一化を推進した。</p> <p>③ 県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標（2023 年度末までに後発医薬品の数量シェアを、全ての都道府県で 80%以上）を達成済み。                      また、各県立病院において 85.0%以上を維持し、県立病院群全体として 90.0%以上を確保した。                      （R5実績（県立病院 後発医薬品数量シェア）                      病院全体：93.0% 各病院：85.0%以上）</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・各病院で取組を実施したが、計画で定めた比率までは改善しなかった。                      （加古川・淡路）                      ・物価高騰による影響                      （姫路）                      ・新規申請数：117 件 BM 適正価以下：97 件</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・共同購入を実施したが、計画で定めた材料比率までは改善しなかった。</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施                      後発医薬品、バイオ後続品への切替えや採用品目数の縮減にあたっては、薬剤部長会と連携し、各病院の薬事委員会において安全性や供給体制等を確認の上、取組を進めている。</p>
区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こども	がん																																								
R3 実績	100.0	86.4	100.0	100.0	72.7	52.0	100.0	87.7																																								
R4 実績	100.0	85.7	100.0	100.0	76.0	52.7	100.0	96.7																																								
R5 計画	100.0	80.0	100.0	100.0	99.0	80.0	100.0	100.0																																								
R5 実績	100.0	77.5	71.4	82.9	87.5	51.0	100.0	100.0																																								



実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明															
<p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討 ・採用品目数：50 品目</p> <p>⑤ 各病院の診療機能に見合った採用品目の選択及び同種同効薬の整理による採用品目数の縮減を引き続き実施</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しによる委託費の抑制 ・給与費と委託費に占める委託費の割合：16.8%</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等の推進 ① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化の推進 ② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みの検討 ・対象カテゴリーの拡大：5 カテゴリー→8 カテゴリー</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修による修繕費の抑制 ・予定する改修工事の100%施工【再掲 P37】</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施による光熱水費の抑制 ・電気料金について、省エネルギー対策事業のポテンシャル調査を実施 ・照明のLED化（尼崎、加古川、淡路、こころ）</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減による一般事務費の抑制 ・一般事務費の医業収支比率：0.4%</p>	<p>④ 有効性、安全性・安定供給等を踏まえたうえで、バイオ後続品の使用拡大を引き続き検討した。 〔R5実績 R5年度末採用品目：41品目 バイオ後続品切り替えによる削減額：7,274千円〕</p> <p>⑤ 採用医薬品の縮減に引き続き努めたが、後発医薬品の供給安定の影響による代替品の購入や診療機能上不可欠な新規品目の購入により採用品目は微増した。 (R4年度末：5,466品目→R5年度末：5,153品目)</p> <p>⑥ 有効性、安全性、経済性を踏まえた上で、医薬品の院内使用指針（フォーミュラリー）の導入を検討した。</p> <p><b>3 経費比率の改善</b></p> <p>(1) 委託範囲や実施頻度の見直しにより委託費の抑制に努めたが、賃金高騰により増加した。</p> <p>(2) 医療機器保守契約の一括契約化等を推進した。 ① 各職種との協働による医療機器保守契約の一括化を推進した。 ② 医療器材の一括購入、事務用品等の安価製品への切り替え等の取り組みを検討した。</p> <p>(3) 施設・設備の計画的な改修により修繕費を抑制したが、物価高騰により増加した。</p> <p>(4) 照明のLED化の推進等の省エネルギー対策の実施により光熱水費を抑制した。</p> <p>(5) 効率的な業務遂行や経費節減により一般事務費を抑制した。 ① 電気使用量を抑制した（昼休みの事務室消灯等）。 ② 用紙の節減に取り組んだ（資料の電子媒体化、両面コピーの徹底、2up書類の推進等）。</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・計画で定めた採用品目数を達成できなかった。</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・計画で定めた材料比率までは改善しなかった。</p> <p>(1) 賃金高騰による増 ・給与費と委託費に占める委託費の割合：17.3%</p> <p>(2) 手術支援ロボット1基、核医学装置11基、を新たに一括保守に含めた全122基とし、病院直接契約の24.0%（266,734千円）削減</p> <table border="1" data-bbox="2211 976 2878 1144"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3実績</th> <th>R4実績</th> <th>R5実績</th> <th>R6見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一括機器数</td> <td>88</td> <td>104</td> <td>111</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>削減率</td> <td>13.9%</td> <td>19.1%</td> <td>23.7%</td> <td>24.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 物価高騰による増 (医業収支比率 R5当：0.983%、R5実績：1.084%)</p> <p>(4) 概ね計画どおり実施 ①令和6年度より電力供給付き省エネルギー対策事業契約を締結し、対象病院で省エネ事業を実施 ②LED化未了の4病院（尼崎・加古川・淡路・こころ）の照明LED化工事を実施</p> <p>(5) 昼休みの事務室消灯やペーパーレス化推進により、一般事務費を抑制</p>	区分	R3実績	R4実績	R5実績	R6見込	一括機器数	88	104	111	122	削減率	13.9%	19.1%	23.7%	24.0%
区分	R3実績	R4実績	R5実績	R6見込														
一括機器数	88	104	111	122														
削減率	13.9%	19.1%	23.7%	24.0%														



IV 安定した医療提供体制の確立

項目2 医師確保対策の推進

○ 基本方向	地域や診療科における医師の不足・偏在を解消するため、独自の医師確保対策を推進するとともに、県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援を実施するなど、地域医療の充実にも取り組んでいく。
○ 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大学医局からの医師確保に向けて、関係大学との連携強化を図る。</li> <li>2 県立病院のスケールメリットを活かした臨床研修制度や専攻医制度の実施、新専門医制度に対応した研修プログラムの提供等の研修基盤の充実により、若手医師の確保・育成を図る。</li> <li>3 指導医資格の取得支援等により、指導医の確保・育成を図る。</li> <li>4 丹波医療センターの教育・研修機能の充実や医師修学資金制度の実施、麻酔科・救急科プログラム等の効果的な運用等により、地域医療を担う医師や特定診療科の医師確保を図る。</li> <li>5 県養成医師に対して、義務年限終了後も含め、県立病院を活用したキャリア支援を実施する。</li> <li>6 高度先進医療設備・機器の新規導入や院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。</li> <li>7 県立病院に勤務する医師の資質向上や士気高揚を図るため、海外学会研究発表派遣事業の活用を促進する。</li> </ol>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<b>〔目標〕</b> 必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進する。	必要な医師総数の確保や、地域偏在・診療科偏在の解消に向け総合的な医師確保対策を推進した。	○	新型コロナウイルス感染症の影響により計画数を下回った医師の海外学会研究発表支援を除いて概ね計画どおりに実施した。
<b>〔取組項目〕</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修制度の実施 74名の定員を公募により充足</li> <li>2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 基幹施設として魅力ある研修プログラムを策定するとともに、連携施設として基幹施設と十分に連携し、専攻医を確保 ・充足率：60%</li> <li>3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費（受験料・手数料・認定料等）を補助 ・補助件数：200件</li> <li>4 医師修学資金制度の実施 ・新規貸与者数：3名</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 丹波医療センターの医師確保のため、神戸大学から中堅医師10名と非常勤指導医3名以上の派遣を受け、専攻医等を含めた若手医師の育成を図るプログラムを実施</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラムの実施 ・新規研修参加医師数：4名</li> <li>7 救急科医育成プログラムの実施 ・新規研修参加医師数：6名</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 ・養成医師の県内へき地等での定着人数：2名</li> </ol>	<b>〔取組項目〕</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床研修制度の実施 臨床研修医を採用した（R5.4採用74名 総数144名）。</li> <li>2 専攻医制度の実施及び新専門医制度への対応 ・専攻医を採用した（R5.4採用97名 総数408名）。 ・開院に伴い内科・救急の新規プログラムを開始した（姫路）。 ・産婦人科プログラムを開始した（西宮）。</li> <li>3 指導医資格の取得支援 指導医資格取得に要する経費を補助した（R5:226名）。</li> <li>4 医師修学資金制度の実施 （1）指定診療科枠 現貸与者数（返還猶予含む）：20名 （2）指定病院枠 現貸与者数（返還猶予含む）：15名 （3）中・西播磨枠 現貸与者数：46名（返還猶予含む）：49名 ※新規貸与者数：3名</li> <li>5 地域医療循環型人材育成プログラムの実施 R3～R5年度の3年間継続実施した。</li> <li>6 麻酔科専門研修プログラムの実施 R5.4新規研修参加医師数：4名（※R5.4研修参加医師総数14名）</li> <li>7 救急医育成プログラムの実施 R5.4新規研修参加医師数：13名（※R5.4研修参加医師総数39名）</li> <li>8 県養成医師の義務年限終了後も含めたキャリア支援の実施 R6.4養成医師の県内へき地等での定着人数：3名 （※義務年限終了の後期派遣2年目医師6名のうち）</li> </ol>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎ ○	・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・概ね計画どおり実施  ・超過達成  ・概ね計画どおり実施

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>9 高度先進医療設備・機器の導入 ・整備・更新計画の100%実施【再掲 P46, 48】</p> <p>10 医療秘書の効果的な配置 ・全体で常時228名を確保</p> <p>11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 海外発表に要する旅費・学会参加費等を補助 ・支援件数：32件</p>	<p>9 高度先進医療設備・機器の導入【再掲 P46, 48】 高度専門医療のための医療機器等を整備・更新した。</p> <p>10 医療秘書の効果的な配置 医療秘書を効果的に配置した（R5.11：286名）。</p> <p>11 医師の海外学会での研究発表に対する支援 ・支援医師数：R5：18名</p>	<p>○</p> <p>◎</p> <p>▲</p>	<p>・計画どおり高度専門医療のための医療機器の整備・更新を実施</p> <p>・超過達成</p> <p>・【コ】新型コロナウイルス感染症の影響により減</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目3 看護師確保対策の推進

<p>○ 基本方向 県立病院の建替整備や診療報酬の施設基準等に応じた看護体制を整備するため、多様な看護師確保対策を推進する。</p> <p>○ 取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 受験生にとって受験しやすい環境整備のため、採用試験の実施方法の見直しを図る。</li> <li>2 看護師・看護学生に対して、県立病院単独の合同説明会等を実施し、県立病院で勤務する魅力のPRを一層推進する。</li> <li>3 看護師修学資金制度を活用するとともに、地元学生等への説明会を実施するなど、県立病院の看護師の地域偏在に対応する。</li> <li>4 認定看護師等の養成に向けた派遣研修制度の活用により、キャリア支援の充実を図る。</li> <li>5 看護補助者の効果的な配置等により、看護師の業務負担の軽減を図る。</li> <li>6 多様な勤務形態の整備や育児支援制度の充実・利用促進など、魅力ある職場環境づくりを更に推進する。</li> </ol>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																							
<p>【目標】 人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進する。</p>	<p>【目標】 人材の確保・育成を図るための取組みを積極的に推進した。</p>	○	看護職員等の処遇改善を図るなど、人材の確保・育成に向けて取り組んだ。																																																							
<p>【取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 (試験会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡)</li> </ol> <p>○県立病院における看護師の採用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度 区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数 (A)</td> <td>766</td> <td>839</td> <td>863</td> <td>874</td> <td>988</td> <td>909</td> <td>1,016</td> <td>1,358</td> <td>1,129</td> <td>1,121</td> </tr> <tr> <td>合格者数 (B)</td> <td>598</td> <td>535</td> <td>293</td> <td>348</td> <td>340</td> <td>353</td> <td>419</td> <td>422</td> <td>497</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>受験倍率 (A/B)</td> <td>1.28</td> <td>1.57</td> <td>2.95</td> <td>2.51</td> <td>2.91</td> <td>2.58</td> <td>2.42</td> <td>3.22</td> <td>2.27</td> <td>2.46</td> </tr> <tr> <td>採用者数</td> <td>547</td> <td>475</td> <td>265</td> <td>329</td> <td>320</td> <td>321</td> <td>377</td> <td>385</td> <td>447</td> <td>426</td> </tr> </tbody> </table>	年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1,016	1,358	1,129	1,121	合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419	422	497	455	受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	3.22	2.27	2.46	採用者数	547	475	265	329	320	321	377	385	447	426	<p>【取組項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護師の需給状況を考慮した採用試験の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用試験を実施した(試験実施会場：神戸、姫路、岡山、徳島、福岡)。</li> <li>・受験可能年齢を45歳から60歳に引き上げた(R4～)。</li> </ul> </li> </ol>	○	・概ね計画どおり実施
年度 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																																																
受験者数 (A)	766	839	863	874	988	909	1,016	1,358	1,129	1,121																																																
合格者数 (B)	598	535	293	348	340	353	419	422	497	455																																																
受験倍率 (A/B)	1.28	1.57	2.95	2.51	2.91	2.58	2.42	3.22	2.27	2.46																																																
採用者数	547	475	265	329	320	321	377	385	447	426																																																
<ol style="list-style-type: none"> <li>2 県立病院単独の合同説明会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数：500名(対面300名、オンライン200名)</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 県立病院単独の合同説明会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同説明会を実施した(R5実績：2回)。</li> </ul> </li> </ol>	○	・概ね計画どおり実施																																																							

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明																																																																																																																																				
<p>3 看護師修学資金制度の実施 ・採用者数 (R6.4 入職) : 35 名</p> <p>○看護師修学資金の状況</p> <table border="1" data-bbox="222 348 1519 909"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集人数</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>20</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>50</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>応募者</td> <td>169</td> <td>143</td> <td>88</td> <td>110</td> <td>112</td> <td>151</td> <td>122</td> <td>95</td> <td>106</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>合格者</td> <td>84</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>50</td> <td>58</td> <td>83</td> <td>30</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>27</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2年(1年)</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3年(2年)</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4年(3年)</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>採用者</td> <td>65</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>44</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>31</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>丹波配属</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>淡路配属</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>28</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>39</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>その他配属</td> <td>39</td> <td>50</td> <td>9</td> <td>38</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	募集人数	60	30	20	50	75	100	50	20	30	60	応募者	169	143	88	110	112	151	122	95	106	88	合格者	84	25	18	50	58	83	30	21	26	21	1年	27	10	8	9	17	10	8	1	1	9	2年(1年)	20	9	5	18	23	6	6	6	9	5	3年(2年)	13	3	4	10	9	6	6	8	11	0	4年(3年)	24	3	1	13	9	8	10	6	5	0	採用者	65	62	48	44	46	28	54	44	31	1	丹波配属	20	5	11	3	15	5	4	13	9	29	淡路配属	6	7	28	3	19	18	39	15	22	16	その他配属	39	50	9	38	12	5	11	16	0	7	<p>3 看護師修学資金制度を実施 ・採用者数 (R6.4 入職) : 29 名</p>	○	・概ね計画どおり実施
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																													
募集人数	60	30	20	50	75	100	50	20	30	60																																																																																																																													
応募者	169	143	88	110	112	151	122	95	106	88																																																																																																																													
合格者	84	25	18	50	58	83	30	21	26	21																																																																																																																													
1年	27	10	8	9	17	10	8	1	1	9																																																																																																																													
2年(1年)	20	9	5	18	23	6	6	6	9	5																																																																																																																													
3年(2年)	13	3	4	10	9	6	6	8	11	0																																																																																																																													
4年(3年)	24	3	1	13	9	8	10	6	5	0																																																																																																																													
採用者	65	62	48	44	46	28	54	44	31	1																																																																																																																													
丹波配属	20	5	11	3	15	5	4	13	9	29																																																																																																																													
淡路配属	6	7	28	3	19	18	39	15	22	16																																																																																																																													
その他配属	39	50	9	38	12	5	11	16	0	7																																																																																																																													
<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度の実施 各病院の診療特区性等を考慮した3ヵ年要請計画に基づき、計画的に認定看護師を養成するため、日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣 年間養成数：15名程度（派遣期間6ヵ月程度）</p> <p>5 特定行為看護師の計画的な育成及び活用方策の検討 各病院の診療特性等を考慮した3ヵ年養成計画に基づき、計画的に特定行為に係る看護師を養成</p> <p>6 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置 ・全体で常時240名を確保</p> <p>7 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進</p> <p>8 看護職員等の処遇改善 診療報酬制度（看護職員処遇改善評価料）を活用し、県立病院の看護職員等の処遇改善を推進</p>	<p>4 認定看護師の養成に向けた派遣研修制度を実施 日本看護協会等が認定する認定看護師教育課程に看護師を派遣した（R5 新規派遣人数：14名）。</p> <p>5 特定行為看護師の計画的な育成及び活用方策の検討 ・特定行為研修に看護師を派遣した（R5 新規派遣人数：1名）。</p> <p>6 看護補助者の活用 看護師の業務負担軽減を図るため、看護補助者を配置した（R5.11：367名）。</p> <p>7 ワークライフバランスに配慮した多様な働き方の推進</p> <p>8 看護職員等の処遇改善 診療報酬制度（看護職員処遇改善評価料）を活用し、県立病院の看護職員等の処遇改善を図った。</p>	○  ○  ◎  ○  ○	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・超過達成</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p>																																																																																																																																				

IV 安定した医療提供体制の確立

項目4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組

<p>○ <b>基本方向</b>          診療機能の高度化・専門化やICTの高度化等の医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討する。          病院運営の中核となる事務部門を強化するため、病院や医療制度を熟知した専門的人材の育成・確保策を検討する。          県立病院組織の活力を更に向上するため、多種多様な研修機会の提供や研修内容の充実等を通じ、職員の資質・能力を高めるための取り組みを積極的に進める。</p> <p>○ <b>取組内容</b></p> <p>1 <b>専門的人材の充実・確保</b>          (1) 専門性を備えた人材について、多様な任用形態による確保策を検討する。          (2) 病院運営の中核となる人材を育成する人事ローテーション等を検討する。          (3) 事務職員に向けた病院経営に関する研修等を実施する。</p> <p>2 <b>職員の育成、士気高揚</b>          (1) 職種・職務毎に研修の体系や内容を点検し、更なる充実を図る。          (2) 患者に接する機会の多い職員を対象とする接遇研修を更に充実する。          (3) 病院運営に顕著な功績のあった職員等を対象に、管理者表彰及び院長表彰を積極的に実施する。          (4) 査定昇給制度の適切な運用や勤勉手当への勤務成績の反映により、職員の士気高揚を図る。</p>
---

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕            専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施する。</p>	<p>専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施した。</p>	△	<p>MBA やM×M KOBE の受講希望者が減少したものの、職種や階層に応じた研修を実施するなど、専門的人材の確保・育成を図るための取組を実施した。</p>
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 <b>専門的人材の充実・確保</b>            (1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討            ・病院DXの推進や情報セキュリティ対策の強化等のための医療情報職の増員            ・病棟薬剤業務実施体制の拡充等のための薬剤師の増員 等</p> <p>(2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、引き続き、人事当局と調整</p> <p>(3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした会議、研修の実施            ・総務担当者（給与）会議：1回            ・経理担当者研修：3回</p> <p>(4) 県立病院経営に係る人材育成のためのMBA受講支援（対象大学院：兵庫県立大学大学院、関西学院大学大学院、神戸大学大学院）            ・新規受講人数：2人</p> <p>(5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE）受講支援            受講する職員の学費を負担            ・受講人数：10名</p> <p>(6) 診療情報管理士の育成            ・診療情報管理士資格の新規取得者：5名【再掲P49】</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 <b>専門的人材の充実・確保</b>            (1) 診療機能の高度化・専門化や医療を取り巻く環境変化に対応するため、施設基準の改定等に応じて必要となる専門的人材の確保策を検討した。            ・医療情報職の増員（R6.4：+1名）            ・薬剤師の増員（R6.4：+10名）</p> <p>(2) 患者サービスの維持・向上を図るため、病院運営に係る知識・経験が豊富な人材育成ができる人事配置について、人事当局と調整した。</p> <p>(3) 総務事務・給与事務担当者等を対象とした会議、研修を実施した。</p> <p>(4) 県立病院経営に係る人材育成のためのMBA受講を支援した。            (R5実績：1名) ※内訳：県立大1名</p> <p>(5) 神戸大学実践的病院経営マネジメント人材養成プラン（M×M KOBE）受講を支援した。            (R5実績：科目履修コース 5名)</p> <p>(6) 診療情報管理士を育成した。【再掲P49】            ・R5診療情報管理士資格の新規取得者：2名</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>▲</p> <p>▲</p> <p>▲</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・受講希望者の減</p> <p>・受講希望者の減</p> <p>・取得者の減</p>

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p><b>2 職員の育成、士気高揚</b></p> <p>(1) 各職種に必要な資質の向上や経営意識の醸成を図るため、職種別研修や階級別研修を効率的に実施</p> <p>(2) 待遇研修の実施（年1回）（待遇とクレーム対応等） 【再掲 P37】</p> <p>(3) 管理者表彰や院長表彰の積極的な実施</p> <p>(4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施</p>	<p><b>2 職員の育成、士気高揚</b></p> <p>(1) 職員の資質向上のため職種別研修や階級別研修を効率的に実施した。</p> <p>(2) 待遇研修は新型コロナウイルスの感染状況を考慮し中止した。【再掲 P37】</p> <p>(3) 管理者表彰や院長表彰の積極的に実施した。</p> <p>(4) 職員の士気高揚を図るため、勤務成績を反映した査定昇給や勤勉手当への反映を実施した。</p>	<p>○</p> <p>▲</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・【コ】左記理由により中止</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・概ね計画どおり実施</p>



IV 安定した医療提供体制の確立

項目5 働きやすい職場づくり

<p>○ <b>基本方向</b> 県立病院の職員を安定的に確保するため魅力ある職場環境の整備を進めるとともに、健康管理やワークライフバランスに配慮し、超過勤務の縮減、休暇の取得促進等、働きやすい職場環境づくりに取り組む。</p> <p>○ <b>取組内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国における医師の働き方改革に関する検討会から示される労働時間の短縮策などに取り組み、労働時間の適正化を推進する。</li> <li>2 院内施設の整備、医療秘書の設置による業務の負担軽減等、医師にとって魅力ある執務環境の整備を進める。</li> <li>3 女性医師が増加している中、仕事と育児を両立することができる育児短時間制度や部分休業制度の利用促進、院内保育所の充実等を図ることにより、女性が働きやすい環境整備を推進する。</li> </ol>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施する。</p>	<p>働きやすい職場づくりに向けて、超過勤務の縮減や職員自身の健康管理意識の高揚を図るため、継続して以下の取組を実施した。</p>	○	医師の働き方改革への対応等、働きやすい職場づくりのための取組を計画どおり実施した。
<p>〔取組項目〕</p> <p>1 <b>労働時間の適正化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同職種や同診療科内での業務の平準化、タスクシフティング等による業務の効率化</li> <li>・各病院の実情に応じた超過勤務縮減に向けた取り組みの推進</li> <li>・年次休暇の計画的な取得の促進</li> </ul> <p>○年間の超過勤務時間が下記を超えた職員数を R4 年度比で減少 医 師：960 時間（A 水準） その他：360 時間</p> <p>2 <b>魅力ある執務環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置【再掲 P58】</li> <li>・給与の見直しによる処遇改善</li> </ul> <p>3 <b>女性医師が働きやすい環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業や育児短時間勤務制度等の活用促進</li> <li>・院内保育所の整備</li> <li>・在宅勤務制度の実施</li> <li>・民間情報サイト等を利用した女性医師バンクの活用</li> </ul> <p>○女性医師の育児休業取得率：85.1%（R3 全国平均）以上</p> <p>4 <b>医師の働き方改革の推進</b></p> <p>労働基準法の改正により、医師の時間外・休日労働の上限規制が令和6年4月から適用されることも踏まえ、労働時間短縮に向けた取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードによる勤怠管理システムの導入等による適切な労務管理</li> <li>・医師の勤務時間の割り振りの弾力化</li> <li>・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置や特定行為研修修了看護師の計画的な育成及び活用方策の検討【再掲 P60, 63】</li> <li>・病院運営会議等で国の動向や県立病院の現状等を情報共有</li> </ul> <p>○年間の超過勤務時間が 960 時間を超えた医師数を R4 年度比で減少【再掲】</p>	<p>〔取組項目〕</p> <p>1 <b>労働時間の適正化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の検討会の内容を踏まえたタスクシフト/タスクシェアについて、より一層検討した。</li> <li>・医師の年次休暇平均取得日数が増加した。 （R3：6.5 日→R4：6.9 日）</li> </ul> <p>○年間の超過勤務時間が上限を超えた職員数は減少した。 医 師：960 時間超（R4:77 人→R5:69 人） その他：360 時間超（R4:108 人→R5:66 人）</p> <p>2 <b>魅力ある執務環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療秘書を効果的に配置した。【再掲 P58】 （R5.11：286 名）</li> </ul> <p>3 <b>女性医師が働きやすい環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各病院で引き続き院内保育を実施。</li> <li>・尼崎、丹波、はり姫で病児・病後児保育を実施。</li> </ul> <p>4 <b>医師の働き方改革の推進</b></p> <p>医師の時間外労働の縮減を図り、医師の働き方改革に資する取組を検討するため、「医師の働き方改革プロジェクトチーム」を設置。その検討結果を踏まえ、患者・家族への病状説明の勤務時間内実施など翌年度重点施策をとりまとめた報告書を作成し、各県立病院に周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトチーム会議の開催 R5 実績：3 回（R5.10.23、R5.12.25、R6.1.25）</li> <li>・ICカードによる勤怠管理システムの導入等による適切な労務管理</li> <li>・医師の勤務時間の割り振りの弾力化</li> <li>・医師の業務負担軽減を図るため、医療秘書の効果的な配置や特定行為研修修了看護師の計画的な育成及び活用方策の検討【再掲 P60、63】</li> <li>・病院運営会議等で国の動向や県立病院の現状等を情報共有</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・超過達成</p> <p>・概ね計画どおり実施</p> <p>・令和6年4月に向けて概ね計画どおり実施</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目6 経営形態の検討

<p>○ <b>基本方向</b> 持続可能な経営のもとで県民に対して高度専門・特殊医療等を継続して提供していくうえで、本県病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。</p> <p>○ <b>取組内容</b> 以下を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」の終期である2023年度までは、地方公営企業法の全部適用を維持する。 なお、国の制度の見直し等病院事業を取り巻く環境に大きな変化があった場合には、必要に応じて経営形態のあり方についての検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立病院が関係する複数の統合再編事業を協議・調整中であること</li> <li>・ 初期投資に必要な財源確保や統合再編・建替整備等の資金調達に懸念があること</li> <li>・ 地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会の分析では、必ずしも地方独立行政法人制度適用が経営改善に繋がるわけではないとされていること</li> </ul>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 病院事業を取り巻く環境の変化や本県立病院事業の経営状況等を踏まえ、令和6年度以降の本県立病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。</p>	<p>第5次病院構造改革推進方策の検討の中で、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向の把握等を適切に実施した。</p>	○	<p>・ 概ね計画どおり実施</p>
<p>〔取組項目〕 病院事業を取り巻く環境の変化や国及び他団体の動向、県立病院事業の経営状況や地域医療への影響等を見極め、令和6年度以降の本県立病院事業に最も相応しい経営形態のあり方を検討する。</p>	<p>〔取組項目〕 経営形態のあり方検討に資するため、病院事業を取り巻く環境変化や国及び他団体の動向把握、財務状況の分析を適切に実施した。</p>	○	<p>・ 概ね計画どおり実施</p>

IV 安定した医療提供体制の確立

項目7 安定的な地域医療の提供

<p>○ 基本方向 地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供することで、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。</p> <p>○ 取組内容 今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を適時把握し、県民から必要とされる医療を的確に提供する。</p>
--

実施計画の自己点検・評価

実施計画	実施状況	評価	説明
<p>〔目標〕 今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供する。</p>	<p>今後の安定的な地域医療の提供に貢献するため、地域の医療需要や他の医療機関の状況等を踏まえ、各県立病院に求められる医療を提供した。</p>	○	<p>県民から必要とされる医療を的確に提供し、安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>
<p>〔取組項目〕 兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献する。</p>	<p>〔取組項目〕 兵庫県地域医療構想に適切に対応していくため、兵庫県保健医療計画（圏域版）を踏まえ、「第4次病院構造改革推進方策」及び「公的医療機関等2025プラン」に定められた県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献した。</p>	○	<p>・県立病院が求められる役割を果たしながら、将来に亘る安定的な地域医療の提供に貢献</p>

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(1) 尼崎総合医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	(単位：百万円)				
業務量	病床数(床)	730	730	730	100.0%		収益	入院収益	23,144	23,496	21,733
	病床利用率(%)	87.3	87.9	83.8	100.7%			外来収益	9,449	9,081	9,561
	1日当たり入院患者数(人)	637	641	612	100.6%			その他医業収益	644	640	595
	1日当たり外来患者数(人)	1,878	1,847	1,886	98.3%			医業収益計	33,237	33,217	31,890
財務	経常収支比率(%)	102.4	96.6	103.1	94.3%		その他の収益	2,859	1,807	3,993	
	医業収支比率(%)	81.3	85.6	85.6	105.3%		収益合計	36,095	35,024	35,883	
	入院単価(円)	99,224	100,082	97,289	100.9%		費用	給与費	18,361	18,805	18,343
	外来単価(円)	20,704	20,233	20,866	97.7%			(うち退職給与金)	177	299	490
給与費比率(%)	55.2	56.6	57.5	102.5%		材料費		11,870	12,433	11,832	
材料費比率(%)	35.7	37.4	37.1	104.8%		経費		5,174	5,342	5,111	
医療機能	経費比率(%)	15.6	16.2	16.0	103.8%		減価償却費	2,072	2,020	1,663	
	平均在院日数	9.4	9.6	9.5	102.1%	○	その他の医業費用	237	211	323	
	紹介率(%)	75.9	76.7	71.3	101.0%	○	医業費用計	37,715	38,811	37,271	
	逆紹介率(%)	98.5	101.4	90.8	102.9%	○	その他費用	352	597	358	
	救急患者数	26,199	28,997	26,266	110.6%	○	費用合計	38,066	39,408	37,630	
	(うち救急車搬送件数)	11,789	13,175	11,948	111.7%	○	差引損益	△1,971	△4,385	△1,747	
	糖尿病新規入院患者数	275	282	222	102.5%	○	一般会計繰入金	2,896	2,847	2,906	
	手術件数	24,168	25,433	24,184	105.2%	○	当期純損益	925	△1,537	1,159	
	(うち高額手術件数)	3,491	3,479	3,308	99.6%	○	経常損益	915	△1,315	1,149	
	(うちがん手術件数)	1,474	1,463	1,361	99.2%	○					
	(うち冠動脈形成術件数)	599	509	512	84.9%	○					
	(うち開心術件数)	202	167	191	82.6%	○					
	頭頸部血管内治療件数	88	58	65	65.9%	△					
	TAVI実施件数	79	103	84	130.3%	◎					
	外来化学療法件数	11,868	11,366	11,814	95.7%	○					
	分娩件数	1,213	1,181	1,185	97.3%	○					
	ハイリスク妊娠数(人)	208	268	206	132.6%	◎					
	母体搬送受入数(人)	106	52	88	49.0%	▲					
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	240	228	225	95.0%	○					
	新生児搬送受入総数(人)	72	64	72	88.8%	○					
	ドクターカー出動回数	376	313	298	83.2%	○					
	物忘れ外来患者数	617	649	562	105.1%	○					
	薬剤管理指導件数	32,833	32,727	30,753	99.6%	○					
	リハビリ件数	138,421	140,773	139,885	101.6%	○					
(うちOTリハビリ件数)	25,888	28,078	26,463	108.4%	○						
(うちPTリハビリ件数)	89,261	93,211	89,129	104.4%	○						
(うちSTリハビリ件数)	24,351	19,484	24,293	80.0%	○						
クリニカルパス件数	541	676	555	124.9%	◎						
在宅復帰率(%)	90.3	87.0	87.6	96.3%	○						
臨床研修医の受入件数	54	49	50	90.7%	○						
医師派遣等件数	72	124	87	172.2%	◎						
その他	医療相談件数	522	387	293	74.1%	△					
	セカンド・オピニオン実施件数	31	26	32	83.8%	○					
	TVカンファレンス実施回数	12	12	12	100.0%	○					
	PFMの更なる拡大(アセスメント率)(%)	75.0	73.6	62.4	98.1%	○					
	重点診療科科長及び事務職員による地域クリニック等訪問回数	40	59	33	147.5%	◎					
社協コラボ出前型セミナー開催回数	8	0	0	0.0%	▲						

【説明】  
 頭頸部血管内治療件数：対象患者数の減  
 TAVI実施件数：対象患者数の増  
 ハイリスク妊娠数：対象患者数の増  
 母体搬送受入数：対象患者数の減  
 クリニカルパス件数：新規パス作成等  
 医師派遣等件数：丹波医療センター、こころの医療センターで増  
 医療相談件数：患者サポートセンター相談窓口での件数を記載  
 重点診療科科長及び事務職員による地域クリニック等訪問回数：前方・後方医療機関に対して積極的に訪問（消外21、心外8、脳外17、脳内13）  
 社協コラボ出前型セミナー開催回数：【コ】新型コロナウイルス感染症の影響により開催なし

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(2) 西宮病院

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R5 年度 計画①	R5 年度 実績②	R4 年度 実績	②/①	評価	区分		R5 年度計画	R5 年度実績	R3 年度実績
業務量	病床数 (床)	400	400	400	100.0%		収益	入院収益	7,771	8,005	7,599
	病床利用率 (%)	79.6	75.8	74.1	95.2%			外来収益	2,933	3,098	2,991
	1日当たり入院患者数 (人)	319	303	296	95.0%			その他医業収益	251	221	207
	1日当たり外来患者数 (人)	668	606	616	90.7%			医業収益計	10,955	11,325	10,798
								その他の収益	1,002	918	1,558
財務	経常収支比率 (%)	100.8	92.7	98.9	92.0%		費用	収益合計	11,957	12,243	12,356
	医業収支比率 (%)	85.4	80.5	79.7	94.3%			給与費	7,227	7,924	7,867
	入院単価 (円)	71,080	72,154	70,243	101.5%			(うち退職給与金)	238	170	323
	外来単価 (円)	19,817	21,034	19,999	106.1%			材料費	3,100	3,547	3,248
	給与費比率 (%)	65.9	70.0	72.9	106.2%			経費	1,698	1,906	1,870
	材料費比率 (%)	29.9	31.3	30.1	104.7%			減価償却費	655	612	485
	経費比率 (%)	15.4	16.8	17.3	109.1%			その他の医業費用	66	84	79
医療機能	平均在院日数	9.9	10.1	10.2	102.0%	○	医業費用計	12,747	14,073	13,549	
	紹介率 (%)	85.0	102.7	102.8	120.8%	◎	その他費用	70	103	74	
	逆紹介率 (%)	70.0	79.0	106.8	112.9%	○	費用合計	12,816	14,176	13,623	
	手術件数 (件)	5,400	5,535	5,392	102.5%	○	差引損益	△859	△1,933	△1,267	
	がん手術総件数	1,200	1,221	1,157	101.8%	○	一般会計繰入金	1,118	1,106	1,136	
	入退院支援センター入院・検査説明件数	2,480	2,409	2,509	97.1%	○	当期純損益	259	△827	△131	
	クリニカルパス件数	250	198	250	79.2%	△	経常損益	256	△1,028	△144	
	化学療法件数	5,400	5,986	5,740	110.9%	○					
	うち外来化学療法件数	4,000	4,369	3,997	109.2%	○					
	救急患者数 (人)	5,900	6,025	5,963	102.1%	○					
	(うち救急車搬送件数)	4,500	4,572	4,581	101.6%	○					
	小児救急車搬送件数	450	384	379	85.3%	○					
	ドクターカー出動実績	540	487	488	90.2%	○					
	分娩件数	410	408	398	99.5%	○					
	ハイリスク妊娠数	100	110	135	110.0%	○					
	母体搬送受入数	50	57	81	114.0%	○					
	2500g未満新生児実入院患者数	96	81	86	84.3%	○					
	新生児搬送受入総数	50	34	46	68.0%	△					
	さい帯血採取数	100	125	97	125.0%	◎					
	糖尿病新規入院患者数	230	175	212	76.1%	△					
	腎移植実施数	15	16	18	106.7%	○					
	透析件数	3,700	3,199	3,028	86.5%	○					
	リハビリ件数	34,500	38,437	33,538	111.4%	○					
	臨床研修医の受入件数	20	20	20	100.0%	○					
	産婦人科セミアンシステムの運用件数	0	0	0	0.0%	▲					
	四肢外傷センターの充実(骨折等疾患の救急、整形外科の連携治療実施件数)	440	460	380	104.5%	○					
	その他	腎臓病教室の開催回数	3	4	0	133.3%	◎				
		西宮薬師会と薬師部の合同研修会の開催回数	1	1	1	100.0%	○				

【説明】

- ・クリニカルパス件数：R6.3.31時点での承認パスかつ有効パスを抽出
- ・新生児搬送受入総数：出生数の予想以上の減少
- ・糖尿病新規入院患者数：糖尿病治療薬の充実により、外来で治療可能な症例が増加
- ・産婦人科セミアンシステムの運用件数：参加登録医師の婦人科手術のための来院が困難となったため

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(3) 加古川医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	区分	R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
業務量	病床数(床)	353	353	353	100.0%		収益	入院収益	6,626	6,368	6,193
	病床利用率(%)	69.9	70.1	61.7	100.3%			外来収益	3,754	3,566	3,666
	1日当たり入院患者数(人)	247	248	218	100.4%			その他医業収益	319	251	206
	1日当たり外来患者数(人)	724	679	696	93.8%			医業収益計	10,699	10,185	10,064
								その他の収益	2,412	623	4,346
財務	経常収支比率(%)	102.6	91.8	109.4	89.5%		収益合計	14,462	16,992	14,410	
	医業収支比率(%)	77.5	75.0	71.4	96.8%		費用	給与費	6,997	6,945	7,117
	入院単価(円)	73,338	70,262	77,856	95.8%			(うち退職給与金)	204	93	456
	外来単価(円)	21,339	21,607	21,686	101.3%			材料費	3,506	3,358	3,384
	給与費比率(%)	65.4	68.2	70.7	104.3%			経費	2,208	2,174	2,160
	材料費比率(%)	32.8	33.0	33.6	100.6%			減価償却費	1,021	1,001	1,377
経費比率(%)	20.6	21.3	21.5	103.4%	その他の医業費用			69	103	50	
医療機能	平均在院日数	11.0	11.1	11.3	100.9%		○	医業費用計	13,801	13,580	14,088
	紹介率(%)	85.2	88.3	91.0	103.6%		○	その他費用	291	352	324
	逆紹介率(%)	82.5	85.5	78.9	103.6%		○	費用合計	14,092	13,931	14,412
	ドクターヘリ運航件数	449	376	403	83.7%	○	差引損益	△981	△2,525	△2	
	救急患者数(人)	6,939	7,421	6,612	106.9%	○	一般会計繰入金	1,361	1,334	1,371	
	(うち救急車搬送患者数)	2,641	2,885	2,668	109.2%	○	当期純損益	380	△1,190	1,370	
	手術件数(件)	4,646	3,999	4,236	86.0%	○	経常損益	371	△1,134	1,356	
	化学療法件数	3,907	3,790	3,893	97.0%	○					
	[うち外来化学療法件数]	3,537	3,466	3,565	97.9%	○					
	緩和ケア病床入院患者数(人)	4,228	5,543	3,620	131.1%	◎					
	糖尿病教育入院患者数(人)	118	31	22	26.2%	▲					
	リハビリ件数(人)	37,400	35,856	32,953	95.8%	○					
新規紹介患者数(人)	7,655	7,347	7,109	95.9%	○						

【説明】

- ・緩和ケア病床入院患者数：新型コロナウイルス感染症の5類移行により患者受入制限を緩和
- ・糖尿病教育入院患者数：コロナ前実績で計画を立てたが、患者戻らず



各県立病院の目標・計画（経営計画）

（４）はりま姫路総合医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R5 年度 計画①	R5 年度 実績②	R4 年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	736	736	640	100.0%	◎	
	病床利用率（%）	87.3	81.0	77.7	92.8%		
	1日当たり入院患者数（人）	642	596	478	92.8%		
	1日当たり外来患者数（人）	1,200	1,031	818	85.9%		
	経常収支比率（%）	95.6	92.8	85.2	97.1%		
財務	医業収支比率（%）	83.3	80.9	74.7	97.1%		
	入院単価（円）	97,209	95,365	94,908	98.1%		
	外来単価（円）	19,824	21,885	19,996	10.4%		
	給与費比率（%）	54.4	55.4	64.7	101.8%		
	材料費比率（%）	37.6	36.9	38.4	98.1%		
	経費比率（%）	17.7	20.3	26.7	114.7%		
	平均在院日数（日）	9.4	11.4	12.0	121.2%		◎
紹介率（%）	71.7	77.1	75.7	107.5%	○		
逆紹介率（%）	68.2	75.7	81.9	110.9%	○		
医療機能	救急患者数（人）	9,160	9,398	8,003	102.5%		○
	（うち救急車搬送患者数）	6,400	6,421	5,537	100.3%		○
	ドクターヘリ運航件数	186	172	140	92.4%		○
	手術件数（件）	7,416	8,364	6,491	112.7%		○
	がん手術総件数	828	1,055	693	127.4%		◎
	地域連携パス件数	250	489	415	195.6%		◎
	頭頸部血管内治療件数	168	189	161	112.5%		○
	TAVI実施件数	96	92	87	95.8%		○
	リハビリ件数（件）	89,000	85,896	65,672	96.5%		○
	糖尿病新規入院患者数	162	118	98	72.8%		△
	糖尿病新規外来患者数	702	577	495	82.1%		○
	慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数	48	10	40	20.8%	▲	
	超急性期脳梗塞に対する血管内治療件数	60	47	47	78.3%	△	
	胸腔鏡下弁形成術（MICS）の件数	12	13	11	108.3%	○	
	経皮的カテーテル心筋焼灼術の件数	492	545	446	110.7%	○	
	クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数	48	26	38	54.1%	▲	
	超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数	48	85	53	177.0%	◎	
	補助人工心臓ポンプカテーテル治療（インペラ）の件数	24	31	25	129.1%	◎	
	へき地診療所への派遣回数	14	4	0	28.5%	▲	

収支計画

（単位：百万円）

区分		R5 年度計画	R5 年度実績	R4 年度実績	
収益	入院収益	22,848	20,815	16,550	
	外来収益	5,781	5,482	3,976	
	その他医業収益	438	498	376	
	医業収益計	29,066	26,794	20,902	
	その他の収益	2,792	2,532	3,633	
収益合計		31,864	29,326	24,536	
費用	給与費	15,811	14,838	13,516	
	（うち退職給与金）	113	273	210	
	材料費	10,926	9,890	8,026	
	経費	5,157	5,439	5,584	
	減価償却費	2,883	2,839	650	
	その他の医業費用	102	125	204	
	医業費用計	34,879	33,131	27,980	
	その他費用	879	499	5,792	
	費用合計		35,759	33,631	33,773
	差引損益		△3,895	△4,309	△9,237
一般会計繰入金		1,817	1,852	1,760	
当期純損益		△2,078	△2,453	△7,477	
経常損益		△1,547	△2,407	△4,163	

【説明】

- ・地域連携パス件数：患者数の増加
- ・慢性閉塞再開通デバイスを用いた下肢閉塞動脈治療件数：圏域内での対象患者数の減
- ・クリップを使った僧帽弁閉鎖症治療件数：圏域内での対象患者数の減
- ・超急性期脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術件数：患者数の増
- ・補助人工心臓ポンプカテーテル治療（インペラ）の件数：患者数の増
- ・へき地診療所への派遣回数：診療所からの依頼が少なかった

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(5) 丹波医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	区分	R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
業務量	病床数(床)	320	320	320	100.0%		収益	入院収益	5,651	5,589	5,338
	病床利用率(%)	83.6	85.3	80.2	102.0%			外来収益	2,156	2,148	2,195
	1日当たり入院患者数(人)	267	273	257	102.2%			その他医業収益	409	397	404
	1日当たり外来患者数(人)	559	543	559	97.1%			医業収益計	8,216	8,134	7,937
								その他の収益	1,504	1,255	1,916
財務	経常収支比率(%)	97.2	92.2	100.9	94.9%		収益合計	9,720	9,389	9,853	
	医業収支比率(%)	76.6	74.5	75.9	97.3%		費用	給与費	5,495	5,541	5,290
	入院単価(円)	57,728	55,912	56,976	96.9%			(うち退職給与金)	115	179	213
	外来単価(円)	15,877	16,285	16,168	102.6%			材料費	1,817	1,894	1,823
	給与費比率(%)	66.9	68.1	66.7	101.8%			経費	2,264	2,327	2,192
	材料費比率(%)	22.1	23.3	23.0	105.4%			減価償却費	1,122	1,119	1,130
	経費比率(%)	27.6	28.6	27.6	103.6%			その他の医業費用	34	41	27
					医業費用計			10,731	10,922	10,462	
医療機能	平均在院日数	14.1	14.1	13.6	100.0%		◎	その他費用	245	404	2,530
	紹介率(%)	80.2	72.0	69.3	89.7%		◎	費用合計	10,976	11,326	12,991
	逆紹介率(%)	86.6	117.7	105.2	135.9%	◎	差引損益	△1,256	△1,937	△3,138	
	がんの手術件数(件)	270	294	298	108.8%	◎	一般会計繰入金	944	929	949	
	緩和ケア病棟の入院患者数	7,800	7,202	7,805	92.3%	◎	当期純損益	△312	△1,008	△2,190	
	冠動脈形成術の件数	100	87	86	87.0%	◎	経常損益	△304	△870	100	
	救急患者数	9,350	8,578	9,243	91.7%	◎					
	(うち救急車搬送件数)	3,150	3,405	3,211	108.0%	◎					
	分娩件数	320	248	291	77.5%	△					
	小児の救急車搬送件数	300	380	291	126.6%	◎					
	リハビリ件数	44,200	48,657	45,467	110.8%	◎					
	へき地診療所への派遣回数	95	99	89	104.2%	◎					
	術中迅速病理組織検査実施件数	90	95	91	105.5%	◎					
	休日乳がん検診の継続実施(受診患者数)	65	50	57	76.9%	△					
	消化器がんの内視鏡的治療実施件数	40	43	37	107.5%	◎					
	消化器、循環器救急の内視鏡	275	356	262	129.4%	◎					
	24時間受け入れ件数	70	119	83	170.0%	◎					
	その他	研修医受入人数	41	40	45	97.5%	◎				
医療相談の件数		19,000	21,039	19,812	110.7%	◎					
県養成医の受入れ人数		14	14	14	100.0%	◎					
TVカンファレンスの実施		130	119	126	91.5%	◎					
IVナースの年間養成数		12	8	12	66.6%	△					
オープンセミナー等の開催回数		3	4	1	133.3%	◎					
診療機器の共同利用件数											
	CT	700	718	711	102.5%	◎					
	MR I	390	359	403	92.0%	◎					

【説明】

- ・逆紹介率(%)：救急患者の逆紹介促進
- ・分娩件数：少子化による減
- ・小児の救急車搬送件数：積極的な受け入れ
- ・消化器、循環器救急の24時間受け入れ件数(内視鏡・心カテ)：積極的な救急受け入れ
- ・県養成医の受入れ人数：研修の希望が多かったため
- ・IVナースの年間養成数：部署の特性や個人の実践力等から対象者が減
- ・オープンセミナー等の開催回数：新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い通常ベースで開催したため



各県立病院の目標・計画（経営計画）

(6) 淡路医療センター

経営指標に係る数値目標						収支計画					
						(単位：百万円)					
区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	区分	R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
業務量	病床数(床)	441	441	441	100.0%	/	入院収益	9,781	9,719	9,407	
	病床利用率(%)	77.8	77.9	75.4	100.1%		外来収益	3,221	3,414	3,282	
	1日当たり入院患者数(人)	343	343	333	100.0%		その他医業収益	219	188	185	
	1日当たり外来患者数(人)	818	795	787	97.2%		医業収益計	13,221	13,320	12,874	
	経常収支比率(%)	100.2	97.2	100.6	97.0%		その他の収益	1,083	929	1,423	
財務	医業収支比率(%)	84.2	82.8	82.5	98.3%		収益合計	14,304	14,250	14,297	
	入院単価(円)	77,877	77,332	77,476	99.3%		給与費	7,764	7,898	7,894	
	外来単価(円)	16,202	17,662	17,165	109.0%		(うち退職給与金)	75	193	270	
	給与費比率(%)	58.7	59.3	61.3	101.0%		材料費	4,268	4,587	4,272	
	材料費比率(%)	32.3	34.4	33.2	106.5%		経費	2,478	2,473	2,318	
	経費比率(%)	18.7	18.6	18.0	99.5%		減価償却費	1,124	1,048	1,069	
	平均在院日数	12.3	12.8	12.8	104.0%		その他の医業費用	62	87	60	
医療機能	紹介率(%)	77.0	79.8	77.5	103.6%		○	医業費用計	15,697	16,092	15,614
	逆紹介率(%)	71.2	81.0	73.6	113.7%		○	その他費用	274	300	294
	救急患者数(人)	7,000	7,781	7,019	111.1%		○	費用合計	15,971	16,393	15,908
	(うち救急車搬送患者数)	3,300	3,876	3,505	117.4%		○	差引損益	△1,667	△2,143	△1,611
	手術件数(件)	3,688	3,286	3,445	89.0%		○	一般会計繰入金	1,691	1,657	1,698
	リハビリ延単位数(単位)	64,800	73,454	65,384	113.3%		○	当期純損益	24	△486	87
	認知症鑑別診断件数(人)	287	264	289	91.9%		○	経常損益	25	△454	90
	子宮動脈塞栓術(UAE)の実施件数	8	4	6	50.0%		▲				
その他	淡路圏域がんネットワーク会議の開催(開催回数)	2	0	0	0.0%	▲					

【説明】

- ・子宮動脈塞栓術(UAE)の実施件数：放射線科(UAE)担当医の異動によりUAEができる日が制限されたため
- ・淡路圏域がんネットワーク会議の開催：コロナ禍に活動休止のまま再開の目途がたっていない

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (7) ひょうごこころの医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	254	254	254	100.0%		
	病床利用率(%)	63.5	65.6	59.6	103.3%		
	1日当たり入院患者数(人)	161	167	151	103.7%		
	1日当たり外来患者数(人)	201	207	203	103.0%		
	経常収支比率(%)	94.3	95.9	103.9	101.7%		
財務	医業収支比率(%)	45.0	47.3	44.7	105.1%		
	入院単価(円)	27,723	27,317	27,861	98.5%		
	外来単価(円)	6,783	7,274	6,921	107.2%		
	給与費比率(%)	158.3	151.2	157.5	95.5%		
	材料費比率(%)	11.1	8.6	9.8	77.4%		
	経費比率(%)	32.9	31.2	33.4	94.8%		
	医療機能	平均在院日数(日)	47.0	54.2	47.7		115.3%
紹介率(%)		82.0	86.0	82.3	104.8%		○
逆紹介率(%)		41.0	34.5	38.9	84.1%		○
クリニカルパス数		8	8	8	100.0%		○
救急患者数(人)		550	448	533	81.4%	○	
訪問看護件数(件)		3,600	3,155	3,422	87.6%	○	
相談件数		67,000	83,091	67,103	124.0%	◎	

【説明】

・相談件数：入院患者数の増

収支計画

(単位：百万円)

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績
収益	入院収益	1,636	1,665	1,540
	外来収益	332	366	342
	その他医業収益	16	17	17
	医業収益計	1,983	2,048	1,899
	その他の収益	545	443	900
	<b>収益合計</b>	<b>2,528</b>	<b>2,492</b>	<b>2,799</b>
費用	給与費	3,140	3,097	2,991
	(うち退職給与金)	63	15	252
	材料費	220	177	185
	経費	653	639	634
	減価償却費	373	390	423
	その他の医業費用	22	24	17
	医業費用計	4,409	4,326	4,249
	その他費用	110	98	93
	<b>費用合計</b>	<b>4,519</b>	<b>4,424</b>	<b>4,343</b>
	差引損益	△1,991	△1,932	△1,544
	一般会計繰入金	1,710	1,731	1,719
当期純損益	△281	△202	175	
<b>経常損益</b>	<b>△255</b>	<b>△179</b>	<b>170</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(8) こども病院

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	290	290	282	100.0%		
	病床利用率(%)	81.5	83.6	80.5	102.6%		
	1日当たり入院患者数(人)	236	242	227	102.5%		
	1日当たり外来患者数(人)	481	456	460	94.8%		
	経常収支比率(%)	98.5	99.4	99.7	100.9%		
財務	医業収支比率(%)	77.5	79.7	75.6	102.8%		
	入院単価(円)	105,163	106,173	105,169	101.0%		
	外来単価(円)	17,212	18,232	17,491	105.9%		
	給与費比率(%)	75.6	73.9	77.8	97.8%		
	材料費比率(%)	24.2	23.5	22.9	97.1%		
	経費比率(%)	20.4	20.2	21.2	99.0%		
医療機能	平均在院日数(日)	11.4	10.9	11.5	95.6%		○
	紹介率(%)	85.1	86.2	84.9	101.2%		○
	逆紹介率(%)	68.7	73.4	66.3	106.8%		○
	救急患者数(人)	14,000	15,562	14,743	111.1%		○
	小児の救急車搬送患者数(人)	2,100	2,486	2,467	118.3%		○
	手術件数(件)	3,100	4,289	4,306	138.3%		◎
	開心術(件)	160	174	172	108.7%		○
	ハイリスク妊娠数(人)	160	142	149	88.7%		○
	母体搬送受入数(人)	120	105	114	87.5%		○
	2500g未満新生児実入院患者数(人)	220	214	241	97.2%	○	
	新生児搬送受入総数(人)	180	202	178	112.2%	○	
	造血幹細胞移植	35	30	27	85.7%	○	
	リハビリテーション実施単位	18,800	17,540	17,690	93.2%	○	
	看護相談外来	1,800	1,712	1,909	95.1%	○	

【説明】

・手術件数(件)：適応症例の増

収支計画

(単位：百万円)

区分		R5年度計画	R5実績	R4年度実績
収益	入院収益	9,095	9,417	8,709
	外来収益	2,012	2,018	1,955
	その他医業収益	136	137	134
	医業収益計	11,243	11,573	10,798
	その他の収益	906	744	1,294
	<b>収益合計</b>	<b>12,149</b>	<b>12,317</b>	<b>12,092</b>
費用	給与費	8,495	8,554	8,405
	(うち退職給与金)	144	154	196
	材料費	2,715	2,719	2,476
	経費	2,290	2,336	2,292
	減価償却費	854	846	1,055
	その他の医業費用	148	69	62
	医業費用計	14,502	14,524	14,291
	その他費用	185	167	162
	<b>費用合計</b>	<b>14,687</b>	<b>14,691</b>	<b>14,453</b>
	差引損益	△2,538	△2,374	△2,361
一般会計繰入金	2,306	2,281	2,306	
当期純損益	△232	△93	△55	
<b>経常損益</b>	<b>△215</b>	<b>△87</b>	<b>△49</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(9) がんセンター

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	360	360	360	100.0%		
	病床利用率(%)	72.0	69.2	69.1	96.1%		
	1日当たり入院患者数(人)	259	249	249	96.1%		
	1日当たり外来患者数(人)	674	685	683	101.6%		
	経常収支比率(%)	98.4	98.5	99.8	100.1%		
財務	医業収支比率(%)	89.6	90.9	89.4	101.5%		
	入院単価(円)	73,657	76,818	75,731	104.3%		
	外来単価(円)	56,859	58,584	56,665	103.0%		
	給与費比率(%)	41.2	38.5	40.9	93.4%		
	材料費比率(%)	51.6	53.7	52.0	104.1%		
	経費比率(%)	13.1	12.7	13.2	96.9%		
医療機能	平均在院日数	11.8	11.5	11.5	97.4%		○
	紹介率(%)	90.0	97.5	97.7	108.3%		○
	逆紹介率(%)	50.0	65.2	79.1	130.4%		◎
	リハビリ件数	21,680	17,711	15,403	81.6%		○
	クリニカルパス件数	164	166	163	101.2%	○	
	手術件数	3,150	3,194	3,238	101.3%	○	
	放射線治療件数	15,000	13,742	14,419	91.6%	○	
	放射線診断件数	80,000	79,863	78,326	99.8%	○	
	化学療法件数	20,900	20,233	18,816	96.8%	○	
	[うち外来化学療法件数]	14,300	14,366	13,333	100.4%	○	
	がん登録届出件数	3,600	3,528	3,543	98.0%	○	
	相談支援件数	2,000	2,014	1,841	100.7%	○	
	薬剤管理指導件数	14,000	13,279	14,748	94.8%	○	

【説明】

・逆紹介率(%) : 連携可能なかかりつけ医の増加による増

収支計画

(単位:百万円)

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績
収益	入院収益	6,990	7,001	6,873
	外来収益	9,312	9,753	9,405
	その他医業収益	470	380	435
	医業収益計	16,772	17,135	16,714
	その他の収益	863	704	1,181
	<b>収益合計</b>	<b>17,635</b>	<b>17,839</b>	<b>17,895</b>
費用	給与費	6,917	6,597	6,832
	(うち退職給与金)	217	207	303
	材料費	8,647	9,199	8,687
	経費	2,190	2,173	2,200
	減価償却費	788	768	856
	その他の医業費用	173	118	114
	医業費用計	18,715	18,855	18,689
	その他費用	114	110	109
	<b>費用合計</b>	<b>18,829</b>	<b>18,965</b>	<b>18,798</b>
	差引損益	△1,195	△1,126	△903
一般会計繰入金	876	842	873	
当期純損益	△319	△284	△30	
<b>経常損益</b>	<b>△307</b>	<b>△279</b>	<b>△35</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）  
（10-1）粒子線医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数（床）	50	50	50	100.0%		
	病床利用率（%）	60.0	47.0	47.8	78.3%		
	1日当たり入院患者数（人）	30	23	24	76.7%		
	1日当たり外来患者数（人）	27	19	18	70.4%		
	経常収支比率（%）	71.4	64.3	65.2	90.1%		
財務	医業収支比率（%）	46.2	38.4	36.7	83.1%		
	入院単価（円）	70,424	78,041	75,127	110.8%		
	外来単価（円）	50,228	53,278	56,310	106.1%		
	給与費比率（%）	54.1	71.4	68.7	132.0%		
	材料費比率（%）	6.3	7.0	7.0	111.1%		
	経費比率（%）	116.9	135.5	139.3	115.9%		
	平均在院日数（日）	33.2	32.1	32.1	96.6%		○
医療機能	紹介率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0%		○
	逆紹介率（%）	100.0	100.0	100.0	100.0%		○
	医師派遣等件数	100	118	92	118.0%		○
	クリニカルパス導入状況（種類）	97	92	100	94.8%		○
	セカンドオピニオン実施状況（件数）	70	66	65	94.2%		○
	インシデント報告件数	260	236	240	90.7%		○
	経過観察（電話相談）件数	2,800	1,721	2,503	61.6%		△
	連携病院からの通院患者数	15	7	13	46.6%		▲
	外国人患者の治療実績	1	2	1	200.0%		◎
	その他	患者満足度（%）	96.0	97.5	未実施		101.5%
医療相談件数		70	90	71	128.5%		◎

【説明】

- ・経過観察（電話相談）件数：確認方法一部変更（電話→文書等）に伴う減
- ・連携病院からの通院患者数：前立腺患者当院入院開始（7/20～）に伴い新規連携中止
- ・外国人患者の治療実績：純増
- ・医療相談件数：PR効果等

収支計画

（単位：百万円）

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績
収益	入院収益	773	671	655
	外来収益	327	245	251
	その他医業収益	28	6	7
	医業収益計	1,128	922	913
	その他の収益	327	288	392
	<b>収益合計</b>	<b>1,455</b>	<b>1,210</b>	<b>1,304</b>
費用	給与費	611	658	627
	（うち退職給与金）	1	2	55
	材料費	71	65	64
	経費	1,318	1,249	1,271
	減価償却費	422	423	516
	その他の医業費用	19	5	6
	医業費用計	2,441	2,401	2,483
	その他費用	246	171	260
	<b>費用合計</b>	<b>2,686</b>	<b>2,572</b>	<b>2,743</b>
	差引損益	△1,231	△1,362	△1,439
一般会計繰入金	462	442	484	
当期純損益	△769	△919	△955	
<b>経常損益</b>	<b>△767</b>	<b>△919</b>	<b>△955</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

（10-2）神戸陽子線センター

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価
業務量	病床数（床）	—	—	—	—	
	病床利用率（%）	—	—	—	—	
	1日当たり入院患者数（人）	—	—	—	—	
	1日当たり外来患者数（人）	38	40	37	105.3%	
	経常収支比率（%）	66.0	69.6	64.9	105.5%	
財務	医業収支比率（%）	47.6	50.0	43.8	105.0%	
	入院単価（円）	—	—	—	—	
	外来単価（円）	69,225	65,859	64,267	95.1%	
	給与費比率（%）	49.2	46.7	55.3	94.9%	
	材料費比率（%）	2.9	2.7	2.6	93.1%	
	経費比率（%）	83.8	73.4	78.9	87.6%	
医療機能	紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○
	逆紹介率	100.0	100.0	100.0	100.0%	○

収支計画

（単位：百万円）

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績
収益	入院収益	—	—	—
	外来収益	643	638	573
	その他医業収益	1	1	1
	医業収益計	644	640	574
	その他の収益	260	269	284
	<b>収益合計</b>	<b>903</b>	<b>909</b>	<b>858</b>
費用	給与費	317	299	318
	（うち退職給与金）	9	23	3
	材料費	19	17	15
	経費	539	470	453
	減価償却費	474	483	519
	その他の医業費用	3	11	5
	医業費用計	1,353	1,280	1,309
	その他費用	96	97	96
	<b>費用合計</b>	<b>1,449</b>	<b>1,377</b>	<b>1,405</b>
	差引損益	△546	△468	△547
	一般会計繰入金	52	50	53
	当期純損益	△493	△418	△494
<b>経常損益</b>	<b>△492</b>	<b>△418</b>	<b>△494</b>	

各県立病院の目標・計画（経営計画）

(11) 災害医療センター

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	30	30	30	100.0%		
	病床利用率(%)	77.2	72.0	77.4	93.3%		
	1日当たり入院患者数(人)	23	22	23	95.7%		
	1日当たり外来患者数(人)	1	1	3	100.0%		
財務	経常収支比率(%)	100.0	98.9	100.3	98.9%		
	医業収支比率(%)	70.8	69.1	73.7	97.6%		
	入院単価(円)	174,118	181,742	178,717	104.4%		
	外来単価(円)	273,030	337,716	94,349	123.7%		
	給与費比率(%)	88.0	92.8	81.8	105.5%		
	材料費比率(%)	30.9	31.8	31.2	102.9%		
医療機能	経費比率(%)	20.9	19.1	21.6	91.4%		
	平均在院日数(日)	8.0	7.3	7.3	91.2%		○
	手術件数(件)	1,200	1,136	1,245	94.6%		○
	(うち高額手術件数)	200	197	214	98.5%	○	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
収益	入院収益	0 (1,476)	0 (1,437)	0 (1,515)	
	外来収益	0 (55)	0 (84)	0 (99)	
	その他医業収益	0 (19)	0 (12)	0 (26)	
	医業収益計	0 (1,549)	0 (1,533)	0 (1,639)	
	その他の収益	125 (46)	146 (86)	157 (58)	
	<b>収益合計</b>	<b>125 (1,595)</b>	<b>146 (1,620)</b>	<b>157 (1,697)</b>	
	費用	給与費	33 (1,364)	46 (1,422)	33 (1,340)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (479)	0 (488)	0 (511)	
経費		675 (324)	674 (293)	626 (354)	
減価償却費		110 (0)	113 (0)	140 (0)	
その他の医業費用		0 (21)	17 (16)	3 (18)	
医業費用計		818 (2,188)	850 (2,219)	802 (2,223)	
その他費用		35 (103)	35 (99)	37 (92)	
<b>費用合計</b>		<b>853 (2,291)</b>	<b>885 (2,317)</b>	<b>838 (2,315)</b>	
差引損益	△728 (△695)	△739 (△697)	△681 (△619)		
一般会計繰入金	728 (695)	739 (673)	681 (625)		
当期純損益	0 (0)	0 (25)	0 (6)		
<b>経常損益</b>	<b>0 (0)</b>	<b>0 (25)</b>	<b>0 (6)</b>		

※上段は病院局の決算・計画、下段( )書きは指定管理病院の決算・計画を記載



各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (12) リハビリテーション中央病院

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	330	330	330	100.0%	○	
	病床利用率(%)	85.0	78.1	72.5	91.9%		
	1日当たり入院患者数(人)	281	258	239	91.8%		
	1日当たり外来患者数(人)	231	234	234	101.3%		
財務	経常収支比率(%)	100.2	100.8	101.6	100.6%		
	医業収支比率(%)	93.2	92.5	85.8	99.2%		
	入院単価(円)	38,333	40,117	39,935	104.7%		
	外来単価(円)	17,389	16,946	17,215	97.5%		
	給与費比率(%)	56.7	58.2	61.3	102.6%		
	材料費比率(%)	26.2	26.5	26.0	101.1%		
医療機能	経費比率(%)	24.4	23.4	29.2	124.5%		
	紹介率(%)	70.0	68.9	70.7	98.4%		○
	逆紹介率(%)	36.0	35.0	38.0	97.2%		○
	糖尿病教育入院患者数	1	1	1	100.0%	○	

収支計画

(単位：百万円)

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
収益	入院収益	0 (3,936)	0 (3,786)	0 (3,486)	
	外来収益	0 (976)	0 (964)	0 (979)	
	その他医業収益	0 (64)	0 (74)	0 (69)	
	医業収益計	0 (4,976)	0 (4,824)	0 (4,534)	
	その他の収益	348 (75)	354 (114)	394 (552)	
	<b>収益合計</b>	<b>348 (5,051)</b>	<b>354 (4,938)</b>	<b>394 (5,086)</b>	
	費用	給与費	33 (2,822)	10 (2,806)	21 (2,780)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (1,303)	0 (1,279)	0 (1,181)	
経費		300 (1,214)	318 (1,129)	300 (1,326)	
減価償却費		324 (0)	323 (0)	363 (0)	
その他の医業費用		0 (0)	7 (0)	7 (0)	
医業費用計		658 (5,339)	657 (5,214)	691 (5,287)	
その他費用		26 (0)	25 (0)	25 (0)	
<b>費用合計</b>		<b>684 (5,339)</b>	<b>683 (5,214)</b>	<b>716 (5,287)</b>	
差引損益		△336 (△287)	△329 276	△322 (△201)	
一般会計繰入金	336 (300)	329 317	322 (288)		
当期純損益	0 (12)	0 41	0 (87)		
<b>経常損益</b>	<b>0 (12)</b>	<b>0 41</b>	<b>0 (87)</b>		

※上段は病院局の決算・計画、下段( )書きは指定管理病院の決算・計画を記載



各県立病院の目標・計画（経営計画）  
 (13) リハビリテーション西播磨病院

経営指標に係る数値目標

区分		R5年度 計画①	R5年度 実績②	R4年度 実績	②/①	評価	
業務量	病床数(床)	100	100	100	100.0%		
	病床利用率(%)	95.5	86.3	84.1	90.4%		
	1日当たり入院患者数(人)	95	86	84	90.5%		
	1日当たり外来患者数(人)	46	36	38	78.3%		
財務	経常収支比率(%)	100.3	99.1	96.7	98.8%		
	医業収支比率(%)	92.2	90.0	88.1	97.6%		
	入院単価(円)	38,557	39,889	39,197	103.5%		
	外来単価(円)	31,494	37,563	35,208	119.3%		
	給与費比率(%)	60.1	64.0	65.3	106.5%		
	材料費比率(%)	18.5	19.3	19.5	104.3%		
	経費比率(%)	29.9	27.7	28.7	92.6%		
医療機能	紹介率(%)	90.4	93.2	91.2	103.0%		○
	逆紹介率(%)	149.0	173.3	157.3	116.3%		○
	回復期病棟在宅復帰率(%)	83.3	84.1	89.1	100.9%		○
	PTリハビリ件数(単位)	74,600	73,871	64,801	99.0%	○	
	OTリハビリ件数(単位)	73,614	67,586	63,273	91.8%	○	
	STリハビリ件数(単位)	41,811	35,446	31,678	84.7%	○	
	認知症鑑別診断件数(人)	1,248	1,346	1,284	107.8%	○	
その他	脳卒中地域連携パス件数(人)	159	79	76	49.6%	▲	
	認知リハビリ件数(人)	4,116	3,378	3,064	82.0%	○	
	音楽療法件数(人)	3,739	3,525	3,312	94.2%	○	
	園芸療法件数(人)	1,934	1,652	1,259	85.4%	○	
	認知症専門医療相談件数(人)	2,632	2,874	2,622	109.1%	○	
短時間通所リハ件数(人)	1,147	721	581	62.8%	△		

【説明】

脳卒中地域連携パス件数：地域連携パス以外の疾患及び医療機関の増

短時間通所リハ件数：新型コロナ5類感染症移行後、通所リハ利用者が増加

収支計画

(単位：百万円)

区分		R5年度計画	R5年度実績	R4年度実績	
収益	入院収益	0 (1,348)	0 (1,260)	0 (1,203)	
	外来収益	0 (352)	0 (328)	0 (328)	
	その他医業収益	0 (26)	0 (25)	0 (32)	
	医業収益計	0 (1,725)	0 (1,613)	0 (1,563)	
	その他の収益	265 (27)	206 (42)	213 (33)	
	収益合計	265 (1,752)	206 (1,655)	213 (1,597)	
	費用	給与費	23 (1,037)	0 (1,033)	11 (1,021)
		(うち退職給与金)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
材料費		0 (319)	0 (312)	0 (305)	
経費		126 (515)	120 (447)	120 (448)	
減価償却費		252 (0)	194 (0)	202 (0)	
その他の医業費用		0 (0)	0 (0)	0 (0)	
医業費用計		401 (1,871)	314 (1,792)	333 (1,774)	
その他費用		21 (0)	14 (0)	13 (0)	
費用合計		422 (1,871)	329 (1,792)	346 (1,774)	
差引損益		△157 (△119)	△123 △137	△133 (△177)	
一般会計繰入金		157 (126)	123 (120)	133 (119)	
当期純損益	0 (6)	0 (△17)	0 (△58)		
経常損益	0 (6)	0 (△17)	0 (△58)		

※上段は病院局の決算・計画、下段( )書きは指定管理病院の決算・計画を記載